

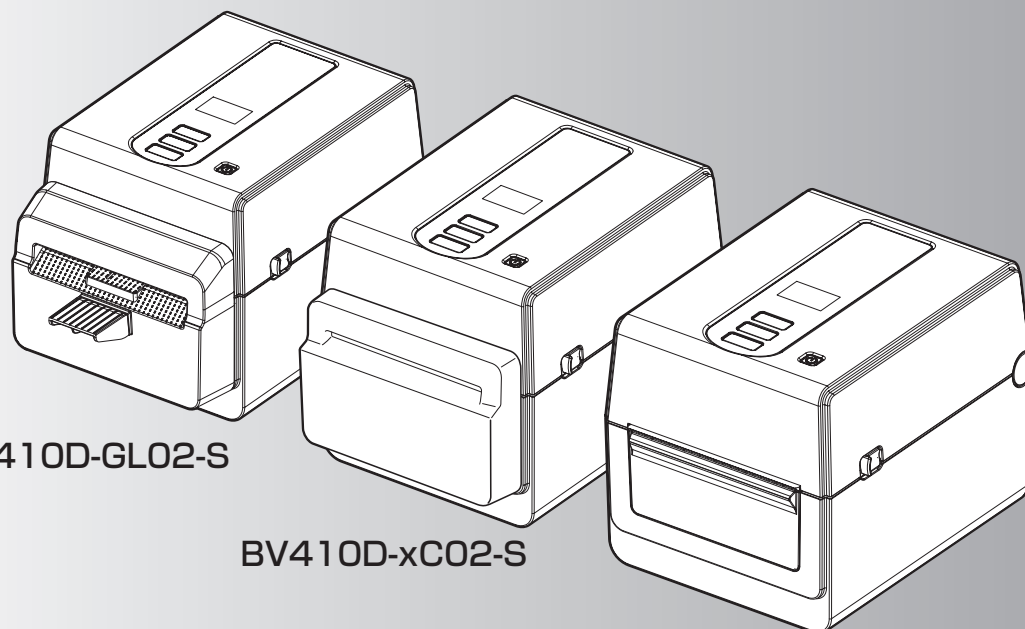
取扱説明書

テック ラベルプリンタ

BV410D-TS02/GS02-S

BV410D-TC02/GC02-S

BV410D-GL02-S



BV410D-GL02-S

BV410D-xC02-S

BV410D-xS02-S

- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ず読んで、正しくお使いください。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

目次

▶ 安全上のご注意(安全にお使いいただくために).....3	オンラインモード画面とキーの機能.....50
▶ 本書の表記と公的規格等について.....10	オンラインモード操作例.....53
操作に関する表記.....10	ヘルプ画面操作例.....54
本書で使用しているマークの意味.....10	スレッシュホールド設定モードの機能.....55
重要なお知らせ.....11	スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙).....55
公的規格等について.....12	インフォメーションモードの機能.....59
無線機器に対する使用上のご注意.....12	ユーザーモードの機能.....61
使用可能地域.....12	ユーザーモード画面とキーの機能.....61
使用時の注意事項.....12	ユーザーモードへの移行方法.....62
機能について.....13	終了操作.....63
2.4GHz帯域使用製品について.....13	パラメータ設定操作.....64
5GHz帯域使用製品について.....13	手動スレッシュホールド設定.....79
▶ 付属品の確認.....14	システムツール.....80
▶ 各部の名前と働き.....15	発行制御設定.....82
外観.....15	発行条件確認.....84
■ BV410D-TS02/GS02/TC02/GC02-S.....15	リセット操作.....86
■ BV410D-GL02-S.....17	システムモードの機能.....87
操作パネル.....19	システムモードへの移行方法.....87
▶ 本機をお使いになる前の準備.....20	自己診断.....88
設置場所について.....20	テスト印字.....101
ACアダプタ/電源コードを接続する.....21	センサー.....105
コンピュータと接続する.....23	RAMクリア.....109
LANケーブルで接続する.....23	INTERFACE.....115
USBケーブルで接続する.....24	LCD表示設定.....120
Bluetoothで接続する.....24	パスワード設定.....122
無線LANで接続する.....29	▶ 日常のお手入れ.....123
▶ 電源のON/OFFについて.....30	カバーを清掃する.....123
電源をONにする.....30	印字ヘッドを清掃する.....124
電源をOFFにする.....31	用紙検出センサーを清掃する.....125
▶ 用紙の取り付け方.....32	プラテンを清掃する.....125
取付手順.....33	用紙収納部を清掃する.....126
カッター装着時の用紙取付手順.....36	ライナレスラベルカッターを清掃する.....126
剥離モジュール装着時の用紙取付手順.....37	カッター(オプション)を清掃する.....129
内巻きラベルの取付手順.....38	剥離モジュール(オプション)を清掃する.....129
ファンフォールド紙の取付手順.....42	▶ 困ったときは.....130
外置き用紙ホルダー使用時の用紙の取付手順.....43	エラーメッセージについて.....130
▶ 用紙検出センサーの位置調整について.....45	正しく動作しないとき.....133
透過センサーの位置.....45	用紙が詰まったとき.....134
反射センサーの位置を調整する.....46	▶ 仕様.....135
▶ USBメモリーの取扱について.....47	本機の仕様.....135
USBメモリーの挿入.....47	■ BV410D-TS02/GS02/TC02/GC02-S.....135
▶ キー操作について.....48	■ BV410D-GL02-S.....137
キー操作の流れ.....49	用紙の仕様.....138
オンラインモード.....49	オプション使用時の注意事項.....139
スレッシュホールド設定モード.....49	▶ 保証とアフターサービス(必ずお読みください).....140
インフォメーションモード.....49	▶ サービスステーション所在地一覧.....142
ユーザーモード.....49	▶ 用紙の交換方法.....143
システムモード.....49	
オンラインモードの機能.....50	

本書では、BV410D-TS02/GS02-Sモデルのイラストを使って説明していますが、特に注意書きがない場合は全モデル共通となっています。

安全上のご注意(安全にお使いいただくために)

お買い上げいただきました製品(本機)および取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

■ 表示の意味



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

※1: 重傷とは失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例



注意

△は、注意(警告を含む)を促す事項を示しています。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示しています。



分解禁止

⊘は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。



プラグを抜く

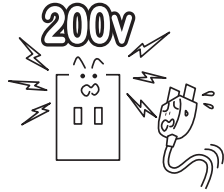
●は、必ずしてほしい行為(強制事項)を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。

警告

交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の恐れがあります。



100V以外禁止



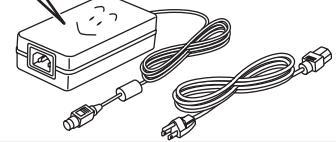
電源コード、ACアダプタは本体付属品を使用すること

本機の電源コードを取り外し、他の製品に使用しないでください。また、他の電源コードを本機に取り付けて使用しないでください。付属品以外の電源コードを使用すると、火災の恐れがあります。



専用品使用

専用品

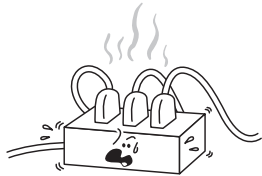


タコ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと

電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。



禁止



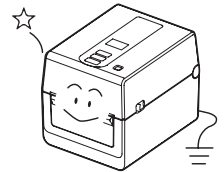
必ずアース(接地)すること

万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。

ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース(接地)を行わないでください。



アース接続する

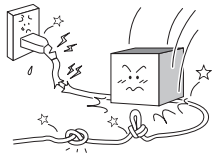


電源コードを無理に曲げたり、傷つけたり、引っぱったり、重い物を乗せたり、加熱したりしないこと

電源コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、電源コードを傷つけたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



禁止



濡れた手で本機を操作したり、電源プラグを抜き差ししないこと

濡れた手で操作すると、感電の恐れがあります。



ぬれ手禁止

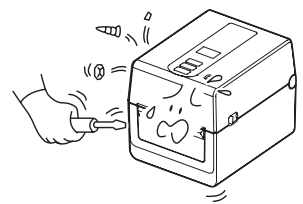


分解や改造、ご自身での修理はしないこと

火災・感電の恐れがあります。点検や修理については、お買い上げの販売店にご連絡ください。



分解禁止

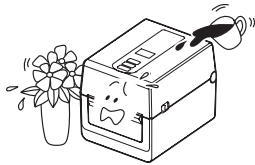


警告

本機の上に液体の入った容器やアクセサリなどの金属類を置かないこと
こぼれて中に入ると、火災・感電の恐れがあります。



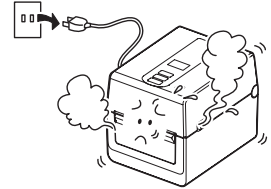
禁止



万一、煙が出たり変な臭いがしたときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



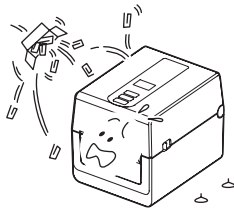
プラグを抜く



本機の内部にクリップなどの金属類、液体、燃えやすい物などを落としたり、差し込んだりしないこと
配線がショートし、火災・感電の恐れがあります。



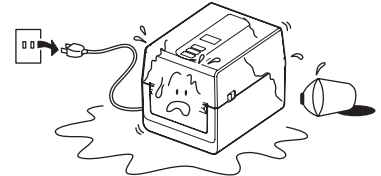
禁止



万一、異物(金属片・液体)が本機に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



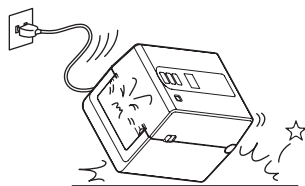
プラグを抜く



本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないこと
カバーなどが破損し、火災・感電の恐れがあります。



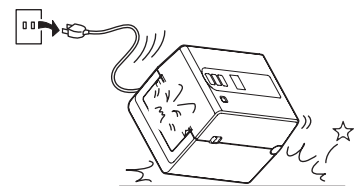
禁止



万一、本機を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



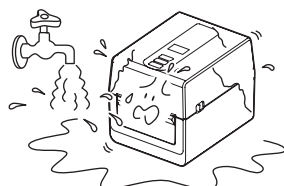
プラグを抜く



水がかかる場所で使用したり、水に濡らさないこと
火災・感電の恐れがあります。



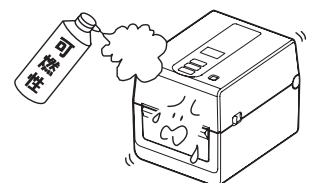
水ぬれ禁止



製品の周辺で、可燃性のスプレーなどは使用しないこと
スプレーガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、爆発および火災の原因になります。



可燃性スプレー禁止



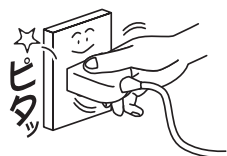
⚠️ 注意

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となることがあります。



確実に差し込む

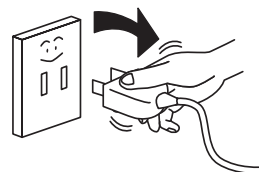


電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと

電源コードを引っばると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。



プラグを持つ



電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること

ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



ほこりを取る

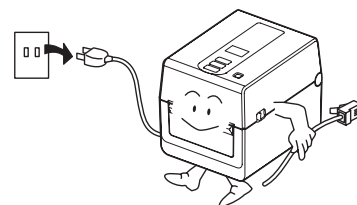


移動するときは、電源コードや他の接続コードを抜くこと

接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

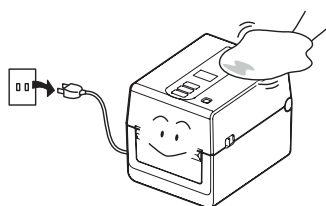


お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと

感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

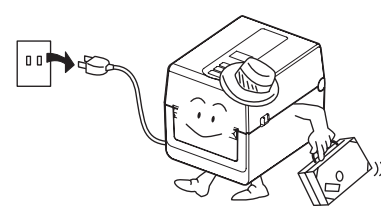


長期間使用しないときは安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

火災の原因となることがあります。



プラグを抜く



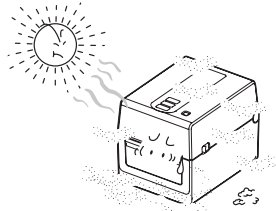
⚠️ 注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる暑い場所に置かないこと

内部の温度が上がったり、絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

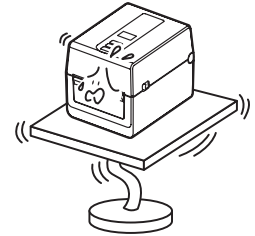


ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所に置かないこと

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

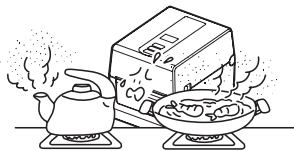


調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かないこと

絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

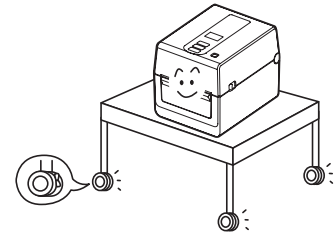


本機をキャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをすること

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



キャスターを止める

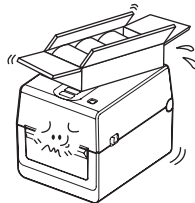


本機の上に重い物を置かないこと

置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

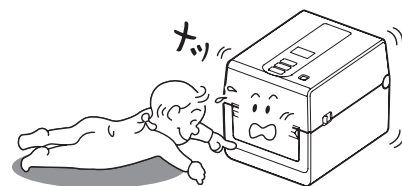


本機を子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置かないこと

感電・けがの原因となることがあります。



禁止

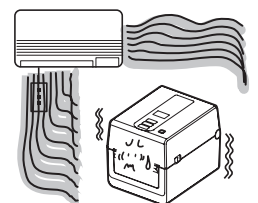


冷気が直接当たる場所に本機を置かないこと

露がつき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

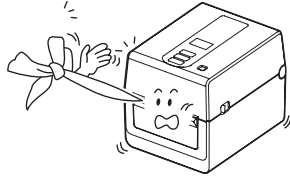


⚠️ 注意

用紙などの消耗品を交換するときは、プリンタのギアなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを巻き込まれないこと
けがの原因となることがあります。



注意

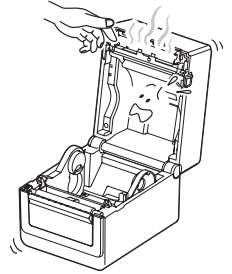


プリンタのヘッド部および用紙搬送部周辺は、高温になっている場合があるので手を触れないこと

やけどの原因となることがあります。



接触禁止

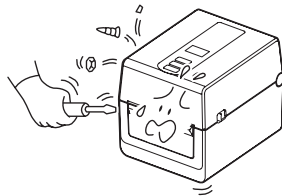


取扱説明書で指定する箇所以外のカバーの開閉、点検、清掃、消耗品の交換などはしないこと

感電・けがの原因となることがあります。



禁止

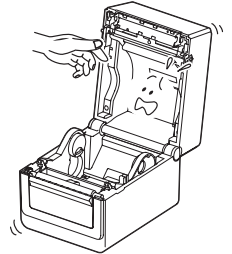


左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけない

けがの原因となることがあります。



注意

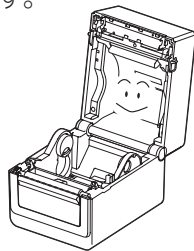


トップカバーは後側へ倒すように全開にすること

中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。



強制



シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーで本機を清掃しないこと

火災の原因となることがあります。



禁止

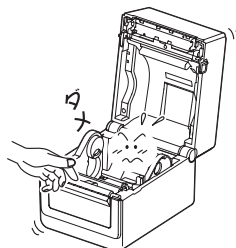


カッター部には手を触れないこと

けがの原因となることがあります。
(別売のカッターモジュールを装着時)







接触禁止



お願い

本機を正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

<p>●急激な温度変化を与えないでください。 結露が生じ、故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●ほこりの多いところ、振動が強いところに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●直射日光の当たるところ、熱器具や調理台のそば、水や油煙のかかるところには置かないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。</p>	 禁止
<p>●磁石やスピーカーなど、磁気を発するものの近くに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●テレビやラジオの近くでは使用しないでください。 電波妨害を引き起こす原因となります。</p>	 禁止
<p>●本機を落としたりぶついたり、本機に強い衝撃を与えないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。</p>	 禁止
<p>●お手入れをするときは、シンナーやベンジンなどの薬品類を使用しないでください。 変質・変形・変色・故障の原因となります。</p>	 禁止
<p>●印字した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。 印字内容の判読不能の原因となります。印字面の堅牢性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。</p>	 禁止
<p>●当社指定の用紙を使用してください。 当社指定品以外の用紙を使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。</p>	 指定品使用
<p>●用紙などの消耗品は、室温で適度な湿度のところに保管してください。 直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色した用紙を使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。</p>	 強制
<p>●オプション類は当社純正品(指定品)を使用してください。 当社純正品(指定品)以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。</p>	 指定品使用

本書の表記と公的規格等について

操作に関する表記

● キーの表記

本機のキーは次のように表記します。

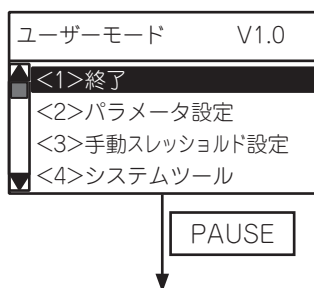
例)

..... 操作フローの中での表記
[FEED] [RESTART] [PAUSE] 説明文の中での表記

● 表示部の表記

キー操作の説明で液晶表示部の表示と連動するところは、操作内容と表示例を表記します。

例)



(1) ユーザーモードの終了メニューを選択します。

(2) [PAUSE] キーを押します。

本書で使用しているマークの意味

お願い : できないこと、してはいけないこと、注意していただきたい情報を記述しています。

補足 : 知っていると便利なことや補足情報を記述しています。

(→) : 詳しい説明のある項目やページを記述しています。
例)(→ 『困ったときは』) (→ P.130)

重要なお知らせ

- 本機をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しております。万一、ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- 本機(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、外国の規格などには適合しておりません。本機を日本国外で使用された場合、当社は責任を負いかねます。また、当社は本機に関する日本国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っておりません。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書に記載している会社名、商品名は、各社の登録商標または商標になっている場合があります。
- Bluetoothは、Bluetooth SIG Inc.の商標で、当社はライセンスに基づき使用しています。
- Androidは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- iPadおよびiPhoneは、米国と他国で登録されたApple Inc. の商標です。iPad AirおよびiPad miniは、Apple Inc. の商標です。
iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- iOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
iPhone確認機種
 - ・ iPhone X
 - ・ iPhone 8iPad確認機種
 - ・ iPad mini 4動作確認OS
 - ・ iOS 11, iOS 10, iOS9

公的規格等について

⚡ 無線機器（テレビ・ラジオ）の近くでは使用しないでください ⚡

この装置は、クラスB 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機は RoHS 指令（2011/65/EU 及び 2015/863）の特定有害物質使用制限に対応しています。

無線機器に対する使用上のご注意

本機は、オプションとして無線機能を用意しています。

以下の注意事項は、本機の無線機能に対してのみ適用されます。

使用可能地域

本製品は無線装置であり、使用できる国・地域は日本国内に限定されます。日本以外の国・地域で使用するとその国・地域の法律により罰せられることがあります。

使用時の注意事項

本製品は、電波法で定められた無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けています。したがって、日本国内のみの使用目的において、無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造すること、証明表示をはがしたりすると、法律により罰せられることがあります。

● 航空機内や病院などの使用を禁止された場所では使用しない

禁止場所が不明な場合、航空会社や医療機関に確認の上、指示に従ってください。誤って使用すると、運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。

● 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器への影響

本製品は携帯電話などと比べて非常に小さい電力を使用しており、心臓ペースメーカーや除細動器への干渉の可能性は非常に低いと考えられます。

万一、本製品の使用に際して、心臓ペースメーカーおよび除細動器への影響が生じた可能性がある場合、直ちに使用を中止し、医師にご連絡ください。

● 分解・改造・修理をしない

けがの原因となります。分解・改造は電波法違反にもなります。修理は最寄りのサービスステーションへご依頼ください。

● 電波環境の調査を行うこと

本機を使用する場合は必ず電波環境調査を行い、運用に支障がないことをご確認ください。電波環境調査については、お買い上げの販売店へご相談ください。

機能について

本製品は、電波を利用して通信を行います。したがって、設置場所、設置方向、使用環境、通信距離などにより通信性能が低下したり、通信障害が発生したり、近くの機器に影響を与えたりすることがあります。

● 電子レンジのそばで使用しないこと

電子レンジの電波の影響で、通信性能の低下や通信エラーが発生することがあります。

● 金属製の机や台の上、金属物のそばで使用しないこと

通信性能低下の原因となります。

2.4GHz帯域使用製品について

本製品の使用周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局または特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、最寄りのサービスステーションへご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、最寄りのサービスステーションへお問い合わせください。

5GHz帯域使用製品について

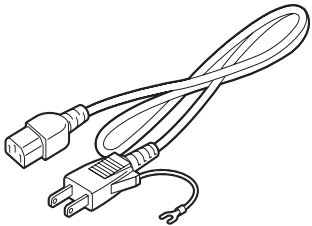
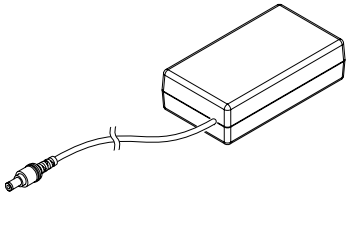
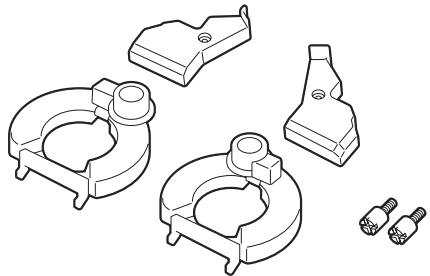
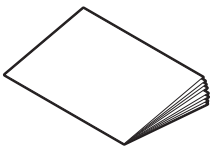
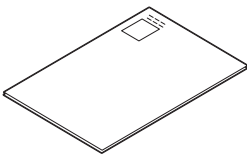

5GHz帯の電波を使用して屋外で通信しないでください。5GHz帯の無線設備を屋外で使用することは法律により禁止されています。

屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯を使用せずに2.4GHz帯をご使用ください。

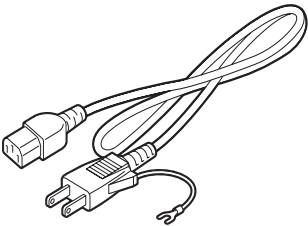
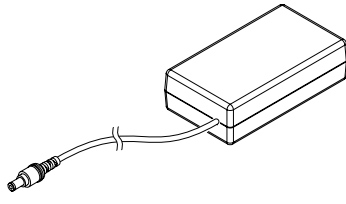

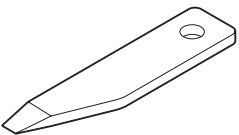
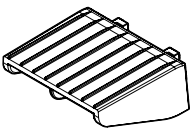
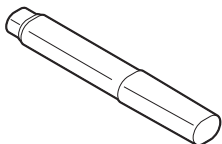
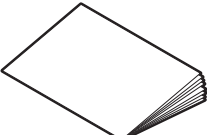
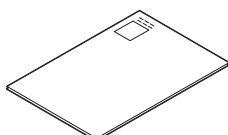
付属品の確認

付属品がすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。なお、コンピュータと接続する通信ケーブルは付属しておりません。通信ケーブルの詳細につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ BV410D-TS02/GS02/TC02/GC02-S

<p>●電源コード(1本)</p> 	<p>●ACアダプタ(1個)</p> 	<p>●内巻きラベル用アタッチメント(1式)</p> 
<p>●PL取説(1式)</p> 	<p>●ユーザー登録はがき(1式)</p> 	<p>●Software ライセンスガイド(1式)</p> 

■ BV410D-GL02-S

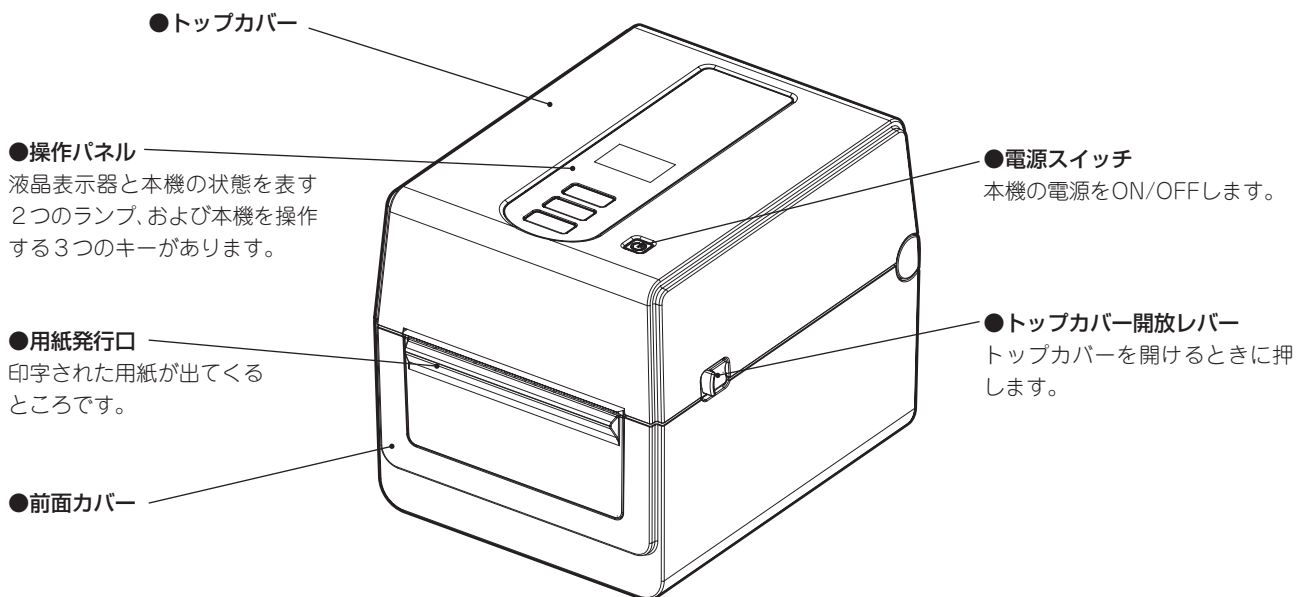
<p>●電源コード(1本)</p> 	<p>●ACアダプタ(1個)</p> 	<p>●Software ライセンスガイド(1式)</p> 
<p>●スクレイパー (1個)</p> 	<p>●ラベル受け(1個)</p> 	<p>●ヘッドクリーナーペン(1個)</p> 
<p>●PL取説(1式)</p> 	<p>●ユーザー登録はがき(1式)</p> 	

各部の名前と働き

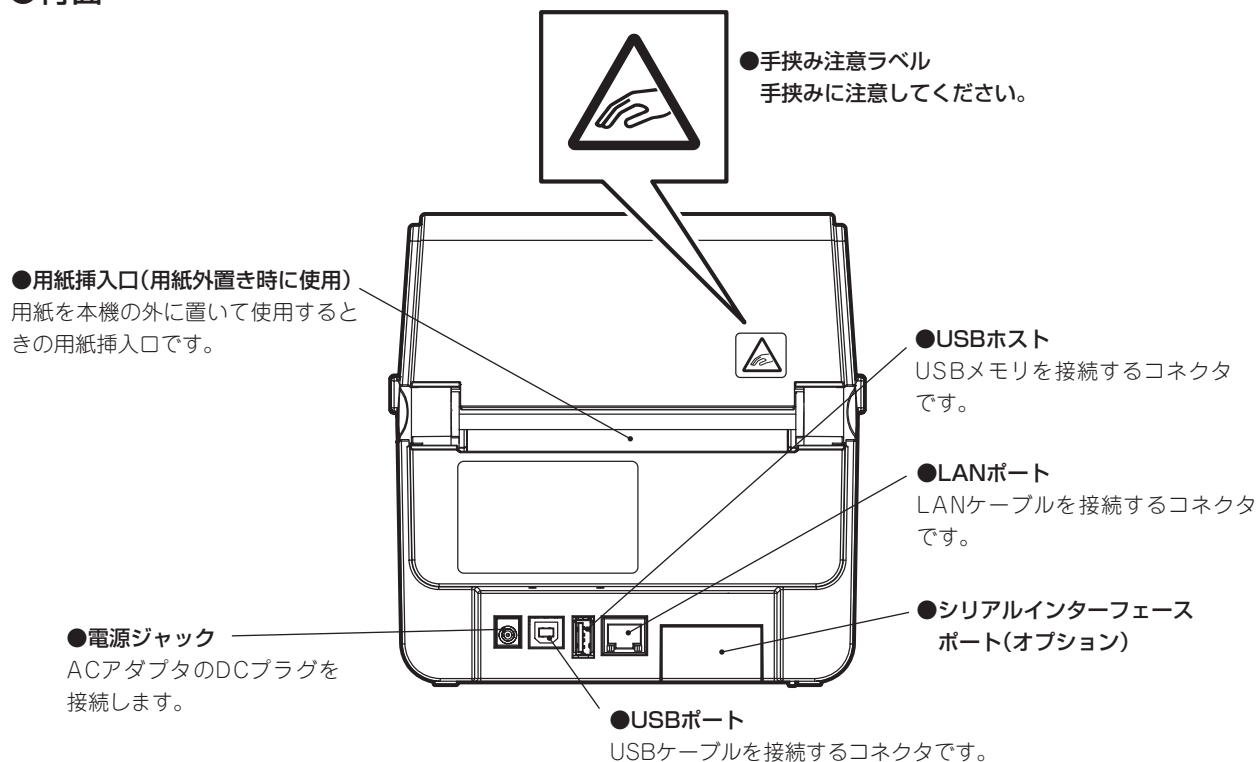
外観

■ BV410D-TS02/GS02/TC02/GC02-S

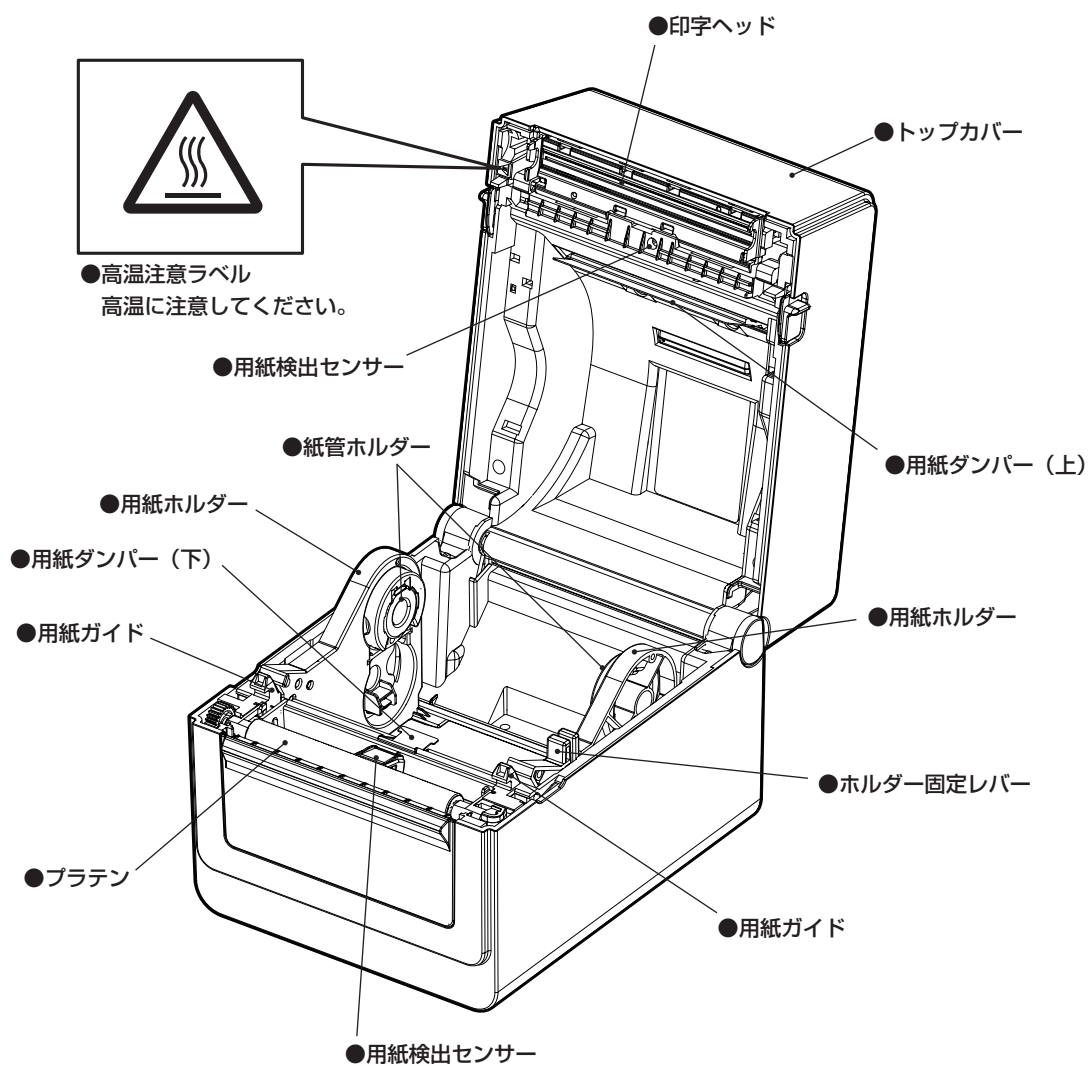
●正面



●背面

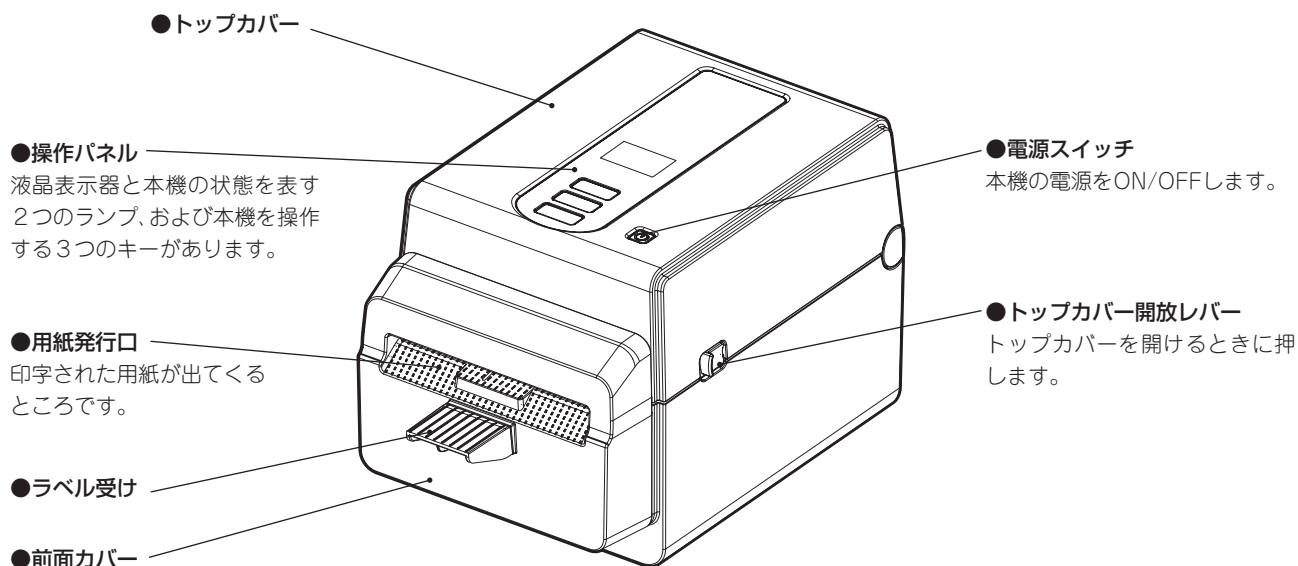


●印字機構部

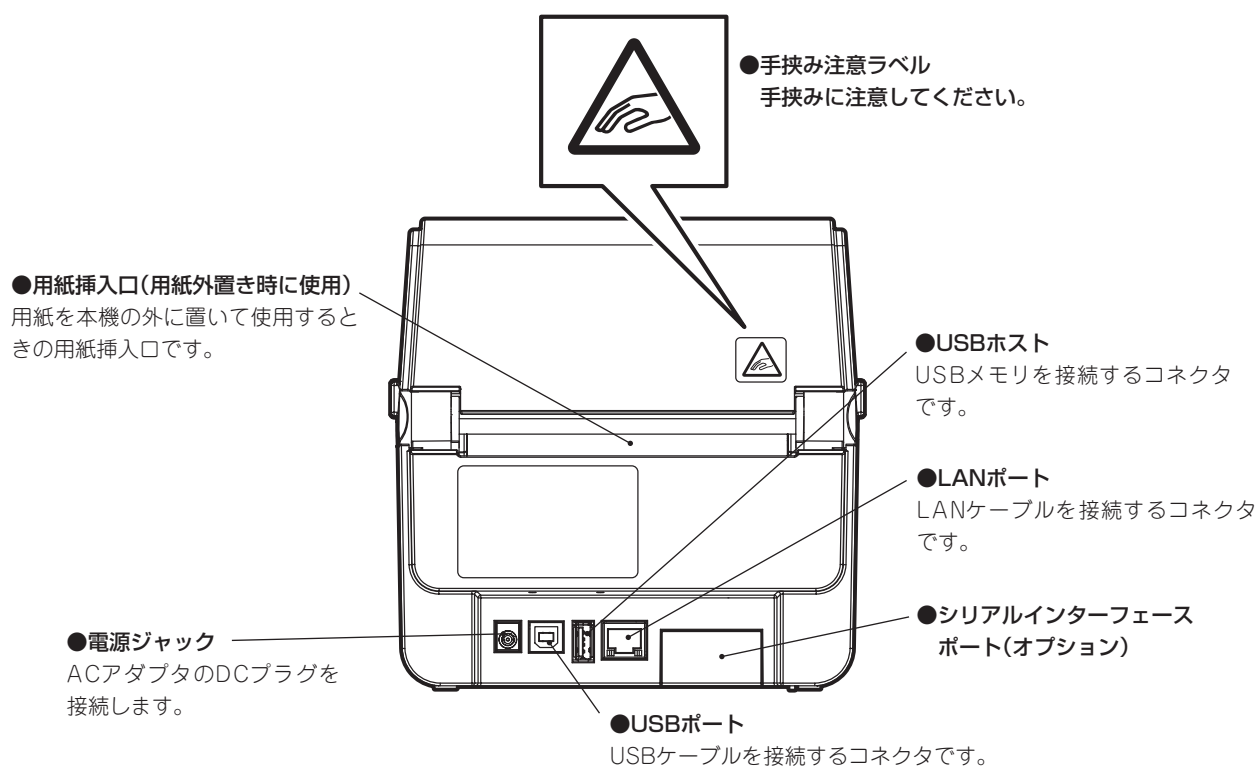


■ BV410D-GL02-S

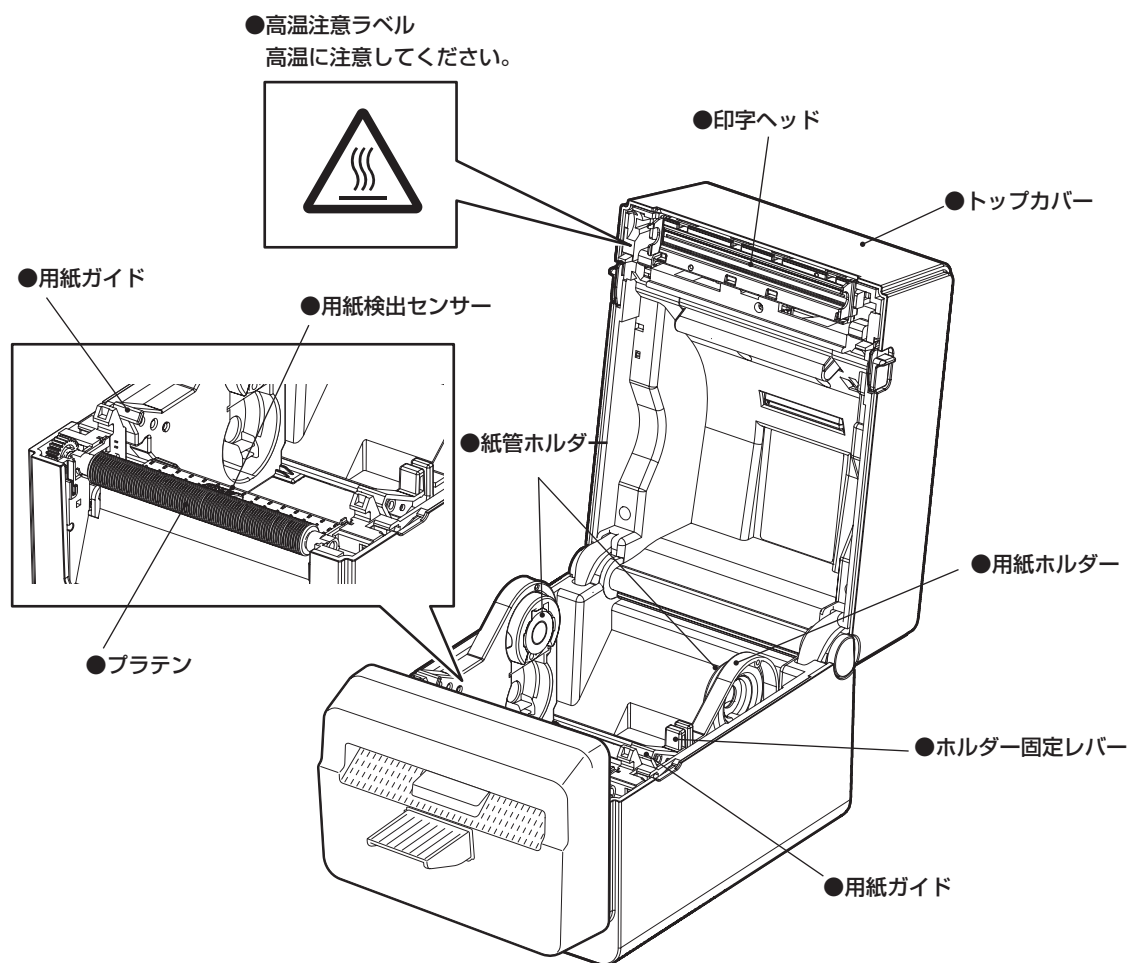
●正面



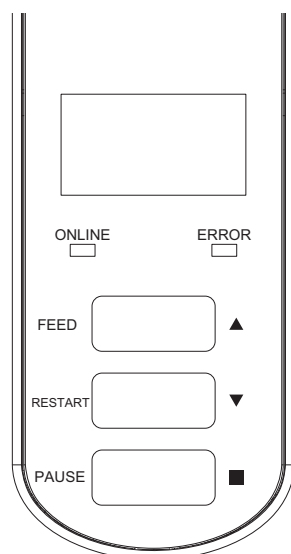
●背面



●印字機構部



操作パネル



●液晶表示器(LCD) (128x64ドット)

本機の状態を英字、数字、カタカナ、漢字、記号やアイコンで表示します。

●ON LINEランプ(青色)

- ・コンピュータとの通信が可能な状態のとき点灯します。
- ・コンピュータとの通信を行っているとき点滅します。
- ・省電力中にゆっくり点滅します。
- ・電源OFF時、ERRORランプと同じタイミングで点滅します。

●ERRORランプ(オレンジ色)

- ・何らかの不具合が本機に起こっているとき点灯します。
- ・電源OFF時、ON LINEランプと同じタイミングで点滅します。

● **FEED** キー

- ・用紙を1枚分紙送りするとき、または1枚排出するときに使います。
- ・用紙の位置を合わせるときに使います。
- ・各種設定に使います。

● **RESTART** キー

- ・発行の一時停止後の再発行を行うときに使います。
- ・エラーを解除して再発行するときに使います。ただし、一部のエラーは[RESTART]キーで解除できません。(→『エラーメッセージについて』)
- ・電源投入後の初期状態にします。
- ・各種設定に使います。

● **PAUSE** キー

- ・発行を一時的に停止するときに使います。
- ・ヘルプ表示を行います。
- ・各種設定に使います。

本機をお使いになる前の準備

ここでは本機の設置、コンピュータとの接続、および電源コードの接続について説明します。

設置場所について

操作するための十分なスペースが確保でき、風通しが良く、平坦で水平な場所に本機を設置してください。

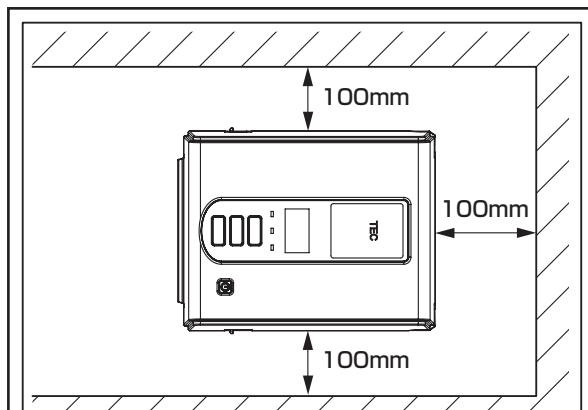
また本機の周辺には、右図のような空間を確保してください。

⚠ 注意

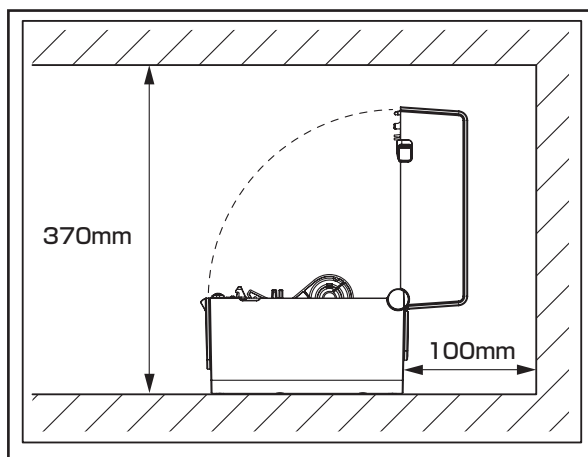
• 次のような場所には設置しないこと

- ・直射日光が当たる場所
 - ・高温、多湿な場所
 - ・急激な温度変化がある場所
 - ・振動のある場所
 - ・ほこりが多い場所
 - ・磁気や電磁波を発生する機器の近く
 - ・火気や水気に近い場所
 - ・不安定な台の上
- 火災・感電・けがの原因となることがあります。

【上から見た図】



【横から見た図】



ACアダプタ/電源コードを接続する

付属のACアダプタと電源コードは、次の手順でコンセントに接続してください。
また、電源プラグにはアース線が付いていますので、必ずアース端子に接続してください。



警告

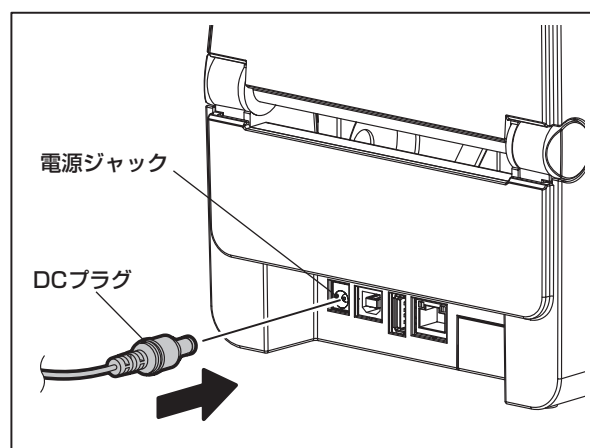
- ・ **交流100V以外のコンセントに差し込まないこと**
火災・感電の恐れがあります。
- ・ **電源コードは本体付属品を使用すること**
付属品以外の電源コードを使用すると、火災の恐れがあります。また、本機以外の機器に付属の電源コードを使用しないでください。
- ・ **たこ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと**
電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。
- ・ **電源コードは無理に曲げたり、傷つけたり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、加熱したりしないこと**
電源コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、電源コードを傷つけたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
- ・ **アース線は必ずアース端子に接続すること**
万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。ただし、事故や故障の原因になることがありますので、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などには接続しないでください。
- ・ **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと**
濡れた手で抜き差しすると、感電の恐れがあります。



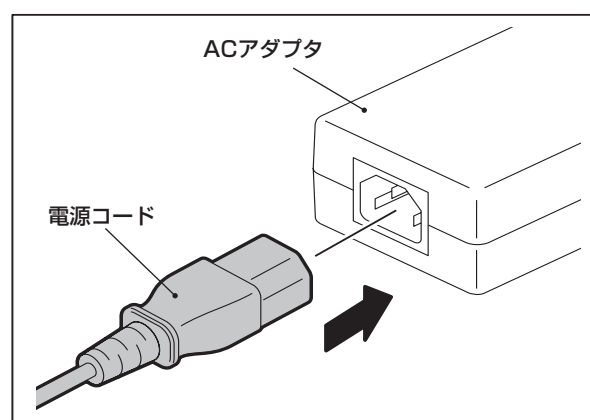
注意

- ・ **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込むこと**
確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となることがあります。
- ・ **電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと**
電源コードを引っばると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。
- ・ **電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること**
ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
- ・ **電源コードを抜くときは、本体の電源がOFFになっていることを確認すること**
電源ONの状態では電源コードを抜くと、故障の原因となります。

- 1 背面の電源ジャックに、ACアダプタのDCプラグを接続します。



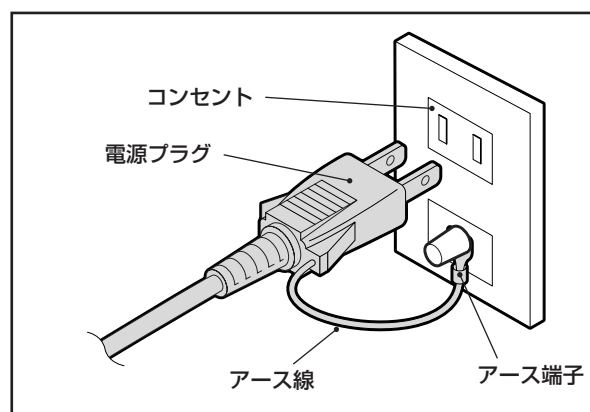
- 2 ACアダプタに電源コードを接続します。



- 3 アース線はキャップを外してからアース端子に接続し、電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。

お願い

- アース線は切断しないでください。切断するとアース端子に接続できなくなり、故障の原因となります。



コンピュータと接続する

コンピュータと接続するときは、次の手順で行ってください。
コンピュータとの通信方法により、使用する通信ケーブルが異なります。
詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

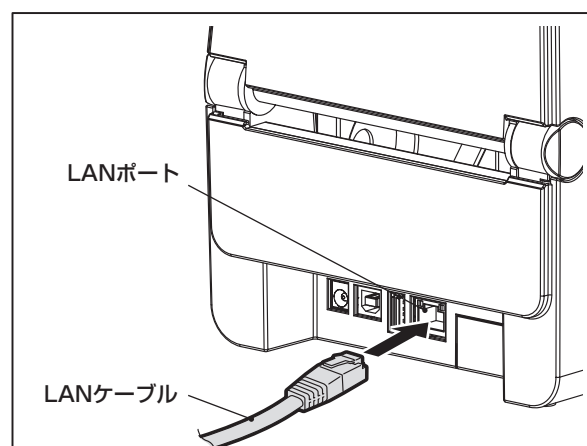
LANケーブルで接続する

- 1 本機後部のLANポートに、LANケーブルのコネクタを接続します。

補足

- 本機およびコンピュータの電源をOFFにする必要はありません。

- 2 LANケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータのLANポートに接続します。
(→『コンピュータの取扱説明書』)

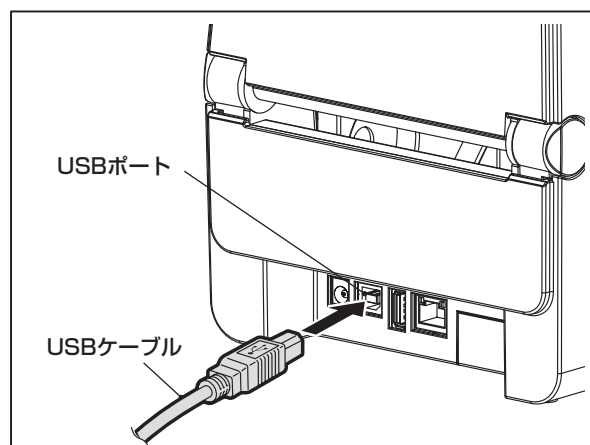


お願い

- LANケーブルは、規格に合ったものをご使用ください。
10BASE-T規格: カテゴリー 3 以上
100BASE-TX規格: カテゴリー 5 以上
ケーブル長: セグメント長最大100mまで
- 接続するLAN環境やノイズ環境によっては、通信エラーが起こる場合があります。その場合は、シールドケーブル(STP)や接続機器のマッチングが求められることがあります。

USBケーブルで接続する

- 1 コンピュータの電源をONにし、Windowsシステムを起動しておきます。
- 2 本機の電源スイッチをONにします。
- 3 本機後部のUSBポートに、USBケーブルのコネクタを接続します。
- 4 USBケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータのUSBポートに接続します。
(→『コンピュータの取扱説明書』)



お願い

- 本機とコンピュータを接続しているUSBケーブルを取り外すときは、コンピュータの「ハードウェアの安全な取り外し」等に従って取り外してください。
- USBケーブルは2.0以上の規格品で、本機側に接続するコネクタがBタイプのものをご使用ください。

Bluetoothで接続する

本機とホスト端末との通信にBluetoothインターフェースを使用するためには、最初に「ペアリング」と呼ばれる接続設定を行う必要があります。

本機では、用途によって2つのペアリングモードが用意されています。

ここではペアリングモードの切り替え方法とホスト端末(Android端末またはiOS端末)とのペアリング方法について説明します。

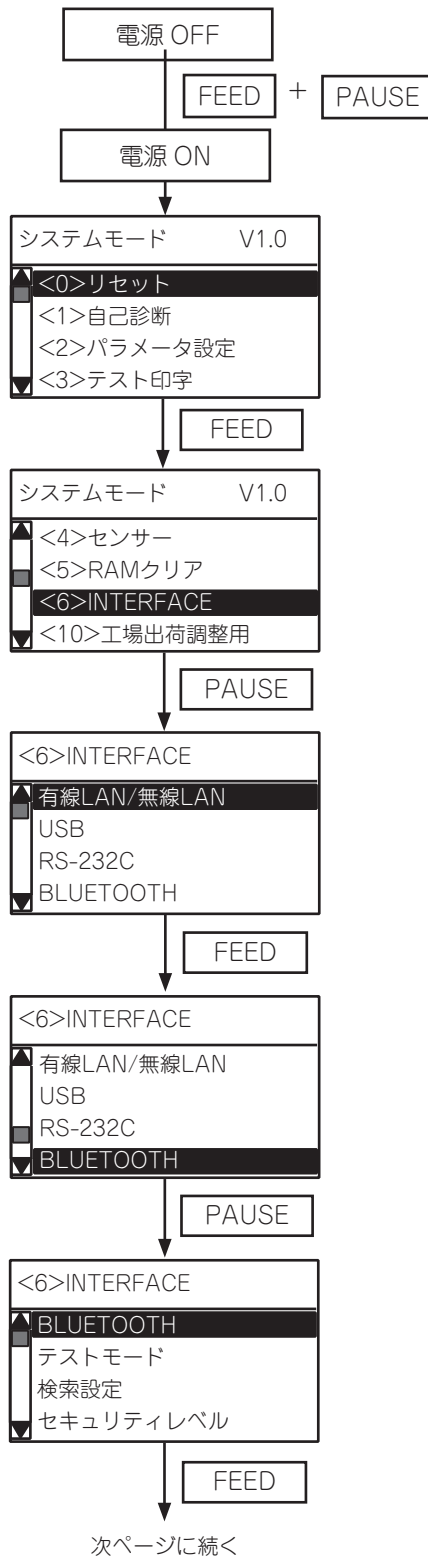
ペアリングモードは、本機を複数のAndroid端末またはiOS端末で共有して使用する「自動再接続無効モード」と、特定のiOS端末のみで使用する「自動再接続有効モード」が用意されています。

お買い上げ時は「自動再接続無効モード」に設定されております。

現在のペアリングモードは液晶表示器に表示されるCマークで確認することができます。

モード名	電源ON時のアイコン表示	用途	機能
自動再接続有効モード	Cマーク点灯	特定のiOS端末のみで使用します。	電源投入後に、最後に接続していたホスト端末への接続を試みます。
自動再接続無効モード	Cマーク消灯	複数のAndroid端末またはiOS端末で共有して使用します。	電源投入後にホスト端末からの接続を待ちます。ホスト端末からのペアリング操作が必要になります。

●Bluetoothモードの設定



(1) [FEED]と[PAUSE]キーを押しながら電源ON

(2) システムモードとなります。

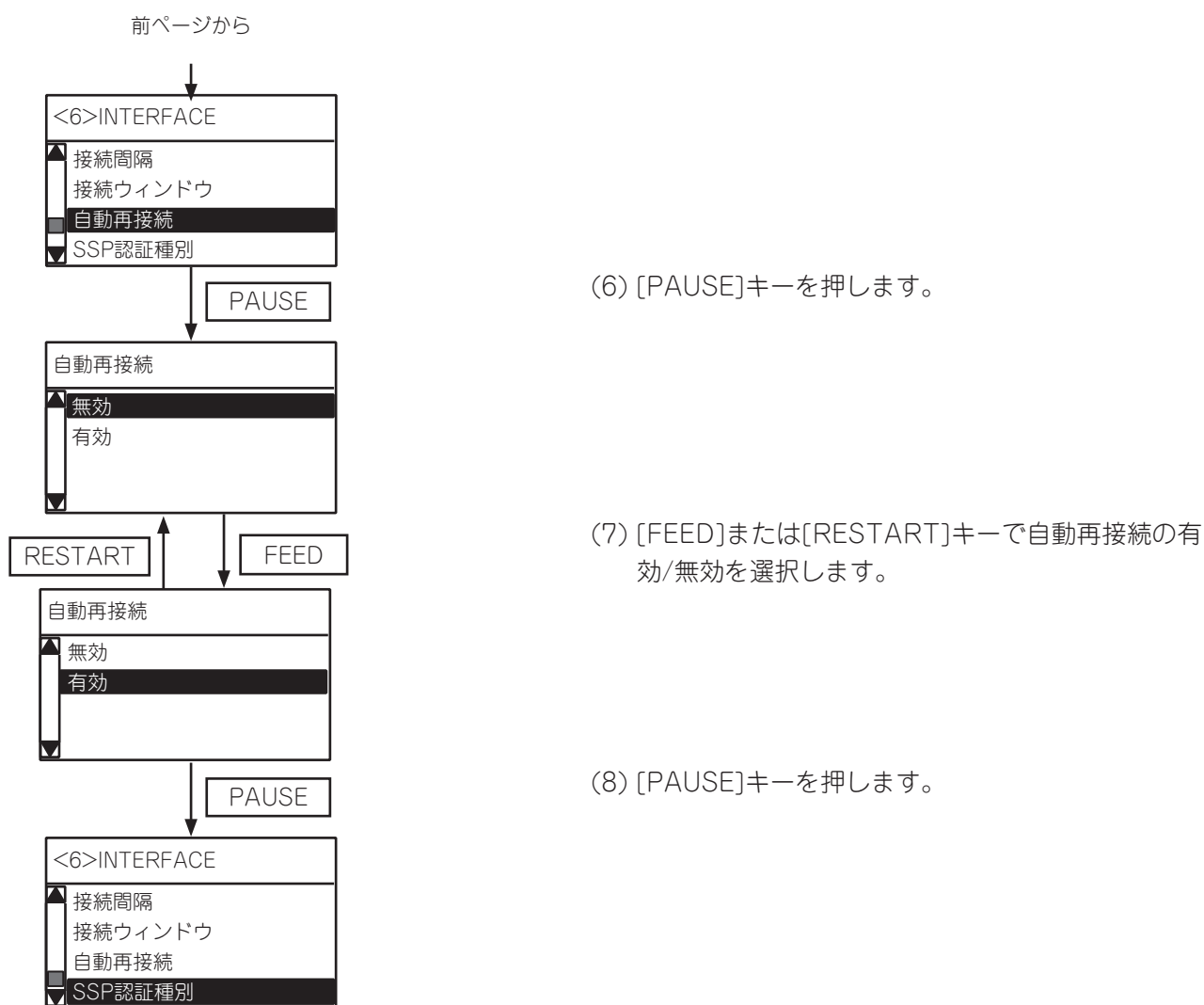
(3) [FEED]キーでINTERFACE設定メニューを選択します。

(4) [PAUSE]キーを押します。

(5) [FEED]キーでBLUETOOTHを選択します。

(6) [PAUSE]キーを押します。

(7) [FEED]キーで自動再接続を選択します。



●Androidペアリング手順

本機の電源を入れた状態で、ホスト端末からペアリング設定を行います。
ペアリング設定時は、本機の自動再接続を「無効」に設定してください。

補足

• ご利用のホスト端末によって一部表示される画面が異なる場合があります。詳しくは、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。

1. Android端末のホーム画面で[アプリ]アイコンをタップします。
2. アプリの一覧から[設定]をタップします。

3. 設定画面で[Bluetooth]をタップします。



4. Bluetooth画面で、スイッチボタンをタップして、オンに設定します。



5. Bluetoothをオンに設定すると、自動的にデバイスを検索します。



6. [使用可能な機器]から[TOSHIBA TEC BT]をタップします。



7. ペアリング設定が開始されます。



8. [ペアリングされた機器]に[TOSHIBA TEC BT]が表示されれば完了です。



●iOSペアリング手順

本機の電源を入れた状態で、ホスト端末からペアリング設定を行います。
ペアリング設定時は、本機の自動再接続を「無効」に設定してください。

補足

• ご利用のホスト端末によって一部表示される画面が異なる場合があります。詳しくは、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。

1. ホーム画面で[設定]をタップします。
2. 設定画面で[Bluetooth]をタップします。
3. Bluetooth画面でスイッチボタンをタップして、オンに設定します。
4. Bluetoothをオンに設定すると、自動的にデバイスを検索します。

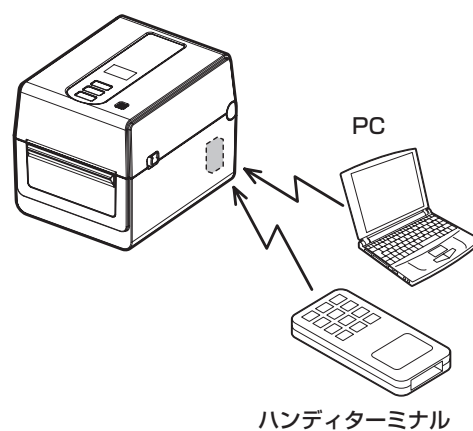


5. [TOSHIBA TEC BT]をタップします。
6. [接続済み]と表示されれば完了です。



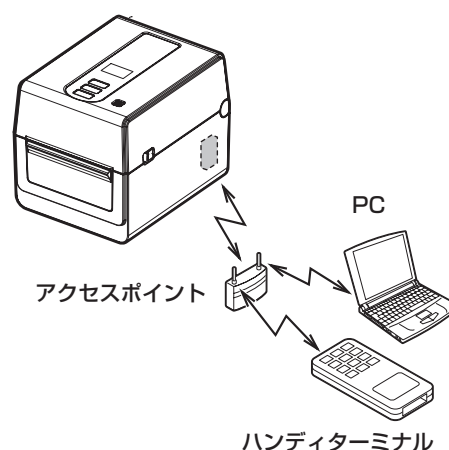
●通信方法

- 1 ホスト端末を本機の3m以内に近づけます。
- 2 本機とホスト端末の電源をONにします。
- 3 Bluetoothの接続可能アイコンが点灯していることを確認します。
- 4 ホスト端末側から本機へデータを送信します。



無線LANで接続する

- 1 アクセスポイントのカバーエリアに本機を置きます。
- 2 本機とホスト端末の電源をONにします。
- 3 ホスト端末側から本機へデータを送信します。



お願い

- 無線通信を行う前に、必ず『無線機器に対する使用上のご注意』をよくお読みください。
- 本機とホスト側の間に、障害物が無いことを確認してください。障害物が間にあると、通信不良の原因となります。

補足

- 本機を使用する環境によっては、通信しにくい場合があります。事前に確認してください。特に金属物の近くや金属粉の多い所、金属壁で囲まれた部屋などでは通信できない場合があります。

電源のON/OFFについて

本機は、電源ON時に印字ヘッドやメモリーのチェックを行います。また、電源OFF時にはメモリー内のデータを消去します。

お願い

- 電源のON/OFFは、電源スイッチで行ってください。電源プラグの抜き差しでON/OFFすると、故障の原因となります。

電源をONにする

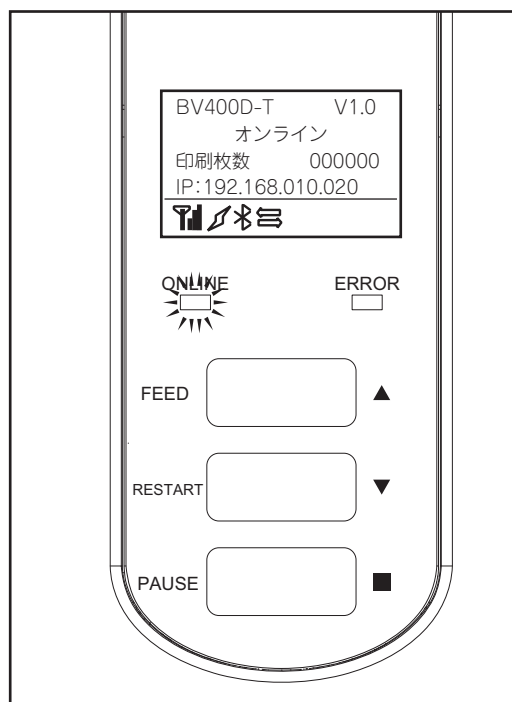
- 1 本機の電源スイッチを数秒間押します。
液晶表示器全体が光ったら離します。



- 2 液晶表示器に「オンライン」が表示され、ON LINEランプ(青色)が約15秒点滅したあと点灯します。

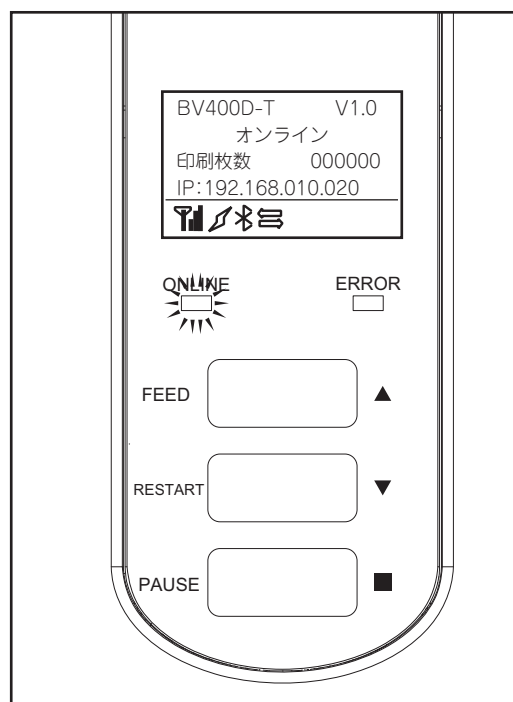
補足

- 電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示したときは、『困ったときは』を参照ください。
(→ P.130)

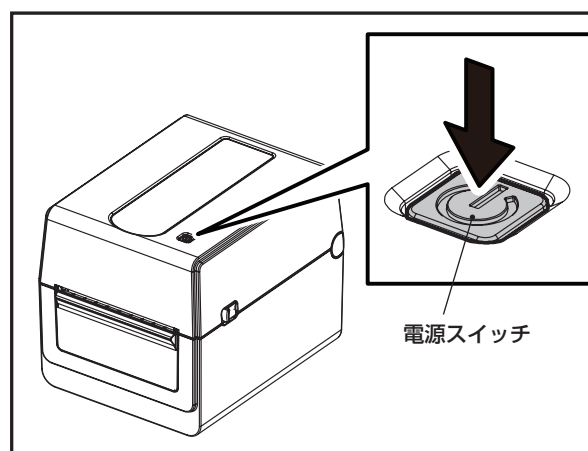


電源をOFFにする

- 1 液晶表示器に「オンライン」が表示された状態で、ON LINEランプ(青色)が早い点滅をしていないことを確認します。



- 2 本機の電源スイッチを数秒間押します。
- 3 液晶表示器の表示が消え、ON LINEランプとERRORランプが同時に点滅したあと消灯します。



お願い

- 用紙発行中は電源をOFFにしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。ただし、本機から異臭がしたり発煙しているときは、直ちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ON LINEランプが早く点滅しているときはコンピュータと通信を行っている恐れがあるので、電源をOFFにしないでください。接続しているコンピュータに悪い影響を与えることがあります。

用紙の取り付け方

ここでは、本機に用紙を取り付ける手順について説明します。

本機ではラベルとタグを使用することができます。

BV410D-GL02-Sモデルは、ライナレスラベルをカット発行する専用機です。

用紙は当社認定の純正品をご使用ください。用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



注意

- ・ **トップカバーは全開にすること**
中途半端な状態にしてしまうと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ **印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと**
やけどの原因となることがあります。

お願い

- ・ 初めて使用する用紙を取り付けるときは、システムモードの『センサー』で用紙検出センサーの感度調整を行ってください。(→『(2)調整』(P.106))
- ・ プレ印刷されている用紙を取り付けるときは、スレッシュホールドの設定を行ってください。(→『スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙)』(P.55))
- ・ 本機にセットできる用紙のサイズは次のとおりです。

ロール直径: 最大127mm

紙管の内径: 25.4mm、38mmまたは42mm

外径が127mmを超えるか、紙管の内径が76.2mmの場合は、別売りの外置き用紙ホルダーに用紙をセットしてください。(→『外置き用紙ホルダー使用時の用紙の取付手順』(P.43))

- ・ ライナレスラベルを使用する場合、ラベルの貼り付きや変形によるトラブルを防ぐため、本機を使用しない期間に応じて以下の対応を行ってください。

【毎日の対応】

一日の作業が終了したら、トップカバーを開けた状態にしてください。完全に開けず、少し開けた状態でのこりの侵入を防いでください。

【10日以上使用しないとき】

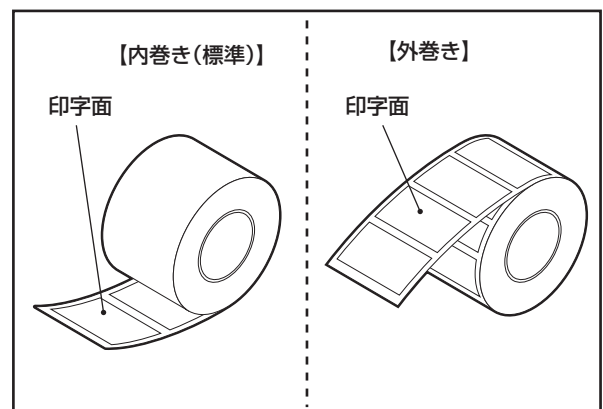
本機からラベルを取り出して保管してください。

【取り出した使用途中のラベルの保管】

- ・ 取り出したラベルはビニル袋に入れてください。ビニル袋の余った部分は紙管の内側に納めてください。
- ・ 変形を防止するために、ラベルの側面を下にして保管してください。

補足

- ・ 用紙には内巻きと外巻きがあり、その違いは右図のとおりです。巻く方向に関係なく、印字面が上を向くように本機に取り付けます。
- ・ 当社認定品以外の用紙を取り付けて印字した場合、その結果に対して当社は一切の責任を負いません。

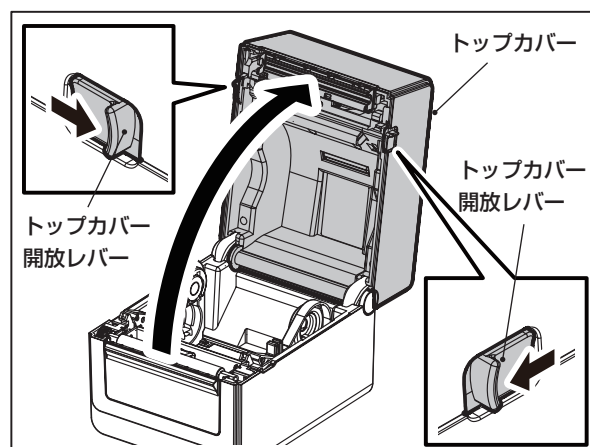


取付手順

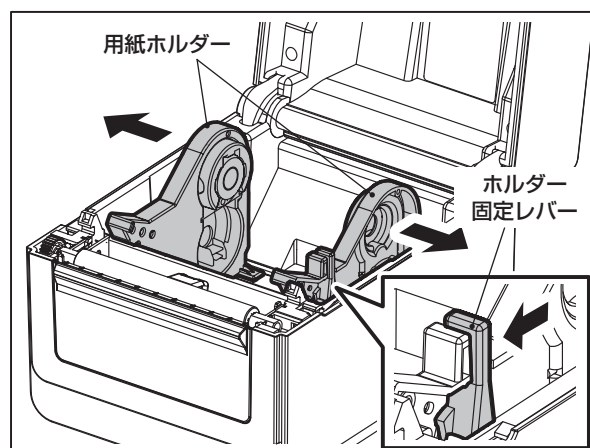
- 1 トップカバー開放レバーを矢印の方向に引きながらトップカバーを全開にします。

補足

- 改良のため予告なく部品形状の一部を変更することがあります。

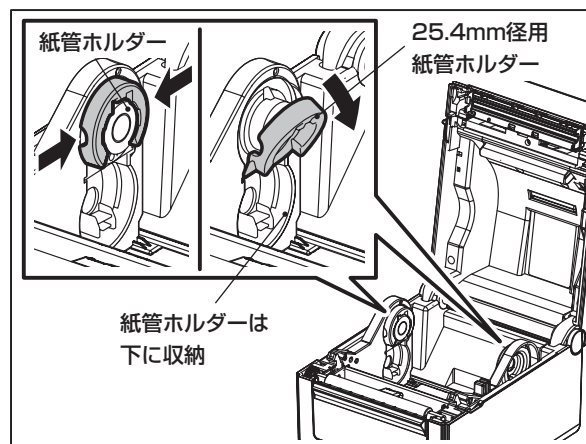


- 2 ホルダー固定レバーをつまみながら用紙ホルダーを左右に広げます。

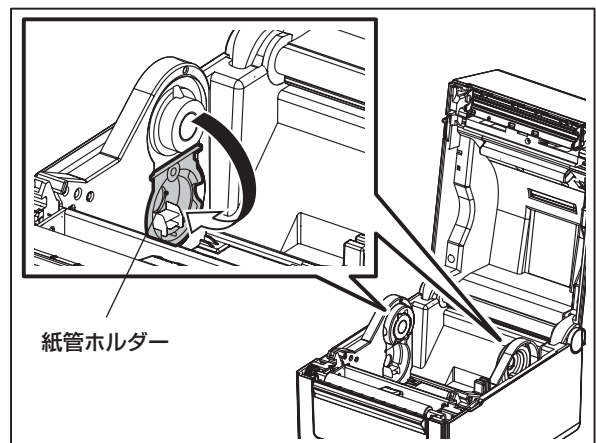


補足

- 工場出荷時の紙管ホルダーは、紙管内径38mmと42mmのロール紙に対応しています。
 - 紙管内径が25.4mmのロール紙を使用する場合は、図のように紙管ホルダーを手前に取り出し、下のくぼみに収納します。
- ① 紙管ホルダーの両端にある切り欠きに指をかけて、手前に引っ張ります。

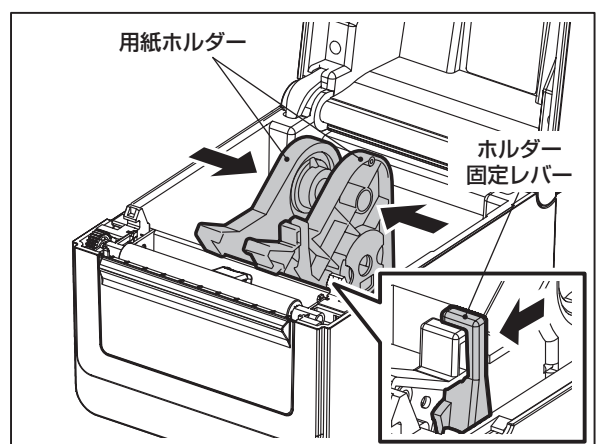


- ② そのまま下のくぼみに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

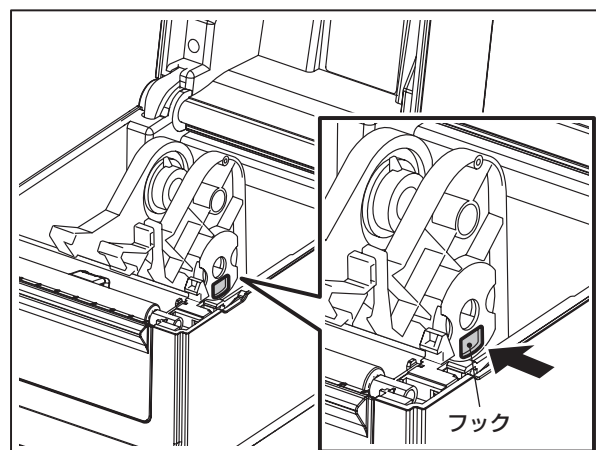


紙管ホルダーの戻し方

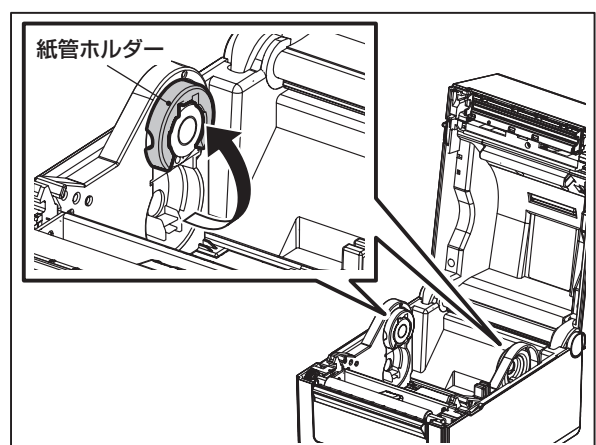
- ① ホルダー固定レバーをつまみながら、用紙ホルダーを中央付近に寄せます。



- ② 用紙ホルダーの外側から紙管ホルダーの爪部を押し、紙管ホルダーのフックを外します。



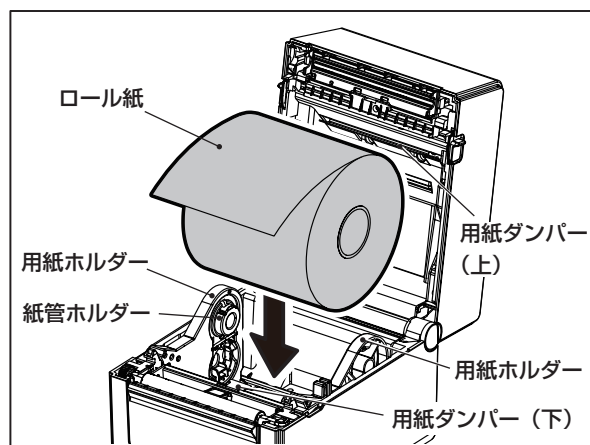
- ③ 紙管ホルダーを元の位置に戻します。



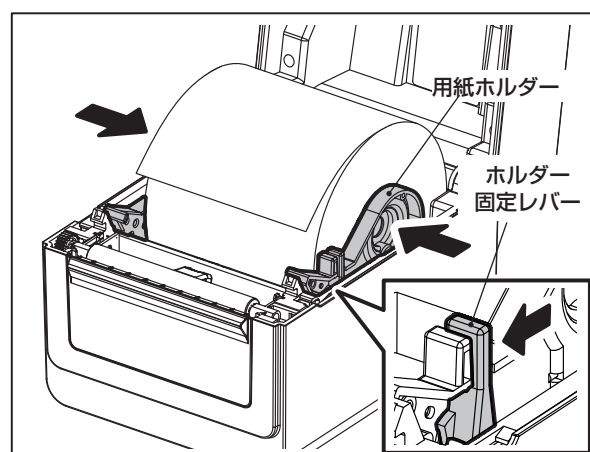
- 3 印字面が上になるようにロール紙を用紙ホルダーの間に置きます。

お願い

- 用紙の巻き方向に注意してセットしてください。逆にセットすると印字されません。
- 用紙の先端は、ハサミでまっすぐに切りそろえてください。ラベルの場合は、ラベルの間の台紙部を切りそろえてください。
- 用紙をセットする際に、用紙ダンパー（上）と用紙ダンパー（下）を破損しないように気をつけてください。



- 4 ホルダー固定レバーをつまみながら用紙ホルダーを内側にスライドさせてロール紙をしっかり固定します。紙管ホルダーの凸部が、紙管に収まっていることを確認してください。



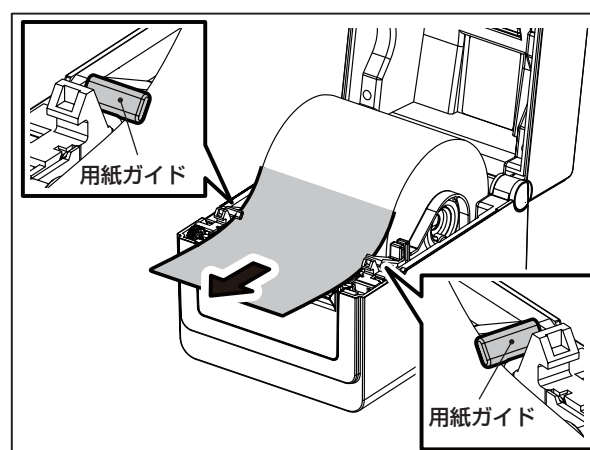
- 5 左右の用紙ガイドに用紙を挟み、用紙の先端が用紙発行口より少し出る位置まで用紙を引き出します。

お願い

- 用紙ガイドが用紙を締め付けすぎないように注意してください。用紙を締め付けすぎると、用紙がたわみ、紙詰まりや紙送り不良の原因になります。

補足

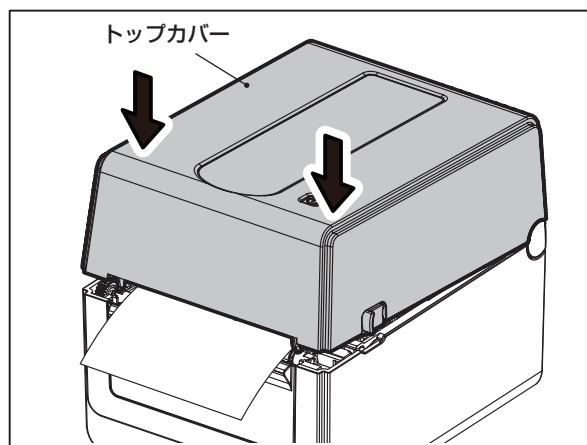
- 反射センサーを使用する用紙をセットしたときは、反射センサーの位置を調節してください。(→『反射センサーの位置を調整する』(P.46))



- 6 トップカバーを静かに下ろし、トップカバー前部を「カチッ」と音がするまで両手で押して確実に閉めます。
- 7 [FEED]キーを押して10～20cm程紙送りし、正しく紙送りすることを確認します。

お願い

- 本機を長期間使用しない場合は、トップカバーを開放してください。トップカバーを長期間閉じたままにしておくと、ローラー部に挟まれた箇所の用紙が変形して、次回発行時に印字不良の原因となることがあります。



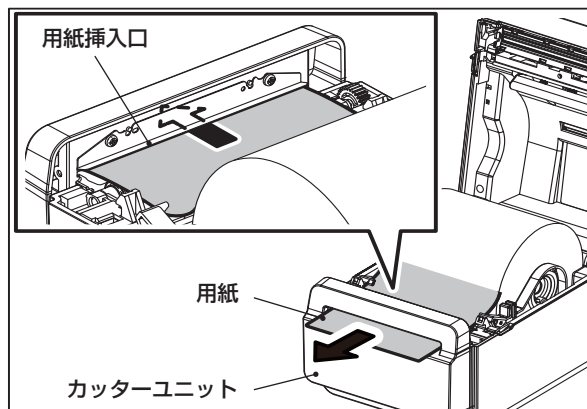
カッター装着時の用紙取付手順



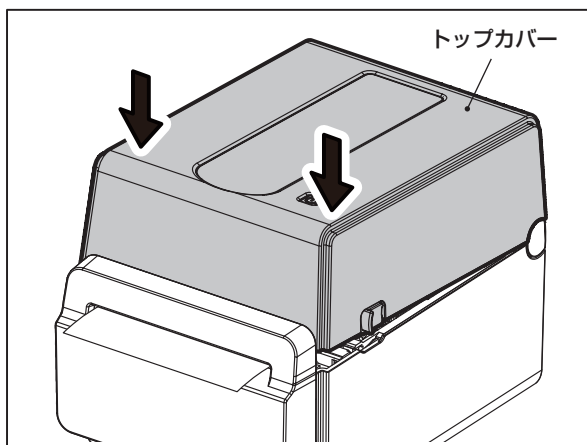
注意

- カッターの刃に直接触れないでください。けがの原因となることがあります。

- 1 通常用の紙取付手順1～5に従って用紙をセットします。
- 2 用紙の先端をカッターユニットの用紙挿入口へ差込みます。

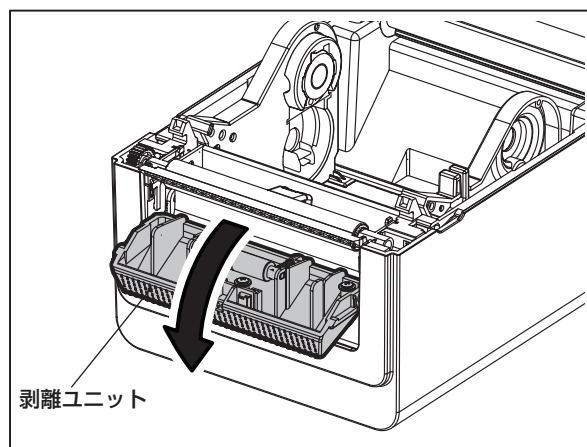


- 3 トップカバーを確実に閉め、最後に[FEED]キーを押し、正しくカットされることを確認します。



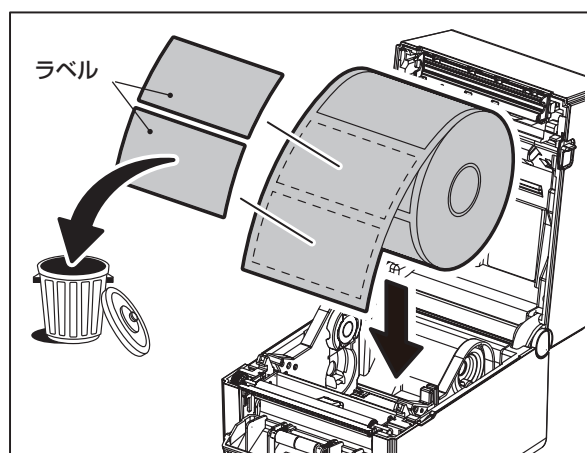
剥離モジュール装着時の用紙取付手順

1 剥離ユニットを開きます。

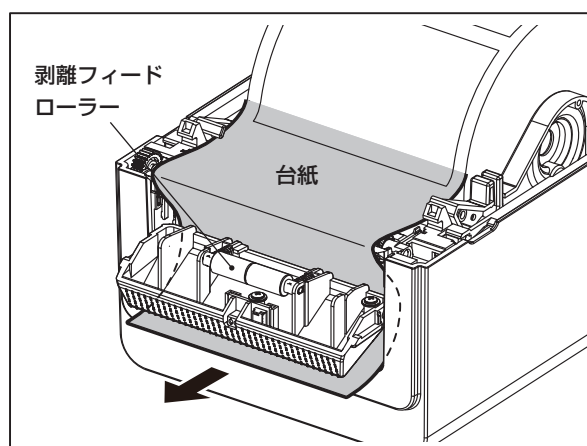


2 用紙の先端から約200mm分の台紙からラベルをはがします。

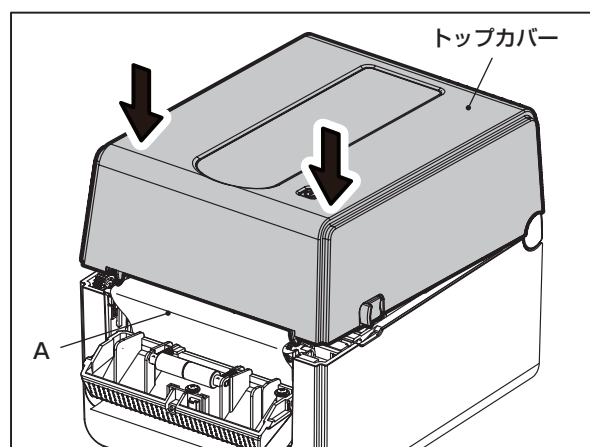
3 通常用の紙取付手順1～5に従ってラベルロールをセットします。



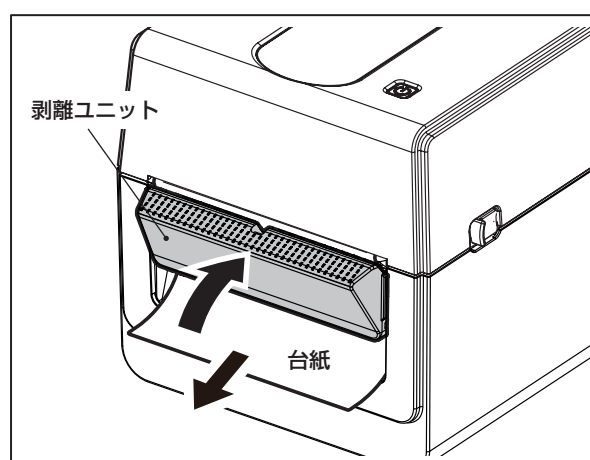
4 台紙を台紙フィードローラーと剥離板の間に通します。



- 5 台紙を通したらトップカバーを閉めます。



- 6 上図A部にたるみがないことを確認し、台紙を軽く引っ張りながら剥離ユニットを閉めます。台紙にゆるみがあると動作中に剥離ユニットが開いてしまう場合があります。



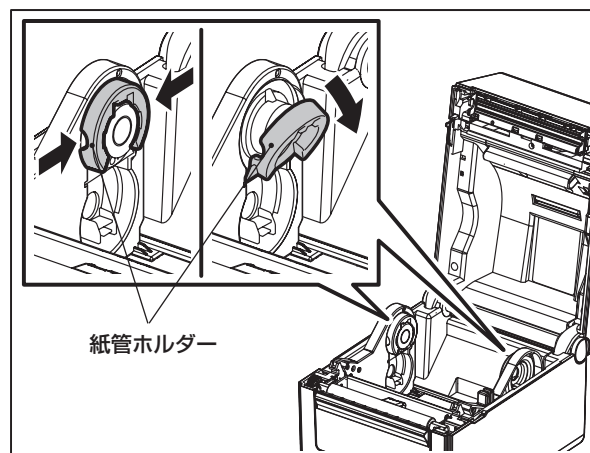
7. [FEED]キーを押し、ラベルが正しく剥離されることを確認します。

内巻きラベルの取付手順

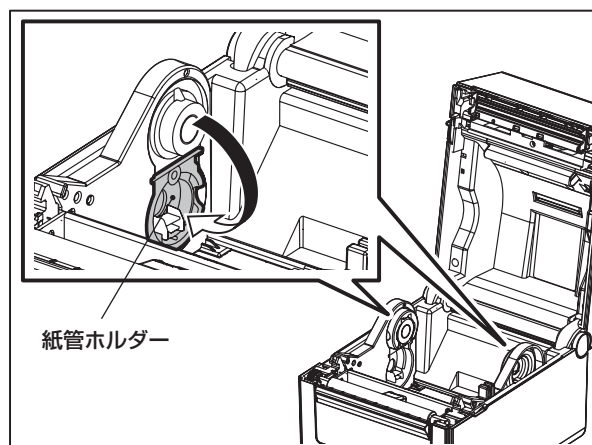
お願い

内巻きラベルを使用する場合は、同梱されている内巻きラベル用アタッチメントを取り付けてください。アタッチメントを取り付けずに印字すると、プリンタ内部でラベルが剥がれやすくなり、紙詰まりの原因になります。

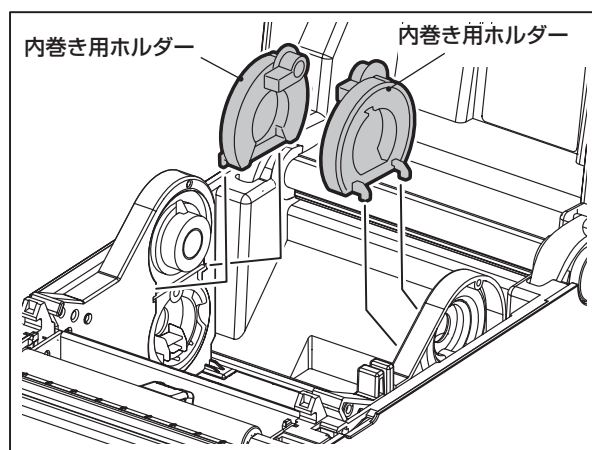
- 1 紙管ホルダーの両端にある切り欠きに指をかけて、手前に引っ張ります。



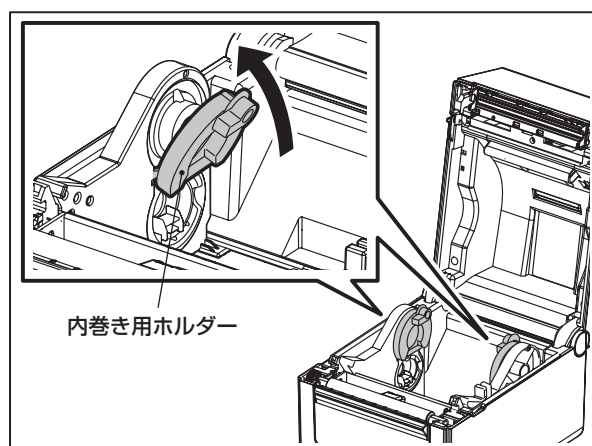
- 2 そのまま下のくぼみに「カチッ」と音がするまで押し込みます。



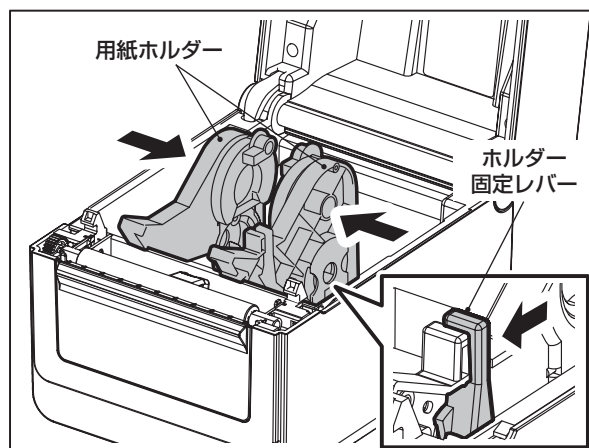
- 3 内巻き用ホルダーの突起部を、紙管ホルダーセット位置の穴に差し込みます。



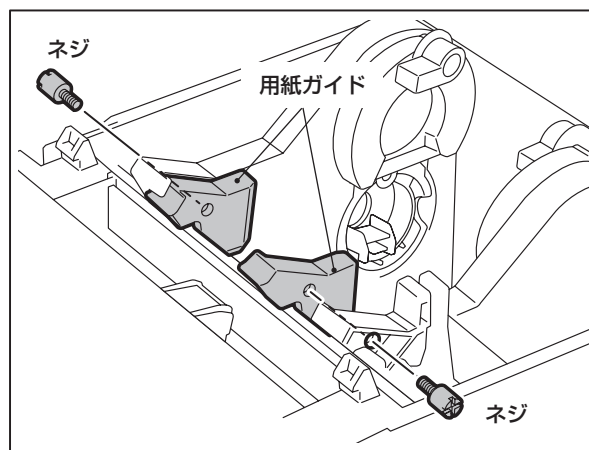
- 4 内巻き用ホルダーをパチンとはめます。



- 5 ホルダー固定レバーをつまみながら、用紙ホルダーを少し内側に寄せます。

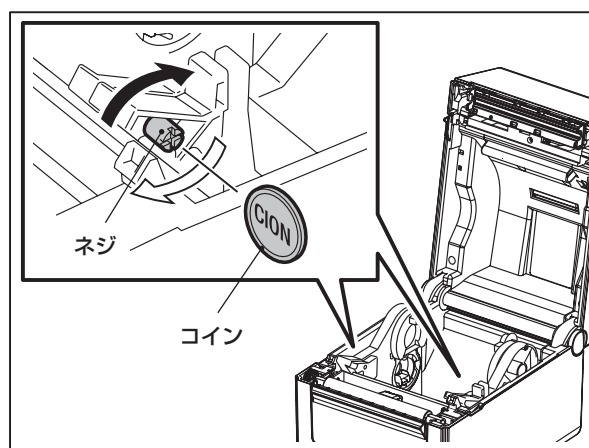


- 6 内巻きラベル用の用紙ガイドを、用紙ホルダーの内側先端部分に図の示す向きで取り付けます。

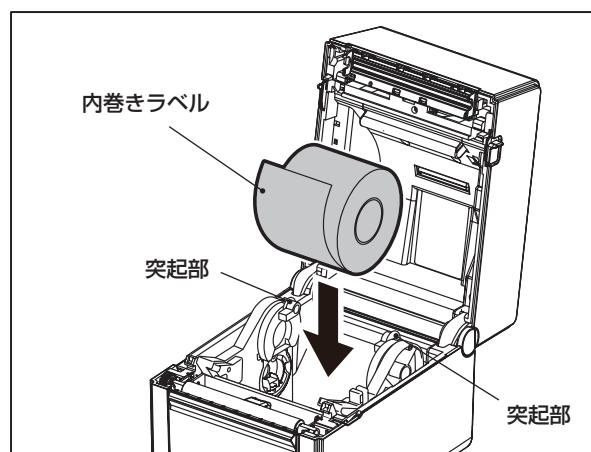


- 7 用紙ホルダーの外側からネジで用紙ガイドを固定します。

- 8 ネジは指で締め、最後はコインを使って締めてください。

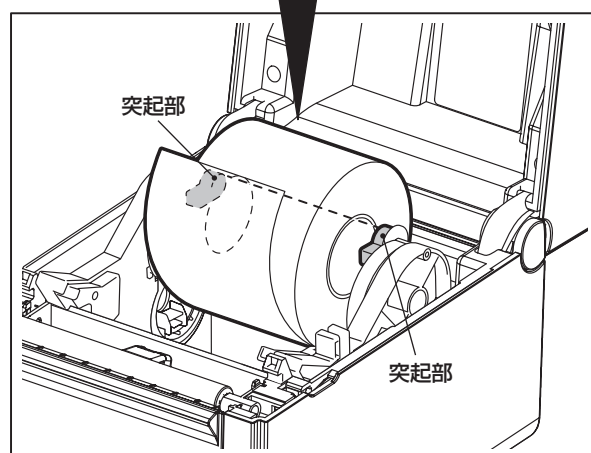
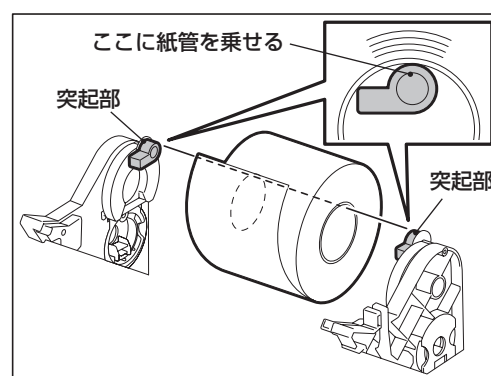


9 内巻きラベルをセットします。



10 紙管を、内巻き用ホルダー上部の丸い突起部に乗せます。

11 通常用の紙取付手順4～7に従ってラベルをセットします。

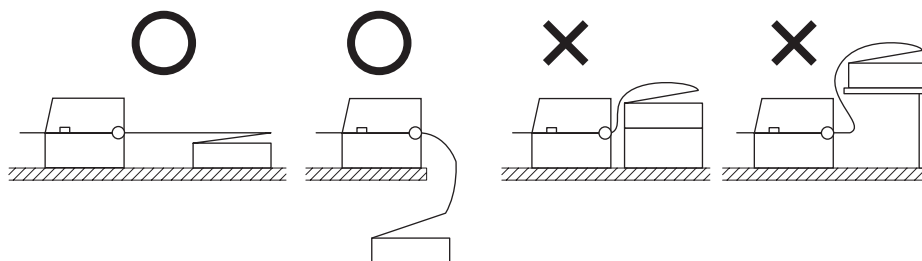
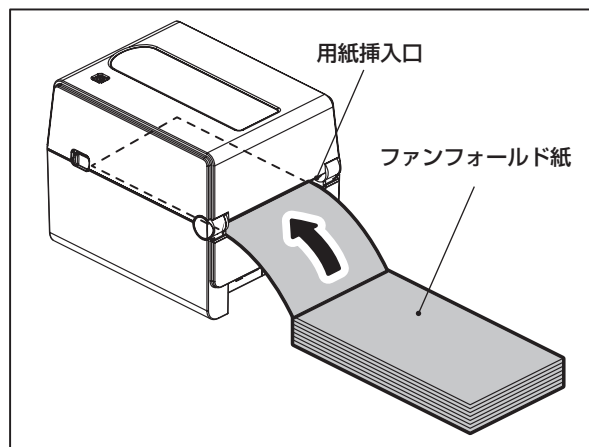


ファンフォールド紙の取付手順

- 1 本機背面にファンフォールド紙を置き、用紙の先端を用紙挿入口に差し込みます。

お願い

- ファンフォールド紙は印字面を上にして置いてください。
- ファンフォールド紙は本機を用紙挿入口より低い位置に置いてください。



- ファンフォールド紙は用紙挿入口と平行に置いてください。斜めに置くと紙送り不良・紙詰まりの原因となります。
- 通信ケーブルや電源コードなどが、ファンフォールド紙に干渉しないようにしてください。
- 用紙送りエラーが発生する場合は、用紙をプリンタから離してください。

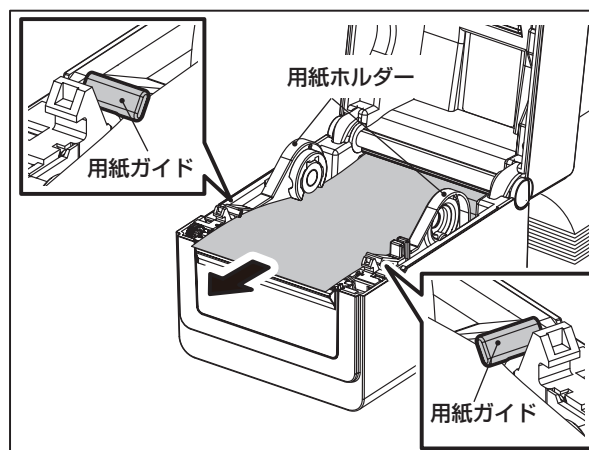
- 2 トップカバーを開きます。

- 3 通常用の紙取付手順1～2に従って用紙ホルダーを左右に広げ、ファンフォールド紙を用紙ホルダーと用紙ガイドそれぞれの間を通して用紙排出口まで引き出します。

お願い

- 用紙ガイドが用紙を締め付けすぎないように注意してください。用紙を締め付けすぎると、用紙がたわみ、紙詰まりや紙送り不良の原因になります。

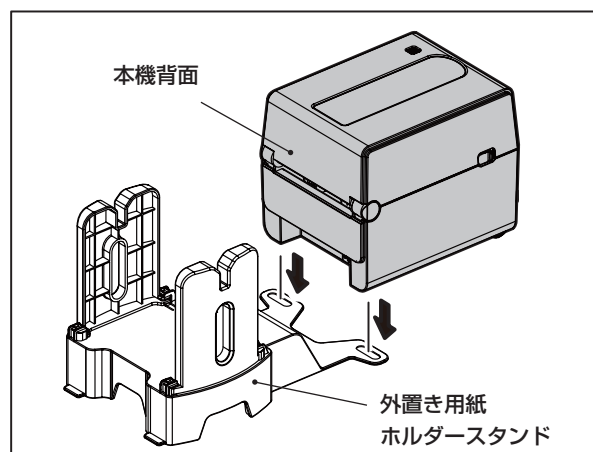
- 4 トップカバーを確実に閉め、[FEED]キーを押し、正しく紙送りすることを確認します。



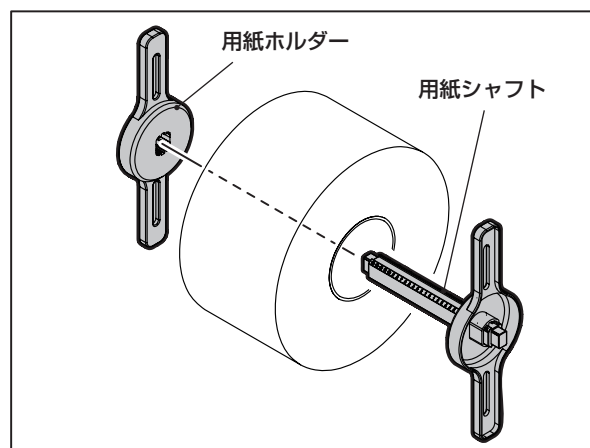
外置き用紙ホルダー使用時の用紙の取付手順

外径が127mmを超えるか、紙管の内径が76.2mmの場合は、別売りの外置き用紙ホルダーに用紙をセットしてください。

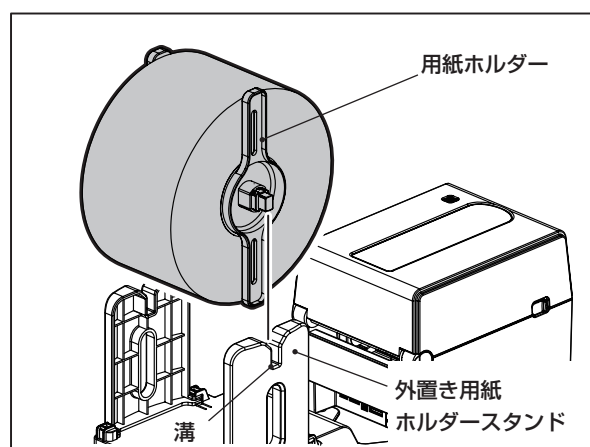
- 1 本機背面側の足に外置き用紙ホルダースタンドを取り付けます。



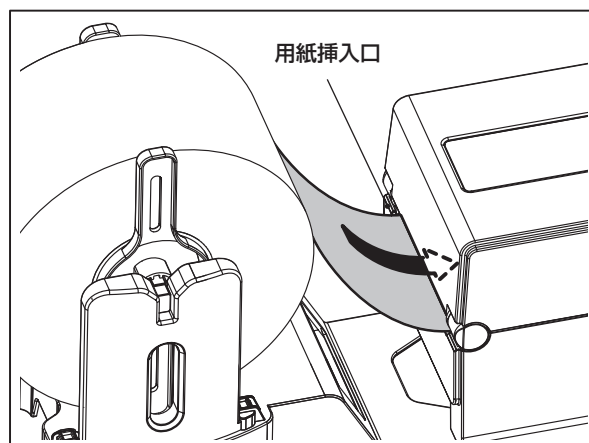
- 2 用紙シャフトをロール紙の紙管に挿入します。



- 3 用紙ホルダーを外置き用紙ホルダースタンドの溝に挿入します。



4 用紙の先端を用紙挿入口に差し込みます。



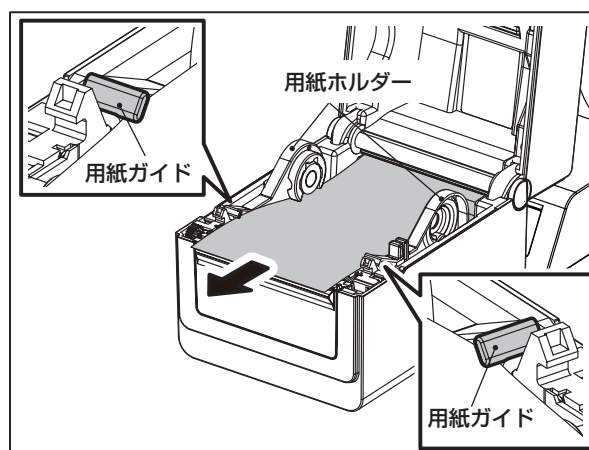
5 トップカバーを開きます。

6 通常用の紙取付手順1～2に従って用紙ホルダーを左右に広げ、用紙ホルダーと用紙ガイドそれぞれの中に用紙を通して用紙排出口まで引き出します。

お願い

- 用紙ガイドが用紙を締め付けすぎないように注意してください。用紙を締め付けすぎると、用紙がたわみ、紙詰まりや紙送り不良の原因になります。

7 トップカバーを確実に閉め、[FEED]キーを押し、正しく紙送りすることを確認します。



用紙検出センサーの位置調整について

本機には用紙を正しく紙送りするため、用紙の裏面に印刷された黒マークを検出する反射センサー（可動）と、ラベルとラベルのすき間（ギャップ）を検出する透過センサー（固定）が装備されています。

反射センサーの位置は、黒マークの位置に合わせて調整してください。

正しい位置に調整しないと、本機は用紙を発行できず、『紙送リエラー ****』メッセージを表示してエラーとなります。

また、用紙の種類や紙質を変えた場合は、用紙センサーの感度を調整してください。（→『センサー』（P.105））

補足

- ・ BV410D-GL02-Sモデルには、透過センサーを装備していません。

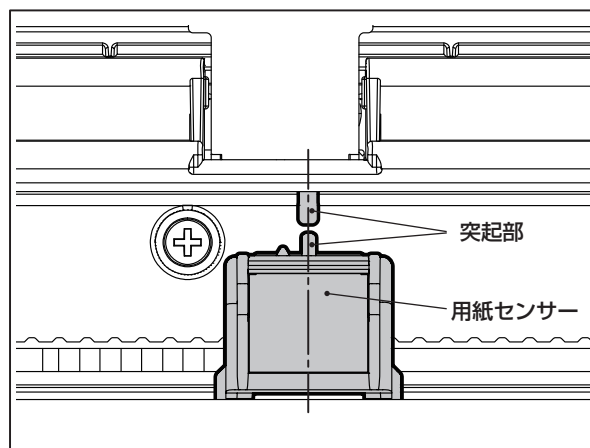
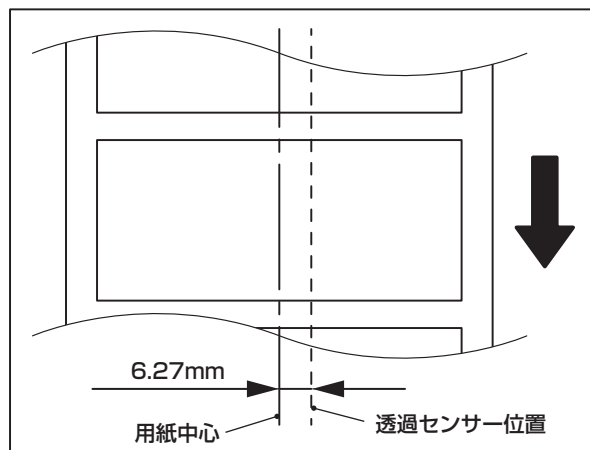


注意

- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないことやけどの原因となることがあります。

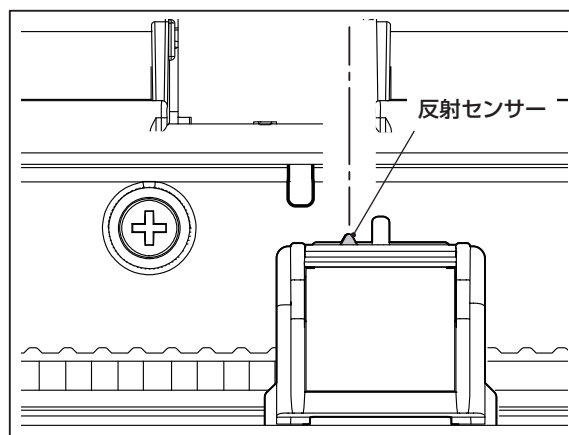
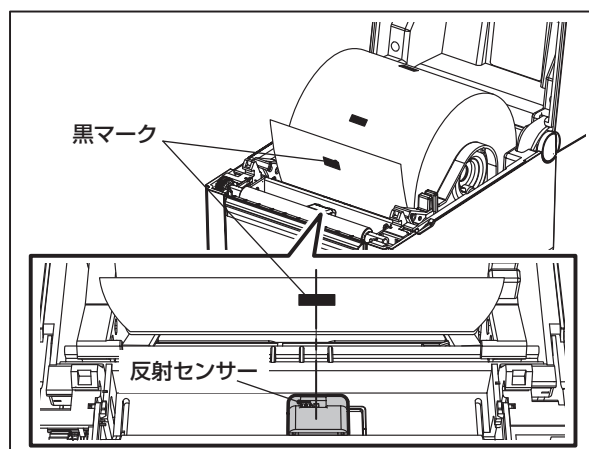
透過センサーの位置

トップカバーに付いている透過センサーは用紙の中心から6.27mm右の位置に固定されています。用紙センサーの突起部と用紙搬送部の突起部の位置が揃っていることを確認してください。また、用紙の種類を変更するたびに、用紙センサーの自動測定を実行してください。（→ P.67）



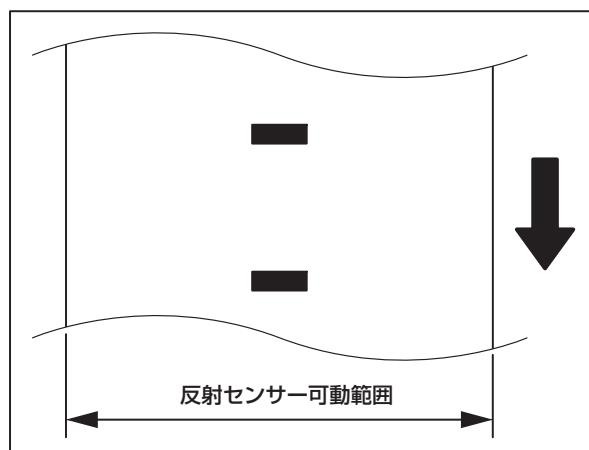
反射センサーの位置を調整する

- 1 トップカバーを開きます。
- 2 用紙を約15cmほど引き出し、用紙裏面の黒マークが上を向くように用紙を折り返します。
- 3 黒マークの中心線上に、反射センサーの中心を合わせてください。



補足

- 反射センサーは、用紙の端から端まで移動可能です。



USBメモリーの取扱について

本機は、市販されている各種USBメモリーを利用することができます。ただし、利用できるUSBメモリーの詳細についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機で使用可能なUSBメモリのファイルシステムは以下の通りです。

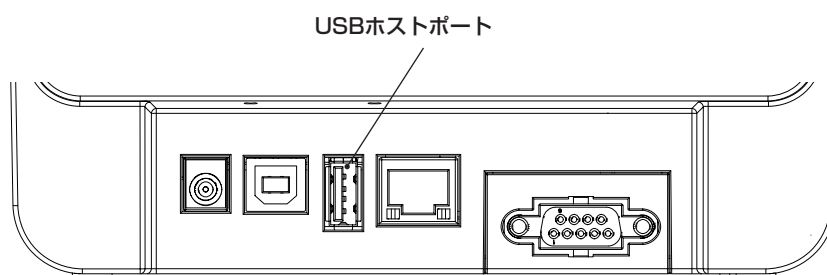
ファイルシステム	最大容量
FAT (FAT16)	2GB
FAT32	8GB

本機で動作確認を行っているUSBメモリは以下の通りです。

メーカー	製品名	容量
SILICON POWER	ULTIMA-U02	16GB, 64GB
BUFFALO	RUF3-C	16GB, 32GB
I/O DATA	U3-STD	16GB, 32GB, 64GB, 128GB
	U3-MAX2	16GB, 32GB, 64GB, 128GB, 256GB
Kingston	DataTraveler	16GB, 32GB, 64GB

USBメモリーの挿入

USBホストポートは本体背面にあります。



補足

- USBメモリは操作の直前に挿入すれば使えますので、事前に挿入しておく必要はありません。

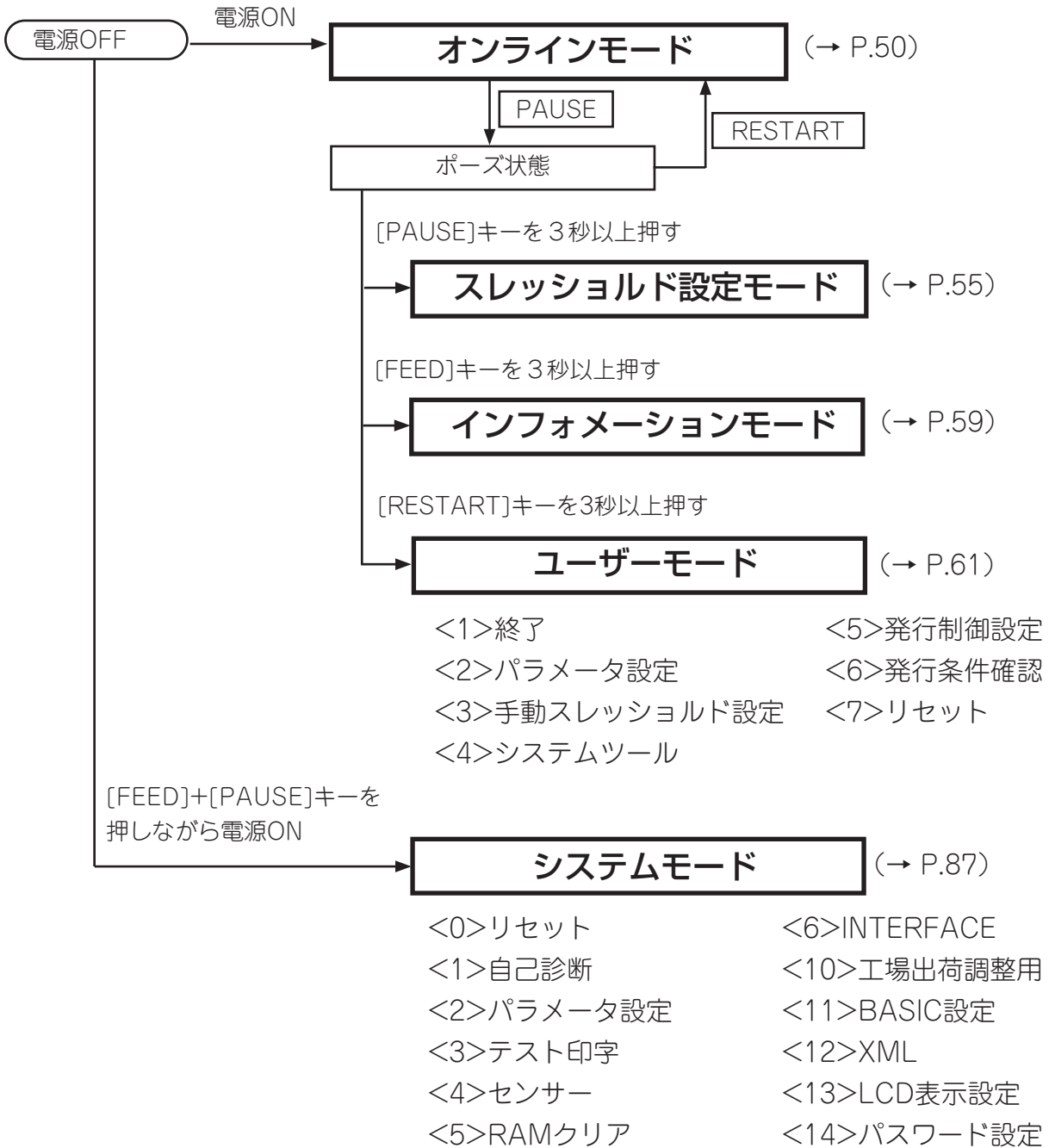
キー操作について

本機には、オンラインモード、システムモード、ユーザーモード、インフォメーションモードおよびスレッシュールド設定モードがあります。

オンラインモード:	コンピュータと接続してラベルやタグを発行するモードです。 プリンタでエラーが発生したときは、ヘルプ機能がエラー内容、原因、対処法、および復帰方法を表示します。 また、スレッシュールド設定モードやユーザーモード、インフォメーションモードに移行することができます。
スレッシュールド設定モード:	オンライン状態から移行することができるモードです。 通常用の紙センサーのしきい値(スレッシュールド)ではラベル位置を正しく検出できないプリ印刷ラベルを使用する場合、プリ印刷ラベル用のスレッシュールド設定を行うためのモードです。
インフォメーションモード:	オンライン状態から移行することができるモードです。 フィード量をLCDに表示または印字するモードです。
ユーザーモード:	オンライン状態から移行することができるモードです。 リセット操作、各種パラメータ設定内容や各種微調値設定内容の変更といったシステムモードと共通のメニューの他、受信バッファのダンプリスト出力やプリンタログの保存も行うことができます。
システムモード:	本機の自己診断、各種パラメータ設定、各種微調値設定、テスト印字、センサー調整、RAMクリア、インターフェース設定などを行うモードです。

ここでは、各モードにおけるキーの操作方法および表示内容について説明します。

キー操作の流れ



オンラインモードの機能

オンラインモードでは、用紙発行を行います。プリンタでエラーが発生した際にはエラー内容の表示、更にエラーの原因や対処方法、復帰方法を表示するヘルプ機能が利用できます。また、オンラインモードからは「ユーザーモード」や「インフォメーションモード」、「スレッシュホルド設定モード」へ移行することが可能です。

オンラインモード画面とキーの機能

プリンタの状態	画面表示例	表示内容
オンライン		<ul style="list-style-type: none"> 機種名・ファームウェアバージョン メッセージ 印刷枚数 IPアドレス アイコン表示行
ポーズ		<ul style="list-style-type: none"> 残枚数 メッセージ アイコン表示行
エラー時 (例:ヘッドオープン)		<ul style="list-style-type: none"> 残枚数 メッセージ エラー概要 1行目 エラー概要 2行目 アイコン・ヘルプガイド

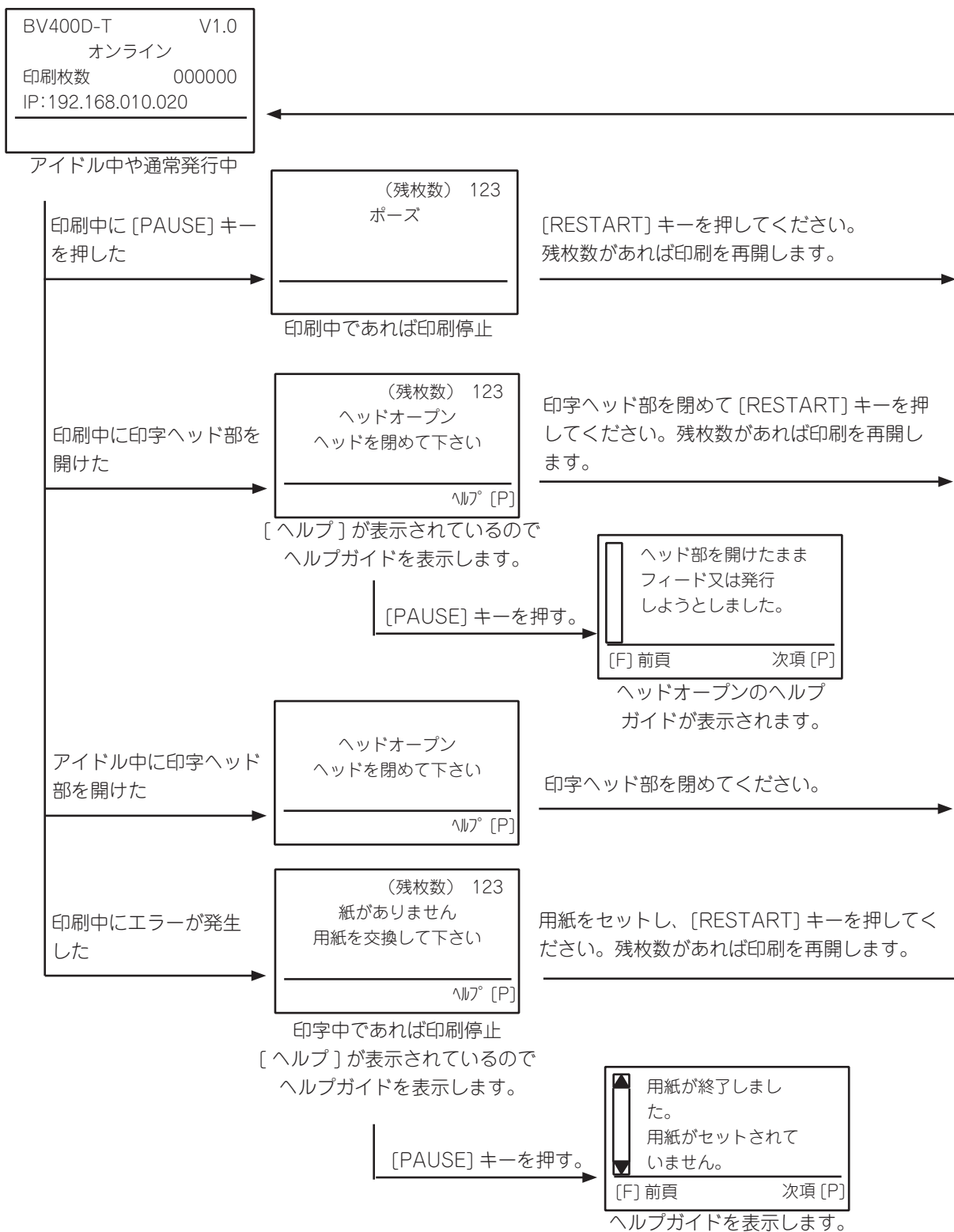
キー	機能
[FEED]	<p>(1) 1枚紙送りを行います。用紙を1枚排出する場合にも使用します。 また、用紙が所定の位置からずれた場合は、所定の位置に用紙を合わせるために使用します。位置がずれたままで印字を行うと正しい位置に印字できませんので、1～2枚紙送りして正しい位置に合わせてから印字して下さい。</p>
	<p>(2) イメージバッファ内にある内容を1枚発行します。(パラメータ設定による) [FEED]キー押下による発行中、ホストからクリアコマンドや描画コマンドを送らないでください。印字内容が崩れます。また、イメージバッファに描画中、[FEED]キーによる発行を行うと印字内容が崩れてしまう場合があります。</p>
	<p>(3) ポーズ状態からインフォメーションモードに移行するときを使用します。</p>
	<p>※ [FEED]キーは最後に発行した条件でフィードさせるので、前回と異なる用紙をセットした場合はPCの用紙設定等が必要です。 ※ 剥離発行時は、用紙発行口にラベルがあっても紙送りを行います。 ※ 頭出し機能を有効に設定している場合、条件により頭出し動作を行います。詳細は『パラメータ設定操作(1)頭出し』(→ P.65)を参照してください。</p>
[RESTART]	<p>(1) ラベル発行の一時停止後の再発行やエラー後の再発行を行います。</p>
	<p>(2) プリンタを電源投入後の初期状態にします。</p>
	<p>(3) ポーズ状態からユーザーモードに移行するときを使用します。</p>
[PAUSE]	<p>(1) 用紙発行を一時停止します。</p>
	<p>(2) ポーズ状態からスレッシュホールド設定モードに移行するときを使用します。</p>
	<p>(3) ヘルプを表示します。</p>

●アイコン

オンラインモードでは、画面の最下行に下記のアイコンが表示されます。

無線LANアイコン	
	無線LANモジュール搭載時に表示します。 グラフが少ないほど受信電波が弱いことを示します。  グラフ0本: 圏外  グラフ1本: 電波強度 弱  グラフ2本: 電波強度 中  グラフ3本: 電波強度 強
リンクアイコン	
	無線LANモジュール搭載時、通信中に表示します。  消灯: リンクなし  点灯: リンク接続  点滅: ローミング中
Bluetooth接続アイコン	
	Bluetoothの接続状態を表示します。  消灯: 未接続  点灯: 接続可能  点灯: 接続中
Bluetoothモードアイコン	
	Bluetoothの自動再接続モード中に表示します。  消灯: 自動再接続モード中でない  点灯: 自動再接続モード中
データ受信アイコン	
	印刷ジョブの有無を示し、ジョブがある時に表示します。  点灯: 印字ジョブ有り

オンラインモード操作例



補足

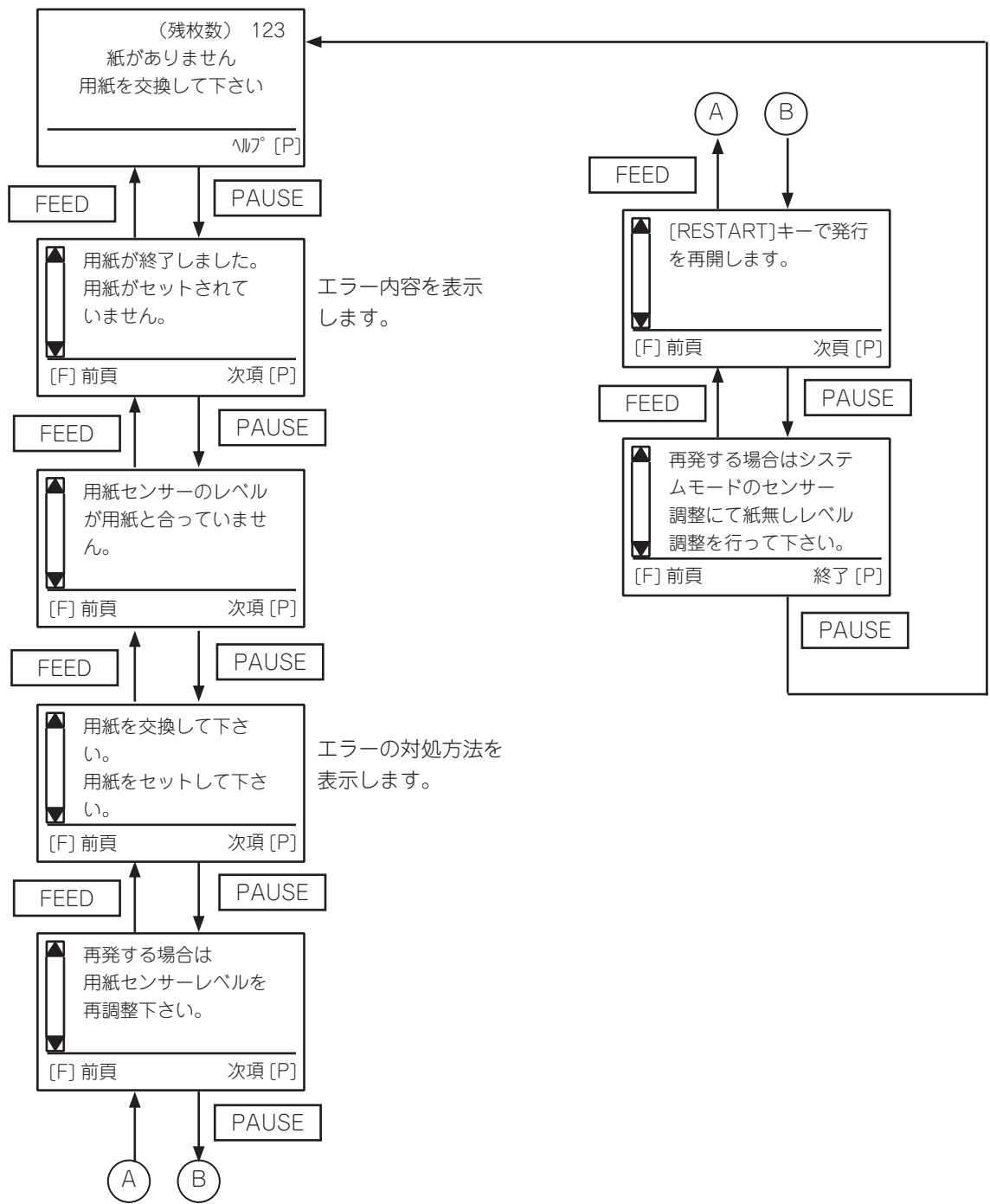
- ヘルプガイドの表示については、『ヘルプ画面操作例』を参照してください。(→ P.54)

ヘルプ画面操作例

ヘルプ画面は、エラー内容、エラーの対処方法、エラーからの復帰方法の三画面で構成されています。

ヘルプガイドが4行を超えた場合、右下に次頁[P]が表示されます。

ヘルプガイドの最終頁では右下に終了[P]が表示されます。



スレッシュホールド設定モードの機能

スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙)

プリンタが印刷を行う際、用紙センサーを用いて印字エリアとラベルの間(ギャップ)または黒マーク部の電圧値を検出し、その差を認識することで印字位置を一定に保っています。

しかし、プリ印刷された用紙を使用する場合、プリ印刷に使用されているインクの種類によっては印刷箇所との電圧差を誤検知してしまうため、印字位置が正しく検出されないことがあります。

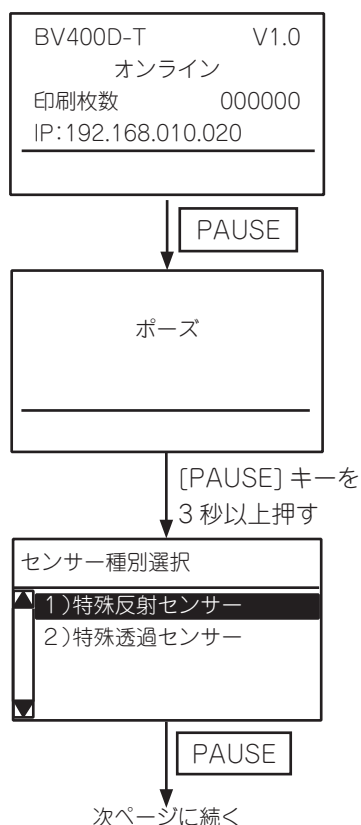
このような場合、使用するプリ印刷用紙ごとおよび使用するセンサー種別ごとにスレッシュホールド(しきい値)を設定し、メモリーに記憶しておく必要があります。

印字エリアとギャップまたは黒マークとの電圧差の中間値がスレッシュホールドとなるように微調整し、その値を境界として用紙センサーに印字エリアとギャップまたは黒マークを認識させます。

本機では透過センサーと反射センサーそれぞれに対し、スレッシュホールド設定値と微調値を各5セットずつ登録することができます。

ここでは、スレッシュホールドの設定操作について説明します。

●操作例



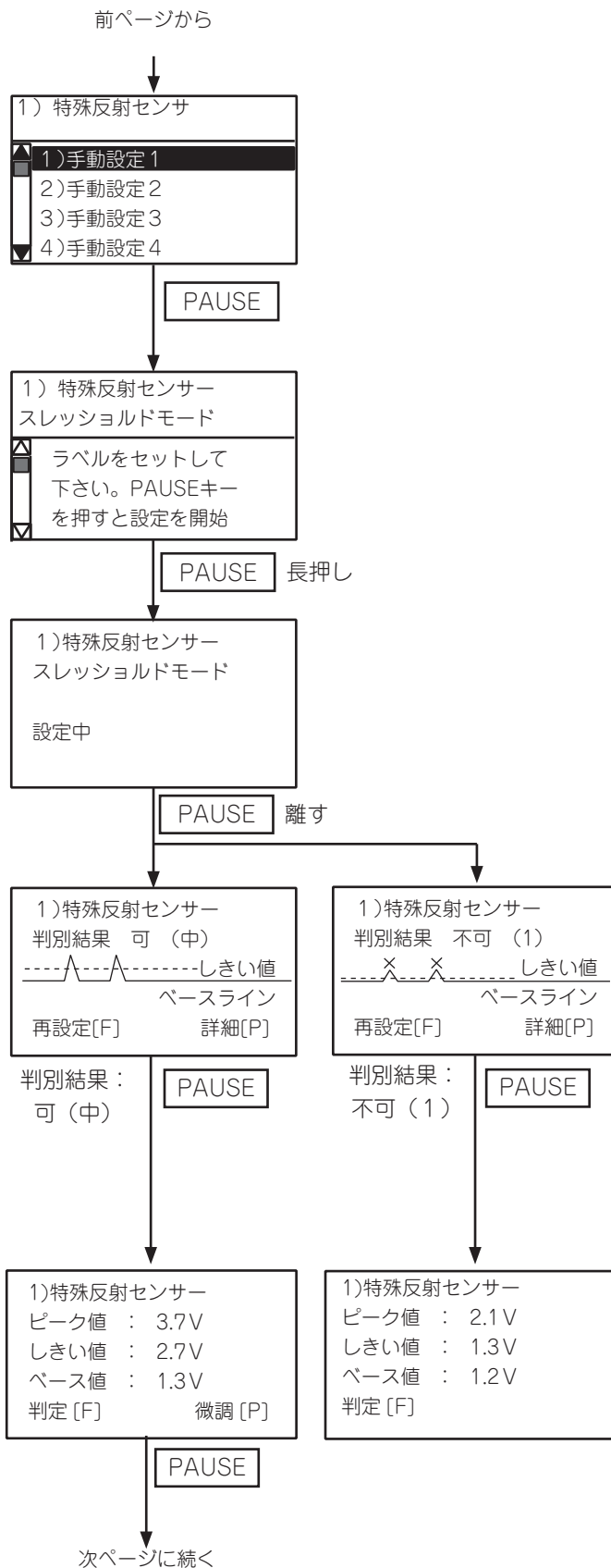
アイドル状態

(1) [PAUSE]キーを押します。
ポーズ状態になります。

(2) [PAUSE]キーを3秒以上押します。
センサー種別選択画面となります。

(3) [FEED]または[RESTART]キーを使って、スレッシュホールド(しきい値)を設定するセンサーを選択します。
(以下は特殊反射センサーを選択した時の操作例です。)

(4) [PAUSE]キーを押します。



(5) [FEED]/[RESTART]キーを使って、スレッシュホルドの登録番号(1～5)を選択します。(以下は特殊反射センサーのスレッシュホルドを手動設定1に保存する時の操作例です。)

(6) [PAUSE]キーを押します。

(7) プリ印刷された用紙をセットします。反射センサーの位置を黒マークに合わせて下さい。(→『反射センサーの位置を調整する』(P.46))

※[FEED]/[RESTART]キーで画面がスクロールします。

(8) [PAUSE]キーを押し続けます。[PAUSE]キーが離されるまで紙送りをします。

※スレッシュホルド設定時は、必ず1.5～2枚以上の紙送りをしてください。紙送り量が少ないと、正しく設定されないことがあります。

(9) [PAUSE]キーを離します。スレッシュホルド設定の判別結果が表示されます。
※次頁のスレッシュホルド設定判別結果表示例を参照してください。

(10) [PAUSE]キーを押すと詳細画面を表示します。

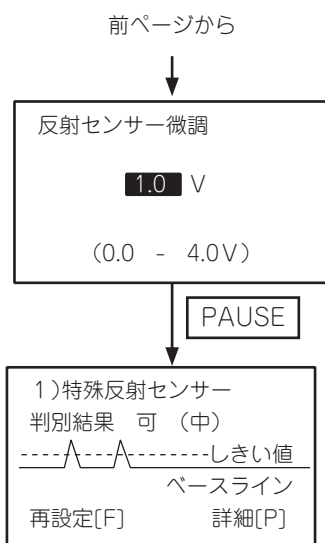
※[FEED]キーを押すとセンサー種別選択画面に戻ります。

※[RESTART]キーを押すとスレッシュホルド設定を終了します。

(11) センサーが検出した電圧のピーク値、スレッシュホルド(しきい値)、ベース値が表示されます。

(12) [PAUSE]キーを押すと微調値設定画面が表示されます。

※[FEED]キーを押すと前の画面に戻ります。



(13) [FEED]/[RESTART]キーでスレッシュホールド(しきい値)の微調値を設定します。

※ピーク値－微調値=しきい値 となります。
しきい値がピーク値とベース値の中間値となるように設定してください。

(14) [PAUSE]キーを押します。

微調後の判別結果画面が表示されます。

※[RESTART]キーを押すとスレッシュホールド設定を終了します。

※[FEED]キーを押すとセンサー微調設定画面に戻ります。

※[PAUSE]キーを押すと詳細画面に戻りません。

●スレッシュホールド設定判別結果画面表示例

	画面表示例	表示内容
1		判別結果：可 (中) 用紙センサーによる検出可能。 しきい値は中間付近です。
2		判別結果：可 (高) しきい値はピーク値付近にあるため、ピーク値と用紙レベルの差異がない場合には用紙センサーによる検出ができない場合があります。 反射センサー / 透過センサー微調値設定によりしきい値を中間値付近に調整することで確実な検出ができるようになります。
3		判別結果：可 (低) しきい値はベース値付近にあるため、ベース値と用紙レベルの差異がない場合には用紙センサーによる検出ができない場合があります。 反射センサー / 透過センサー微調値設定によりしきい値を中間値付近に調整することで確実な検出ができるようになります。
4		判別結果：不可 (1) 用紙のギャップまたは黒マークを用紙センサーで読み取ることができません。センサー調整が必要です。 (→『センサー』(P.105))
5		判別結果：不可 (1) ベース値がしきい値よりも高いため、用紙のギャップまたは黒マークを用紙センサーで読み取ることができません。センサー調整が必要です。(→『センサー』(P.105))
6		判別結果：不可 (2) 用紙のギャップまたは黒マークを用紙センサーで読み取ることができません。

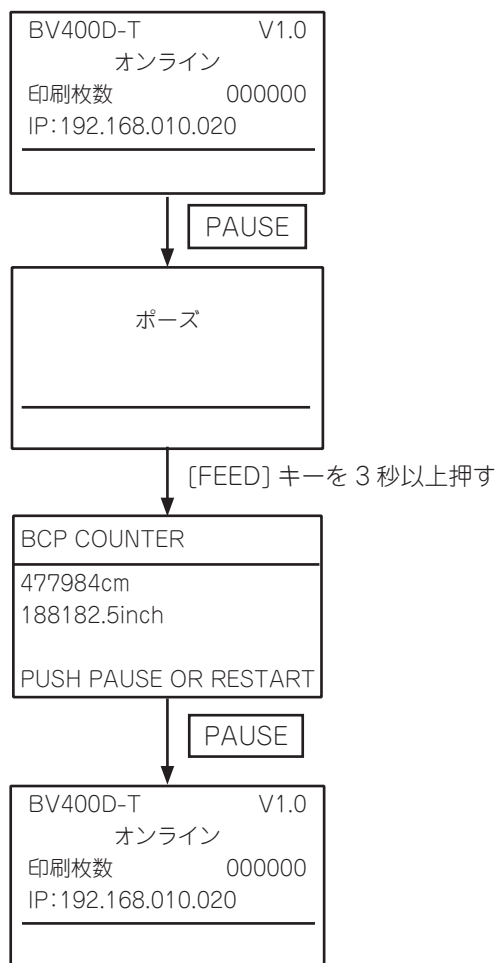
補足

- ポーズ状態で3秒以内に[PAUSE]キーを離すとスレッシュヨルド設定モードに移行しません。
- スレッシュヨルド設定時は、かならず1.5枚以上紙送りをしてください。紙送り量が少ないと正しく設定されないことがあります。その場合は、再度設定し直してください。
- ヘッドアップ状態ではスレッシュヨルド設定モードに移行しません。
- スレッシュヨルド設定を行っても位置補正が正しく行われない場合、センサーの調整が不十分であることが考えられます。システムモードにてセンサーを再調整した後、スレッシュヨルドを設定してください。(ラベルの台紙が厚い場合など、センサーの再調整が必要となります。)
- 発行コマンドとフィードコマンドのセンサー種別で『3:透過センサー (プリ印刷ラベル使用時)』または『4:反射センサー (手動スレッシュヨルド値使用)』が選択されていること、あるいはプリンタードライバーの透過センサー (手動スレッシュヨルド値使用) または反射センサー (手動スレッシュヨルド値使用) が選択されていることを確認してください。
- スレッシュヨルド設定中は、用紙切れ等のエラー検知を行いません。
- スレッシュヨルド設定時の用紙搬送速度は、直前に発行した際の印字速度になります。
- スレッシュヨルド設定画面で[FEED]キーと[PAUSE]キーを同時に押すと、ポーズ画面に移行します。
- スレッシュヨルド手動設定1～5へ設定がされているか否かの確認はできません。
- 用紙測定が有効の場合、手動スレッシュヨルド設定は無効になります。用紙測定設定を有効から無効に変更した際は、手動スレッシュヨルドの設定を行ってください。

インフォメーションモードの機能

用紙フィードや発行動作の終了時にカウントされたフィード量をセンチメートル単位およびインチ単位でLCDに表示および要求により印刷します。

●操作例



アイドル状態

(1) [PAUSE]キーを押します。
ポーズ状態になります。

(2) [FEED]キーを3秒以上押します。

(3) インフォメーションモード画面となります。

(4) [PAUSE]キーを押すと、印刷を開始します。
※[RESTART]キーを押すとアイドル状態に戻ります。

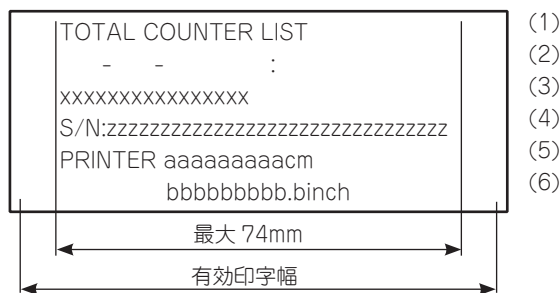
補足

- フィード量の有効範囲は下記となります。範囲を超えた場合は、最大値が維持されます。
センチメートル単位： 0 ~ 320000000
インチ単位： 0.0 ~ 125984251.9
- 下記は、本モードでカウントされるフィード量に加算されません。
バックフィード、剥離正転、プレ剥離、自動正転、オフライン状態での印字（自己診断印字、メンテナンスカウンタ印字、テスト印字、ダンプ印字）、インフォメーションモードの印字、手動スレッシュールドフィード、自動用紙測定
- 本モードでカウントされるフィード量は、コマンドで指定された用紙ピッチが加算されますので、実測の用紙ピッチとの間に差異があると、誤差が大きくなります。
- 本モード中はプリンタにコマンドを送信しないでください。

- 本モードで印刷を実施すると、高速リセットを行います。高速リセットにより、発行枚数はゼロとなり、イメージバッファの内容がクリアされます。
- 用紙測定機能を有効にしている場合は、高速リセット後に用紙測定が実施されます。また、セーブデータ自動呼出し機能が有効の場合、高速リセット後にセーブデータ呼出しが実施されます。
- 本モードの印刷は、前の発行条件で印刷されます。ただし、ミラー印字指定、タグローテーション、有効印字幅およびX方向微調は無効になります。
- フィードや描画を伴うコマンドを受信している時に本モードへ移行すると、印字を実施しても印字動作を行わずアイドル状態に戻ります。また、この時高速リセットは行いません。

●印字例

BV410D-T: 最大幅74mm、印字範囲センター寄せ



行	説明		印字内容または範囲
(1)	タイトル		TOTAL COUNTER LIST
(2)	日時	MM:月	01 ~ 12
		dd:日	01 ~ 31
		yyyy:年	2000 ~ 2099
		hh:時	00 ~ 23
		mm:分	00 ~ 59
(3)	機種	印字ヘッド解像度 203dpi	BV410D-G
		印字ヘッド解像度 300dpi	BV410D-T
(4)	シリアルナンバー		11桁~ 32桁の半角英数 (A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9, スペース, ハイフン)
(5)	インフォメーションモードフィード量 (単位:cm)		0 ~ 320000000
(6)	インフォメーションモードフィード量 (単位:inch)		0 ~ 125984251.9

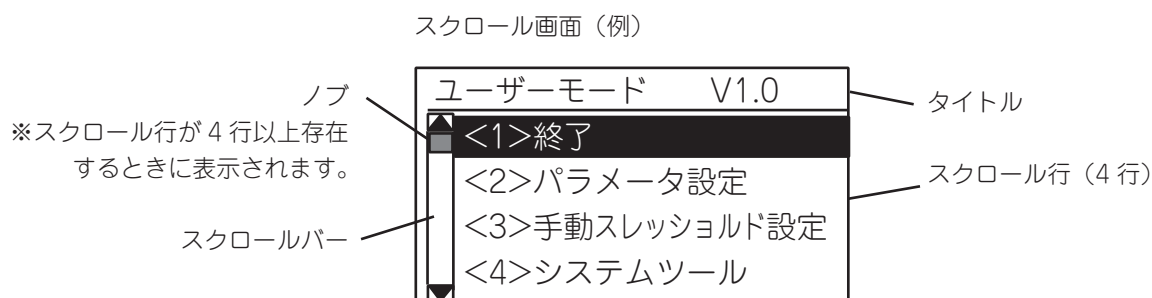
補足

- リアルタイムクロックは非対応のため、日時は空白となります。(印字例参照)
- プリンタにシリアルナンバーを一度も登録していない場合、有線LANのMACアドレスが区切り文字無しで印字されます。ただし、有線LANのMACアドレスが取得できない場合は、空白となります。空白の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ユーザーモードの機能

ユーザーモードは、オンライン動作から移行することができるシステムモードで、パラメータ設定、微調値設定、LAN/WLAN切替え、自動用紙測定、ダンプ印刷機能等、頻繁に設定変更を行うメニューが含まれています。

ユーザーモード画面とキーの機能



設定画面 (例)

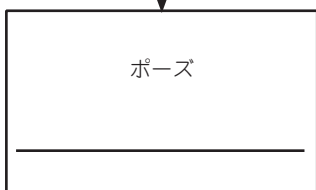


キー	機能
[FEED]+[RESTART]	設定を保存せず、上位画面を表示します。
[PAUSE]	次の画面を表示します。 選択画面の場合は、設定を保存し、上位画面を表示します。
[RESTART]	カーソルを下に移動します。カーソルが一番下にある場合は、一番上に移動します。 値を増加させます。最大値に達すると、最小値に戻ります。
[FEED]	カーソルを上を移動します。カーソルが一番上にある場合は、一番下に移動します。 値を減少させます。最小値に達すると、最大値に戻ります。

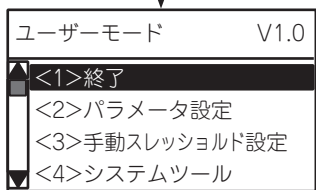
ユーザーモードへの移行方法



PAUSE



[RESTART] キー
を 3 秒以上押す



PAUSE

アイドル状態

- (1) [PAUSE]キーを押します。
- (2) ポーズ状態になります。
- (3) [RESTART]キーを3秒以上押します。
- (4) ユーザーモードとなります。
[FEED]/[RESTART]キーでメニューを選択します。
- (5) [PAUSE]キーで決定します。

●ユーザーモードメニュー 一覧

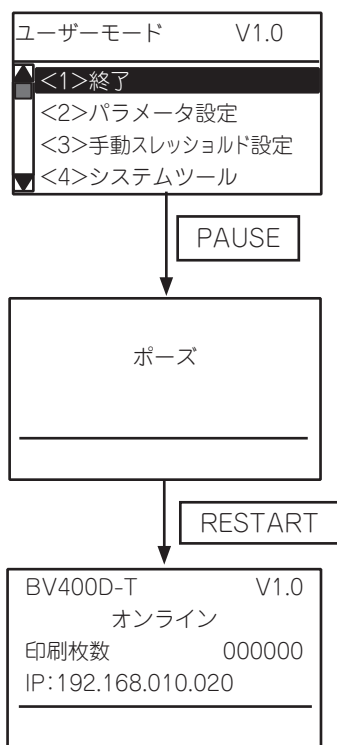
No.	メニュー	概要
<1>	終了	プリンタをオンライン状態に戻します。(リセットは実施しません)
<2>	パラメータ設定	プリンタの各機能毎のパラメータを設定します。
<3>	手動スレッシュولد [※] 設定	用紙センサーの閾値(スレッシュولد値)を設定します。
<4>	システムツール	ホストから送信されたデータを印刷またはUSBメモリに保存します。
<5>	発行制御設定	発行制御項目(センサー種類、印字速度、印字方向など)を設定します。
<6>	発行条件確認	センサー種類、印字速度、印字方向などの発行条件に関する設定値を表示します。
<7>	リセット	プリンタを再起動します。

補足

- ・ 設定変更が本機に反映されるタイミングは、一部を除き電源投入時またはリセット後になります。

終了操作

プリンタをユーザーモードからオンラインモードに戻します。この時、設定変更を反映するためにリセットが必要なパラメータが変更されている場合、終了操作と同時にリセットが行われます。



(1) ユーザーモードの終了メニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) ポーズ画面になります。

※リセットが行われる場合、ポーズ画面は表示されずオンラインモードに戻ります。

(4) [RESTART]キーを押します。

(5) オンラインモードに戻ります。

※エラー発生画面からユーザーモードに遷移していた場合、遷移前のエラー画面に戻ります。

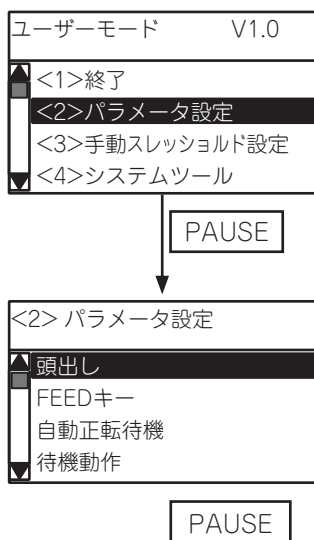
パラメータ設定操作

システムモードで設定したパラメータの内容を変更することができます。
ここでは、各種パラメータの設定および変更操作について説明します。

●パラメータ設定メニュー 一覧

メニュー	パラメータ
パラメータ設定	頭出し
	FEEDキー
	自動正転待機
	待機動作
	プレ剥離処理
	バックフィード
	自動断線チェック
	用紙/リボン終了
	用紙測定
	省電力移行時間
	文字コード
	0の字体
	制御CODE
	剥離待ちSTATUS
	漢字特殊コード
	ユーロコード
	MaxiCode仕様
	カットモード
	ラベル複数枚取り設定
	走行距離警告
	総走行距離警告
	フィード量微調
	カット位置微調
	バックフィード量微調
	X方向座標微調
	X方向微調方法
	ヘッド印加制御
	濃度微調(熱転写)
	濃度微調(感熱)

●パラメータ設定操作例



(1) ユーザーモードのパラメータ設定メニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) サブメニューを選択します。

(4) [PAUSE]キーを押します。

※各パラメータの初期値には下線が付いています。

<p>(1) 頭出し</p>	<p>電源ON、バッチ系リセット、またはトップカバークローズ後に[FEED]キーで用紙をホームポジションまでフィード(頭出し)する際、用紙を無駄に排出させないための機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>無効</u>: 頭出し機能なし([FEED]キーによる通常フィードと同じ) ・ <u>標準</u>: 電源ON後、バッチ系リセット後、またはトップカバークローズ後に[FEED]キーを押下すると、プリンタは用紙をフィードしながらギャップ/黒マークを検出する。そこから印字ヘッド～センサー間と同じ距離だけ更にフィードし、ホームポジションで停止させる。 ・ <u>節約</u>: バッチ系リセットコマンド送信後、またはトップカバークローズ後に[FEED]キーを押下すると、プリンタは用紙をフィードしながらギャップ/黒マークを検出し、そこから印字ヘッドに一番近い用紙をホームポジションで停止させる。 ・ <u>節約+逆転</u>: 以下の条件を満たした場合、「節約」の動作後、用紙1枚分のバックフィードを行う。 <条件> 用紙ピッチが20mm以上、100mm以下の設定 前回の発行モードが連続発行 <p>※本機能は「センサーあり」を指定している時のみ有効です。 ※センサーがギャップ/黒マークを検出できなかった場合、エラーとなります。</p>
<p>(2)[FEED]キー</p>	<p>[FEED]キーの機能を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>フィード</u>: 1枚紙送り ・ <u>再印刷</u>: イメージバッファの内容を1枚印字

(3)自動正転待機	<p>カット発行時、印字待機中にプラテン上で用紙先端がカールして用紙送りに支障がでるのを防ぐため、用紙の停止位置を少し前に出す機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>しない</u>: 正転待機なし • <u>する</u>: 正転待機あり <p>※前回発行の用紙ピッチが20mm未満の場合は、「自動正転待機する」に設定されていても自動正転待機動作は行いません。</p> <p>※待機状態は、電源OFF/ON、リセット、トップカバー開閉を行っても保持されます。</p> <p>※カッター装着時の初期値は「する」になります。</p>
(4)自動正転待機位置	<p>「自動正転待機」パラメータで「する」を選択すると表示されます。待機させる位置をフィード量で調整します。</p> <p>-5.0 ~ +5.0 (mm) 初期値: +0.0 (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ + (プラス)の場合、フィード量が多くなります。 ※ - (マイナス)の場合、フィード量が少なくなります。
(5)待機動作	<ul style="list-style-type: none"> • <u>モード1</u>: 16.7mmフィードした位置で待機する • <u>モード2</u>: 予約(選択した場合、モード1と同じ動作になります)
(6)プレ剥離処理	<p>本パラメータで「する」を選択すると印字前にラベル先端部の剥離を行います。ラベルの材質、粘着度、印字スピード等が要因でラベルが剥がれにくい時に使います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>しない</u>: プレ剥離しない • <u>する</u>: プレ剥離する
	<p>※プレ剥離動作の速度は2 ipsとなります。</p>
(7)バックフィード	<p>バックフィードの速度を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>標準</u>: 3 ips • <u>低速</u>: 2 ips
(8)自動断線チェック	<p>本パラメータを「有効」にすると電源ON時に印字ヘッドの断線チェックを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>無効</u>: 自動断線チェックなし • <u>有効</u>: 自動断線チェックあり

<p>(10)用紙/リボン終了</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>即時停止</u>: ラベルエンド検出時、直ちに停止 • <u>印字後停止</u>: ラベルエンド検出時、可能な限り印字を行い停止 <p>※即時停止と印字後停止の詳細は、補足を参照してください。(→ P.70)</p>
<p>(11)用紙測定</p>	<p>このパラメータが「有効」の場合、電源投入時およびトップカバー開閉時に自動的に用紙をフィードして黒マークまたはギャップを探し、センサースレッシュホールド、用紙ピッチを算出して印字開始位置で停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>無効</u>: 自動用紙測定なし • <u>有効 透過</u>: 透過センサーを使用して自動用紙測定 • <u>有効 反射</u>: 反射センサーを使用して自動用紙測定 • <u>有効 両方</u>: 両センサーを使用して自動用紙測定 • <u>有効 透過+逆転</u>: 透過センサー使用、バックフィードあり※ • <u>有効 反射+逆転</u>: 反射センサー使用、バックフィードあり※ • <u>有効 両方+逆転</u>: 両センサー使用、バックフィードあり※ <p>※用紙測定の詳細説明は、補足を参照してください。(→ P.70)</p>
<p>(12)省電力移行時間</p>	<p>プリンタが待機状態から省電力モードに移行するまでの時間を設定します。</p> <p>1 ~ 60 (分) (初期値: 15 (分))</p> <p>※省電力状態になると、LCDのバックライトが消えて"省電力中"と表示されます。 ※省電力状態を解除するには、印字動作、キー押下、本機の動作を伴うコマンドの送信、またはトップカバー開閉による用紙測定を行ってください。</p>
<p>(13) 文字コード</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>PC-850</u> • PC-852 • PC-857 • PC-8 • PC-851 • PC-855 • PC1250 • PC1251 • PC1252 • PC1253 • PC1254 • PC1257 • LATIN9 • Arabic • PC-866 • UTF-8

<p>(14) 0の字体</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>0</u> (スラッシュなし) • ∅ (スラッシュあり) <p>※下記フォントはスラッシュあり0をサポートしていませんので、設定してもスラッシュなし0となります。</p> <p>【ビットマップ】 OCR-A、OCR-B、GOTHIC725ブラック、漢字、中国語</p> <p>【アウトラインフォント】 価格フォント1、価格フォント2、価格フォント3、DUTCH801ボールド、BRUSH738レギュラー、GOTHIC725ブラック、TrueTypeFont</p>
<p>(15)制御CODE</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>自動判別</u>: 自動切り換え • {, , } : {, , }モード • ECS, LF, NUL: ECS, LF, NULモード* • 手動指定: コード指定(MANUALモード) • IBM HOST: IBM HOST • IBM HOST:US: IBM HOST:US <p>※IBM HOSTを選択した場合、制御コードは「(A2H), I(7CH), 」(A3H)となります。</p> <p>※IBM HOST:USを選択した場合、制御コードは(83H), I(7CH), (84H)となります。</p> <p>※IBM HOSTあるいはIBM HOST:USを選択した場合、制御コード(00H ~ 1FH)は解析後捨てられます。</p> <p>※IBM HOSTあるいはIBM HOST:USを選択した場合、AS/400 PAGESコマンドは捨てられます。ただし、水平方向移動コマンドで指定された移動量分(右移動のみ)についてはスペースに置き換えられます。</p>
<p>(16)手動設定</p>	<p>「制御CODE」パラメータで「手動指定」を選択すると表示されます。コード1～3をそれぞれ16進数で設定してください。[FEED]/[RESTART]キーで値を設定し、[PAUSE]キーでフィールドを移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CODE1: 00 ~ FF (初期値: 1Bh) • CODE2: 00 ~ FF (初期値: 0Ah) • CODE3: 00 ~ FF (初期値: 00h)
<p>(17)剥離待ち STATUS</p>	<ul style="list-style-type: none"> • <u>無効</u>: 剥離台にラベルがかかっている状態の時*にステータス要求コマンドを受信した場合、(00H)を返送する • 有効: 剥離台にラベルがかかっている状態の時*にステータス要求コマンドを受信した場合、剥離待ちステータス(05H)を返送する <p>*アイドル中、フィード終了後、すべての印字終了後の時</p>

(18)漢字特殊コード	<ul style="list-style-type: none"> • TYPE1: WINDOWSコード対応 • TYPE2: オリジナルコード対応 <p>※TYPE1とTYPE2の詳細は、補足を参照してください。(→ P.71)</p>
(19)ユーロコード	<p>20 ~ FF (初期値: B0h)</p> <p>※16進数で表示されます。</p> <p>※[FEED]/[RESTART]キーで値を設定します。</p>
(20)MaxiCode仕様	<ul style="list-style-type: none"> • TYPE1: 既存バージョンとの互換仕様 • TYPE2: 特殊仕様 <p>※本パラメータの設定内容により、コマンドで指定するモードと実際に処理されるモードの関係が異なります。また、一部データの送り方も異なります。</p> <p>※TYPE1とTYPE2の詳細は、補足を参照してください。(→ P.72)</p>
(21)カットモード	<ul style="list-style-type: none"> • TYPE1: 標準モード(高速化あり) • TYPE2: 従来モード(B-SA4T同等) <p>※TYPE1とTYPE2の詳細は、補足を参照してください。(→ P.72)</p>
(22)ラベル複数枚取り設定	<p>このパラメータが「有効」の場合、複数枚のラベルを1枚とみなして発行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効: ラベル複数枚取り機能無し(従来動作) • 有効: ラベル複数枚取り機能有り <p>※「センサー無し」を指定している場合、本機能は無効になります。</p> <p>※本機能を有効にする場合は、自動用紙測定機能を無効にしてください。</p> <p>※最大8枚まで複数枚取りが可能です。</p> <p>※[FEED]キーを押した場合は、ラベル1枚分のフィードを行います。</p>
(23)走行距離警告設定	<p>ラベル走行距離が本パラメータの設定値を超えた場合、ERRORランプを点灯させて印字ヘッドの交換時期であることを知らせます。</p> <p>1 ~ 3200 (km) (初期値: 3200 (km))</p> <p>※現在のラベル走行距離は、カウンタ/パラメータ印字の「FEED」の値で確認できます。</p> <p>※本警告は、その他エラー、各モード状態に関係なく通知されます。</p>
(24)総走行距離警告設定	<p>総ラベル走行距離が本パラメータの設定値を超えた場合、ON LINEランプを点滅させてプリンタ本体の交換時期であることを知らせます。</p> <p>1 ~ 3200 (km) (初期値: 3200 (km))</p> <p>※現在の総ラベル走行距離は、カウンタ/パラメータ印字の「TOTAL FEED」の値で確認できます。</p> <p>※本警告は、その他エラー、各モード状態に関係なく通知されます。</p>

補足

● **用紙／リボン終了： 各タイプ指定時のプリンタ動作**

●即時停止：

ラベルエンド検出時は、即座にエラー停止します。

新しい用紙をセットし[RESTART]キーを押すと、フィード後、エラーラベルの再発行から再開します。

●印字後停止：

ラベルエンドを検出した場合、発行中のラベルを最後まで印字し、ホームポジションでエラー停止して“紙がありません”と表示します。残枚数表示は、未発行のラベル枚数を表示します。最終枚目でラベルエンドとなった場合は、残枚数は表示しません。

新しい用紙をセットし[RESTART]キーを押すと、フィード後、次のラベルから発行します。

最終枚目でラベルエンドとなった場合は、フィードのみを行います。また、ステータス応答ありに設定されている場合は、フィード終了ステータスの送信に続き、発行終了ステータスを送信します。

● **用紙測定： 各タイプ指定時のプリンタ動作**

- ・ 反射センサーが[有効]の場合、反射センサー入力値から最も入力値が低い部分を見つけて黒マークと見なし、反射センサースレッシュールド微調値を加えて黒マークのスレッシュールドとします。
- ・ 透過センサーが[有効]の場合、透過センサー入力値から最も入力値が高い部分を見つけてギャップと見なし、透過センサースレッシュールド微調値を引いてギャップのスレッシュールドとします。
- ・ 両方が[有効]の場合、透過センサー入力値の最も高い部分と、反射センサー入力値の最も入力値が低い部分をギャップと見なし、各センサースレッシュールド微調値をそれぞれの入力値から引いた値をギャップのスレッシュールドとします。
- ・ 「逆転」指定がある場合、自動用紙測定実行後、以下の条件を満たしていれば用紙ピッチ分バックフィードを行います。

動作条件	用紙ピッチが20mm以上、100mm以下の設定である。 前回の発行が、連続発行でカット指定無しの場合に機能する。(電源OFF/ON、キー操作やコマンドによるリセットがおこなわれても、その前の発行モードおよびカット間隔は有効となる。)
------	---

- ・ 黒マークとラベル間ギャップの両方がある用紙は、「有効:両方」及び「有効:両方+逆転」の設定を使用できません。パラメータを、「有効:反射」または「有効:反射+逆転」のいずれかで使用してください。
- ・ 動作開始から160.0mmまでセンサー入力値をサンプリングし、スレッシュールドを決定します。
すでに2個以上の黒マークまたはギャップが存在しているときは、用紙長も算出して実測黒マークまたはギャップの終端1mm前で停止します。
- ・ 上記条件下で2個目の黒マークまたはギャップを認識できない場合は、検出動作を延長して黒マークまたはギャップを探しますが、最大500.0mmまで延長して見つけれないときは、紙送りエラーとして停止します。
- ・ 自動用紙測定動作が可能な用紙ピッチは、10.0mm～150.0mmまでです。
- ・ カッターモジュールを装着している場合で、前回の発行がカット発行のときは、停止後に用紙をカットします。
- ・ 自動用紙測定動作中は、剥離または特殊剥離発行が有効でも剥離位置には停止しません。
- ・ 自動用紙測定動作中に用紙切れが発生した場合はエラー停止します。エラーを解除し、トップカバーを開めると、動作を再開します。

- 自動用紙測定時の搬送速度は、2インチ／秒です。
- 自動用紙測定中はトップカバーを開けないでください。トップカバーを開けた場合、その後の動作は保証されません。もしトップカバーを開けた場合は、電源OFF/ONしてください。

• 漢字特殊コード: 各タイプ指定時の印字文字とコードの対応表

印字文字	TYPE1	TYPE2
①	2D21	2C44
②	2D22	2C45
③	2D23	2C46
④	2D24	2C47
⑤	2D25	2C48
⑥	2D26	2C49
⑦	2D27	2C4A
⑧	2D28	2C4B
⑨	2D29	2C4C
⑩	2D2A	2C4D
I	2D35	2231
II	2D36	2232
III	2D37	2233
IV	2D38	2234
V	2D39	2235
VI	2D3A	2236
VII	2D3B	2237

印字文字	TYPE1	TYPE2
VIII	2D3C	2238
IX	2D3D	2239
X	2D3E	2C34
mm	2D50	2C66
cm	2D51	2C67
km	2D52	2C69
mg	2D53	2243
kg	2D54	2244
cc	2D55	2C70
m ³	2D56	2C6B
”	2D60	2A22
No.	2D62	2249
TEL	2D64	2248
(株)	2D6A	222F
(代)	2D6C	2246
J	2D72	2841

• MaxiCode仕様: 各タイプ指定時のモード指定

MaxiCodeをコマンドで発行する場合に、モード指定パラメータの内容によって切り換えが行われます。

設定値	TYPE1: 互換仕様	TYPE2: 特殊仕様
0:	モード2	モード2または3*
1:	モード4	モード4
2:	モード2	モード2
3:	モード3	モード3
4:	モード4	モード4
5:	モード2	モード2または3*
6:	モード6	モード6
7:	モード2	モード2または3*
8:	モード2	モード2または3*
9:	モード2	モード2または3*
省略時:	モード2	モード2または3*

* モード2と3の変換はデータコマンドのカントリーコードを見て、"840"ならモード2に、"840"以外ならモード3に設定します。

• カットモード: 各タイプ指定時の動作

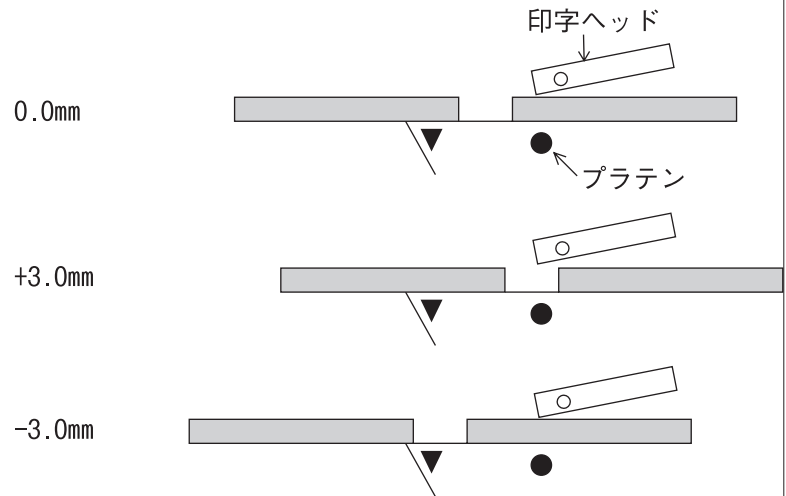
- TYPE1:標準モード(高速化あり)に設定した場合、カット動作と用紙フィードを同時に行ったり、カット後のバックフィードを6 ipsで行うことで高速化させます。
- カットモード設定とバックフィード速度設定の組み合わせによる動作は以下の通りです。

システムモード設定		バックフィード速度			
		カット発行		剥離発行	逆転コマンド
バックフィード速度	カットモード	バックフィード速度	動作タイミング		
2 ips	標準モード*	6 ips	高速化	2 ips	
3 ips				3 ips	
2 ips	従来モード	2 ips	従来動作	2 ips	
3 ips		3 ips		3 ips	

<p>(25)フィード量微調</p>	<p>-50.0mm ~ +50.0mm (0.1mm単位) (初期値: +0.0mm)</p>
<p>フィード量を調整することで印字開始位置を微調整します。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>※フィード量微調値は、本項目で設定する値とコマンドで設定する値との合計となります。この時の最大値は±50.0mmです。 ※用紙ピッチ以上のフィード量を設定しないでください。</p>	
<p>(26)カット(または剥離)位置微調</p>	<p>-50.0mm ~ +50.0mm (0.1mm単位) (初期値: +0.0mm)</p>
<p style="text-align: center;">【カット位置微調】</p> <p>カット位置を微調整します。</p> <div style="text-align: center;"> </div>	

【剥離位置微調】

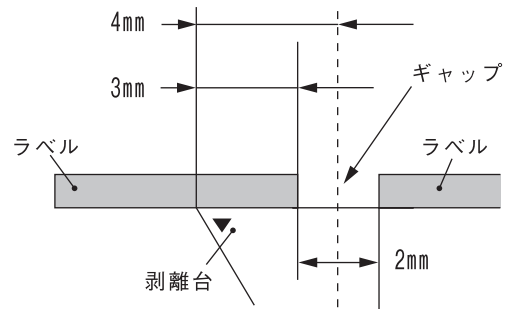
剥離位置を微調整します。



※カット(または剥離)位置微調値は、本項目で設定する値とコマンドで設定する値との合計となります。この時の最大値は±50.0mmです。

補足

- 剥離発行時の印字停止位置は、ラベル間ギャップの中心から剥離台先端までの距離が、4mmになるように停止します。これは、ラベル間ギャップ2mmを想定して設計しているためです。
- ラベル間ギャップが大きい場合など、停止位置が適切でないときは、剥離位置微調で印字停止位置を変更してください。



(27)バックフィード量微調	-9.9mm ~ +9.9mm (0.1mm単位) (初期値: +0.0mm)
<p>正転後のバックフィードで用紙がホームポジションに戻らない場合、バックフィード量を調整することで印字開始位置を微調整します。</p>	
<p>※バックフィード量微調値は、本項目で設定する値とコマンドで設定する値との合計となります。この時の最大値は±9.9mmです。</p> <p>※バックフィード動作では、条件によって正転した距離と同じ距離だけバックフィードしても、元の位置まで戻らない場合があります。</p> <p>※用紙検出センサーを使用して発行する場合、印字ヘッド～用紙センサー間の距離(標準機:14.95mm、ライナレスラベルモデル:12.80mm)とほぼ同じサイズのラベルピッチ(またはタグピッチ)の用紙を使用してバックフィードを伴う動作(カット発行、剝離発行、自動正転待機)をする場合、バックフィードしても元の位置まで戻らないことによるエラーが発生することがあります。このようなときは、プラス方向(バックフィード量を多くする)のバックフィード量微調を設定し、エラーが発生しないようにしてください。</p>	

(28)X方向座標微調	-99.9mm ～ +99.9mm (0.1mm単位) (初期値: +0.0mm)
<p>X方向(横方向)のオフセット位置を微調整します。</p> <div data-bbox="815 338 1331 730" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> </div> <p>※ X方向座標微調は、有効印字幅の範囲で行ってください。 ※座標0よりもマイナス方向に微調を行った場合の動作は、次の「X方向微調方法」の設定によって異なります。 ※ X方向座標微調値は、自己診断結果印字およびテスト印字では無効となります。 ※ X方向座標微調値は、本項目で設定する値とコマンドで設定する値との合計となります。この時の最大値は±99.9mmです。</p>	
(29)X方向微調方法	<ul style="list-style-type: none"> • <u>TYPE1</u>: X座標0に到達した印刷フィールドは、微調してもそれ以上マイナス方向には移動しない • <u>TYPE2</u>: X座標0よりも更にマイナス方向の微調が可能 <p>※TYPE2を選択した場合、印字が途中で切れる恐れがあります。</p>
(30)ヘッド印加制御	<p>使用する用紙に最適な印字を行うための設定です。設定と異なる用紙を使用した場合、印字かすれ等が生じる恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>熱転写</u>: 熱転写用サプライ ※本機では使用しません • <u>感熱</u>: 感熱用サプライ
(31)熱転写 ※本機では使用しません	<p>「ヘッド印加制御」パラメータで「熱転写」を選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>標準</u> • 予約1 ～予約9
(32)感熱	<p>「ヘッド印加制御」パラメータで「感熱」を選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>標準</u> • 予約1 ～予約9

<p>(33)濃度微調(熱転写) ※本機では使用しません</p>	<p>熱転写方式の印字濃度を微調整します。</p> <p>-10step ~ +10step (1step単位) 初期値: +0step</p> <p>※プラス方向に設定すると印字が濃くなり、マイナス方向に設定すると印字が薄くなります。</p> <p>※濃度微調値(転写)は、本項目で設定する値とコマンドで設定する値との合計となります。この時の最大値は-10~+10です。尚、印字ヘッドの定格を超える場合は自動補正されます。</p>
<p>(34)濃度微調(感熱)</p>	<p>感熱方式の印字濃度を微調整します。</p> <p>-10step ~ +10step (1step単位) 初期値: +0step</p> <p>※プラス方向に設定すると印字が濃くなり、マイナス方向に設定すると印字が薄くなります。</p> <p>※濃度微調値(感熱)は、本項目で設定する値とコマンドで設定する値との合計となります。この時の最大値は-10~+10です。尚、印字ヘッドの定格を超える場合は自動補正されます。</p>

補足

- 微調値を設定するときに[FEED]と[RESTART]を同時に押すと、上位画面に戻ります。
- 微調値を設定するとき、[FEED]または[RESTART]を0.5秒以上押し続けた場合は、そのキーを連続して押したときと同じ動作をします。
- 微調値の変更は、設定後に[PAUSE]を押すことで有効となり、メモリーに登録されます。
- キー操作による各微調値は、コンピュータからのコマンドの各微調値に加算され、本機を制御します。ただし、各微調値の最大値は以下のとおりです。

* フィード量微調値	±50.0mm
* カット(または剝離)位置微調値	±50.0mm
* バックフィード量微調値	±9.9mm
* 印字濃度微調値	-10step ~ +10step
* X方向座標微調値	±99.9mm
* 反射センサスレッシュヨルド微調値	0.0 ~ 4.0V
* 透過センサスレッシュヨルド微調値	0.0 ~ 4.0V

手動スレッシュールド設定

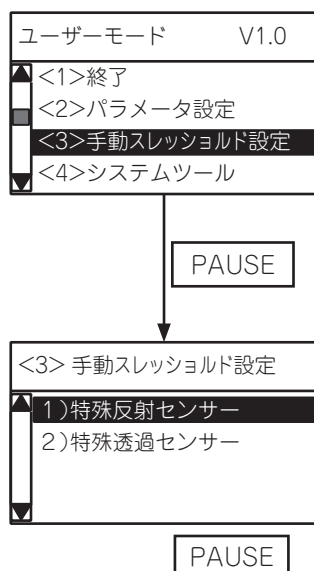
プリ印刷された用紙を使用する場合、あるいは用紙センサーの設定を行っても印字位置が正しく検出されない場合、スレッシュールドを微調整することで修正します。

操作方法は、『スレッシュールド設定モードの機能』(→ P.55)を参照してください。

●手動スレッシュールド設定メニュー 一覧

メニュー	サブメニュー
手動スレッシュールド設定	特殊反射センサー
	特殊透過センサー

●手動スレッシュールド設定操作例



(1) ユーザーモードの手動スレッシュールド設定メニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) サブメニューを選択します。

(4) [PAUSE]キーを押します。

以降の操作手順は、『スレッシュールド設定モードの機能』を参照してください。(→ P.55)

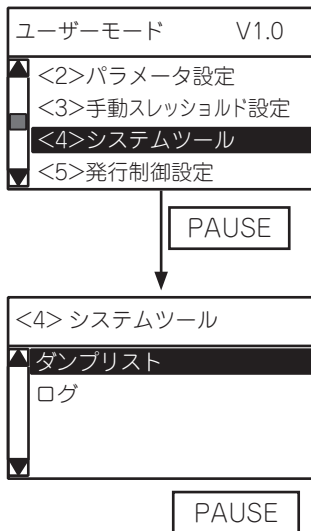
システムツール

受信バッファのダンプリスト出力操作と動作ログ情報をUSBメモリへ保存する操作について説明します。

●システムツールメニュー 一覧

メニュー	サブメニュー	パラメータ
システムツール	ダンプリスト	USB
		LAN/WLAN
		BLUETOOTH
		RS-232C
		BASIC1
		BASIC2
	ログ	USBメモリへ保存

●システムツール操作例



(1) ユーザーモードのシステムツールメニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) サブメニューを選択します。

(4) [PAUSE]キーを押します。

(1)ダンプリスト	<p>ダンプリストを出力するインターフェースを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>USB</u>: USB受信バッファ • LAN/WLAN: LAN/WLANインターフェース受信バッファ • BLUETOOTH: Bluetoothインターフェース受信バッファ • RS-232C: RS-232C受信バッファ • BASIC1: ベーシックインタプリタ インターフェース→インタプリタ間バッファ • BASIC2: ベーシックインタプリタ インタプリタ→プリンタ間バッファ
-----------	---

(1)ダンプリスト (前頁からのつづき)	<p>インターフェースを選択したら、ダンプ出力先を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • USBメモリ: 受信バッファの内容をUSBメモリに保存します。 • 印刷: 受信バッファの内容を印刷します。
	<p>出力先に「印刷」を選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>一時停止有り</u>: 166行分(約50cm)印字後、「印刷中」を表示して一旦停止します。 ※[RESTART]キーを押すと印刷を中止して前の画面に戻ります。[PAUSE]キーを押すと、再印刷します。 • ノンストップ: バッファデータを1ページごと、すべて印刷します。
(2)ログ	<ul style="list-style-type: none"> • USBメモリへ保存: ログデータをUSBメモリに保存します。
	<p>「USBメモリへ保存」を選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ROM/RAM情報: プリンタのメモリ情報 • ログ情報: プリンタのメモリ情報およびセンサーログ <p>※現行保存できるログデータはプリンタのメモリ情報(ROMとRAM)です。その時点のメモリ情報を保存しますので、電源をOFFするとメモリ内容は変わってしまいます。特にRAMの内容は消えてしまいますので注意してください。</p> <p>次に以下のメニューが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キャンセル • 実行 <p>「実行」を選択すると、USBメモリにログデータの書込みが行われます。</p> <p>※生成されるファイルはテキストファイルで保存されます。 ※ログ書き込み中は、LCDに「WRITING・・・」と表示され、ON LINEランプが点滅します。</p>

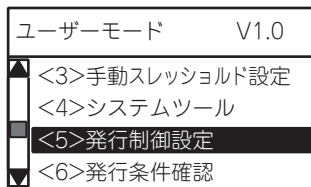
発行制御設定

使用するセンサー、発行モード、印字速度等の発行条件を設定します。

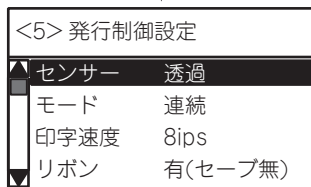
●発行制御設定メニュー 一覧

メニュー	サブメニュー
発行制御設定	センサー
	モード
	印字速度
	リボン ※本機では使用しません
	印字方向
	自動ステータス

●発行制御設定操作例



PAUSE



PAUSE

(1) ユーザーモードの発行制御設定メニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) サブメニューを選択します。

(4) [PAUSE]キーを押します。

(1)センサー	<ul style="list-style-type: none"> • <u>コマンド優先</u> ※コマンドの指定が優先されます • 無 • 反射 • 透過 • 透過(手動1～5) • 反射(手動1～5) <p>※用紙測定パラメータが「有効」に設定されている場合、本設定は無効となります。</p>
---------	--

(2)モード	<ul style="list-style-type: none"> • <u>コマンド優先</u> ※コマンドの指定が優先されます • 連続 • カット(1) ※初期値:1 • 剥離 • ライナレス(1) ※初期値:1 • パーシャル(1) ※初期値:1
(3)印字速度	<ul style="list-style-type: none"> • <u>コマンド優先</u> ※コマンドの指定が優先されます • 2 ips • 3 ips • 4 ips • 5 ips • 6 ips ※(203dpiのみ) • 7 ips ※(203dpiのみ)
(4)リボン ※本機では使用しません	<ul style="list-style-type: none"> • <u>コマンド優先</u> ※コマンドの指定が優先されます • 無 • 有
(5)印字方向	<ul style="list-style-type: none"> • <u>コマンド優先</u> ※コマンドの指定が優先されます • 尻出 • 頭出 • 尻出(ミラー) • 頭出(ミラー)
(6)自動ステータス	<ul style="list-style-type: none"> • <u>コマンド優先</u> ※コマンドの指定が優先されます • 送信無し • 送信有り

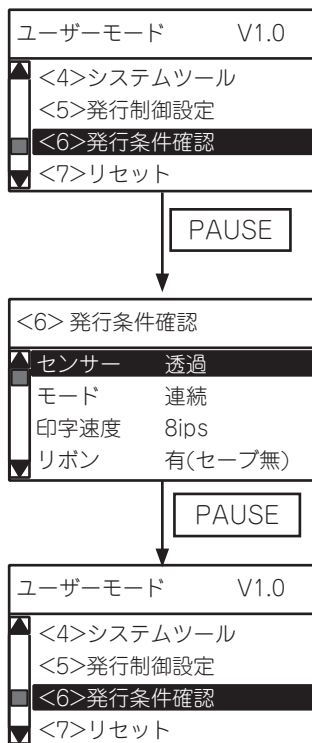
発行条件確認

現在本機に設定されている発行条件が表示されます。

●発行条件確認メニュー 一覧

メニュー	サブメニュー
発行条件確認	センサー
	モード
	印字速度
	リボン ※本機では使用しません
	印字方向
	用紙ピッチ
	有効印字長
	印字幅
	用紙幅

●発行条件確認操作例

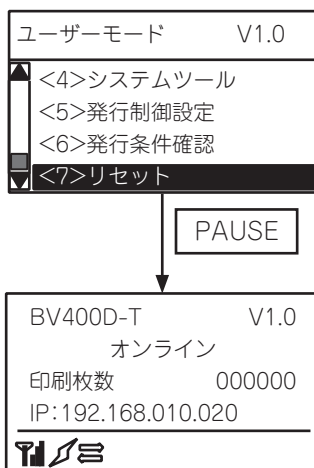


- (1) ユーザーモードの発行条件確認メニューを選択します。
- (2) [PAUSE]キーを押します。
- (3) 現在の設定を表示します。
- (4) [FEED]/[RESTART]キーで項目を選択します。
- (5) [PAUSE]キーで上位画面に戻ります。

(1)センサー	<ul style="list-style-type: none"> • 無 • 反射 • 透過 • 透過(手動1 ~ 5) • 反射(手動1 ~ 5)
(2)モード	<ul style="list-style-type: none"> • 連続 • カット(yyy) ※yyy: カット間隔(1 ~ 100) • 剥離 • ライナレス(yyy) • パーシャル(yyy)
(3)印字速度	<ul style="list-style-type: none"> • 2 ips • 3 ips • 4 ips • 5 ips • 6 ips ※(203dpiのみ) • 7 ips ※(203dpiのみ)
(4)リボン ※本機では使用しません	<ul style="list-style-type: none"> • 無 • 有
(5)印字方向	<ul style="list-style-type: none"> • 尻出 • 頭出 • 尻出(ミラー) • 頭出(ミラー)
(6)用紙ピッチ	• 10.0 ~ 999.9 mm
(7)有効印字長	• 10.0 ~ 997.9 mm
(8)印字幅	• 10.0 ~ 105.7 mm
(9)用紙幅	• 30.0 ~ 112.0 mm

リセット操作

間違えて発行指示を行った場合など、本機に転送したデータをクリアして初期状態にするときに行います。



(1) ユーザーモードのリセットメニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) 電源投入後の初期状態になります。

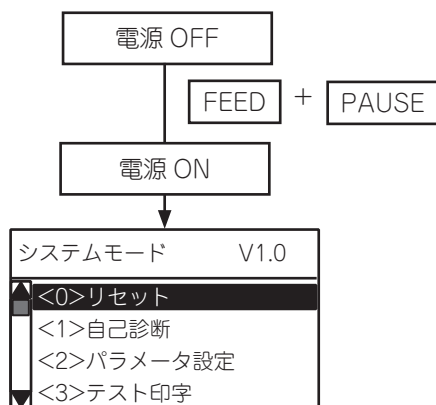
補足

- セーブデータ呼び出しコマンドの「電源投入時の自動呼出し」パラメータが「呼び出しあり」に設定されている場合、本操作のリセットにより解除されます。

システムモードの機能

システムモードの機能には、「自己診断」、「各種パラメータ設定」、「テスト印字」、「センサー調整」、「RAMクリア」、「インターフェース設定」などがあります。

システムモードへの移行方法



(1) [FEED]と[PAUSE]キーを押しながら電源ONし、電源スイッチを離してから[FEED]と[PAUSE]キーを離します。

(2) システムモードとなります。
[FEED]または[RESTART]キーでメニューを選択します。

●システムモードメニュー 一覧

No.	メニュー	概要
<0>	リセット	プリンタを再起動します。 ユーザーモードの『リセット』を参照してください。(→ P.86)
<1>	自己診断	本機の自己診断結果印字、メンテナンスカウンタ・パラメータ設定値印字、印字ヘッド断線チェック、BDアドレス印字を行います。
<2>	パラメータ設定	プリンタの各機能毎のパラメータを設定します。 ユーザーモードの『パラメータ設定』を参照してください。(→ P.64)
<3>	テスト印字	斜線、キャラクタ、バーコード等のテスト印字を行います。
<4>	センサー	外気温度とヘッド温度の表示および各用紙センサーの調整を行います。
<5>	RAMクリア	メンテナンスカウンタ及びパラメータを初期値に戻します。
<6>	INTERFACE	ネットワーク、Bluetooth、USB、RS-232C等のインターフェースに関するパラメータ設定を行います。
<10>	工場出荷調整用	出荷工程で行う調整メニューのため、操作例は記載していません。
<11>	BASIC設定	BASICプログラムをプリンタにダウンロードして使用する際の機能を設定します。本機では使用しませんので記載していません。
<12>	XML	XML機能を設定します。本機では使用しませんので記載していません。
<13>	LCD表示設定	LCDの表示言語や表示項目の設定、コントラスト調整を行います。
<14>	パスワード設定	システムモードとユーザーモードにアクセスするためのシステムパスワードを設定します。

補足

- 設定変更が本機に反映されるタイミングは、一部を除き電源投入時またはリセット後になります。

自己診断

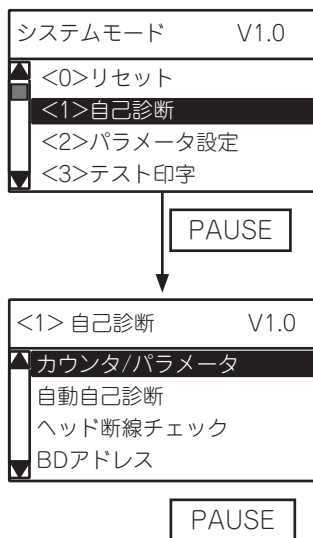
自己診断を行い、現在のメンテナンスカウンタ、パラメータ設定値、ファームウェアバージョン、メモリーサイズ、センサー状態、オプションの装着有無等を印字します。

また、印字ヘッドの断線チェックを実行したり、BDアドレスをQRコードで表示や印字します。

●自己診断メニュー 一覧

メニュー	サブメニュー	パラメータ	
自己診断	カウンタ/パラメータ	印字方式	熱転写
			感熱
			表示
	自動自己診断	印字方式	熱転写
			感熱
			表示
ヘッド断線チェック	ヘッド断線チェック		
BDアドレス	BDアドレス		

●自己診断操作例



(1) システムモードの自己診断メニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) サブメニューを選択します。

(4) [PAUSE]キーを押します。

(1) カウンタ・パラメータ印刷設定

(1) 印字方式	<p>メンテナンスカウンタ/パラメータ印字の印字方式を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱転写（熱転写方式） ※本機では使用しません ・感熱（感熱方式） ・表示（印刷せずに画面表示します）
(2) カット有無	<p>上記「印字方式」で「感熱」を選択すると表示されます。 メンテナンスカウンタ・パラメータ印字をカット発行で行うか否かを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しない ・する <p>[PAUSE]キーを押すと印字を開始します。</p> <p>印刷中は、「印刷中」と表示されます。 印刷が正常終了すると、「カウンタ・パラメータ」画面に戻ります。 印刷中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して発行を停止します。この時、ERRORランプが点灯し、ON LINEランプは消灯します。尚、エラー復帰後の自動的な再発行は行われません。</p>
(3)表示	<p>上記「印字方式」で「表示」を選択すると、表示させたい項目を選ぶことができます。項目を選択して[PAUSE]キーを押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンタ： <<COUNTER>> ・調整値(PC)： <<ADJUST>> ・保存エリア： <<STORAGE AREA>> ・USBシリアル番号： <<USB>> ・無線LAN認証方式： <<LAN/WLAN>> <p>※各表示項目の内容は、『●メンテナンスカウンター・各種パラメータ印字・表示項目』（→ P.91）の該当する項目を確認してください。</p>

補足

[印字条件]

印字方式：	ユーザー設定による
センサー種類：	無し
印字速度：	4インチ／秒
発行枚数：	1枚
発行モード：	ユーザー設定による

メンテナンスカウンタ・各種パラメータ印字例

```

<< COUNTER >>
(1) TOTAL FEED          0.0km          [JA]
(2) FEED                0.0km
(3) FEED1               0.0km
(4) FEED2               0.0km
(5) FEED3               0.0km
(6) FEED4               0.0km
(7) PRINT               0.0km
(8) PRINT1              0.0km
(9) PRINT2              0.0km
(10) PRINT3             0.0km
(11) PRINT4             0.0km
(12) CUT                0
(13) 232C ERR          0
(14) SYSTEM ERR        0
(15) POWER FAIL        0

<< ADJUST >>
[PC]
(16) FEED                +0.0mm FEED    +0.0mm
(17) CUT                 +0.0mm CUT     +0.0mm
(18) BACK                +0.0mm BACK    +0.0mm
(19) TONE(T)             +0step  TONE(T) +0step
(20) TONE(D)             +0step  TONE(D) +0step
(21) X ADJ.              +0.0mm  [TYPE1]
(22) THRESHOLD(R)        1.0V 0.9V 1.1V 1.2V 1.3V
(23) THRESHOLD(T)        1.4V 1.2V 1.3V 1.5V 1.6V

<< PARAMETER SETTINGS >>
(24) MEDIA LOAD          [STD]
(25) MOVE TO TEAROFF     [ON] +0.0mm  [MODE1]
(26) PRE PEEL OFF        [OFF]
(27) BACK FEED SPEED     [STD]
(28) CALIBRATION         [OFF]
(29) CODE PAGE           [PC-850] [0]
(30) CTRL CODE           [AUTO]
(31) PEEL OFF STATUS     [OFF]
(32) USB I/F STATUS      [OFF]
(33) FEED KEY            [FEED]
(34) KANJI CODE          [TYPE1:Windows]
(35) EURO CODE           [B0]
(36) AUTO HEAD CHK       [OFF]
(37) WEB PRINTER         [OFF]
(38) PAPER/RBN END       [Stop immediately]
(39) MAXICODE SPEC.      [TYPE1:Compatible]
(40) XML                 [STD]
(41) ENERGY TYPE(T)     [NORM: Normal] (*1)
(42) ENERGY TYPE(D)     [NORM: Normal] (*1)
(43) POWER SAVE TIME     [ 15min]
(44) BASIC               [OFF]
(45) BASIC TRACE         [OFF]
(46) CUT MODE            [TYPE1]
(47) MULTI LABEL         [OFF]
(48) FEED LENGTH         [3200km]
(49) TOTAL LENGTH        [3200mm]
(50) ISSUE CTRL          SENSOR [COMMAND]
(51)                     MODE   [COMMAND]
(52)                     SPEED  [COMMAND]
(53)                     RIBBON [COMMAND]
(54)                     ROTATION [COMMAND]
(55)                     STATUS  [COMMAND]

<< PANEL >>
(56) LANGUAGE            [JAPANESE]
(57) MODEL NAME          [ON]
(58) PRINTED COUNTER     [ON]
(59) IP ADDRESS          [ON]
(60) CONTRAST            [40]
    
```

A

```

(61) SYSTEM PASSWORD    [OFF]
<< STORAGE AREA >>
(62) TTF AREA           [ 0KB]
(63) EXT CHR AREA       [ 0KB]
(64) BASIC AREA         [ 0KB]
(65) PC SAVE AREA       [ 0KB]
(66) OTF SAVE AREA      [25600KB]SPACE
<< USB >>
(67) SERIAL NUMBER      [DISABLE]
                        [XXXXXXXXXX]

<< RS-232C >>
(68) BAUD RATE          [9600]
(69) DATA LENGTH       [8]
(70) STOP BIT           [1]
(71) PARITY              [EVEN]
(72) CONTROL            [XON+READY AUTO]

<< LAN/WLAN >>
(73) LAN/WLAN           [AUTO]
(74) SNMP                [OFF]
(75) IP ADDRESS         [192.168.010.020]
(76) v6L[fe80::280:91ff:fec8:cb
                        ]
(77) v6G[ : : : : : ]
(78) SUBNET MASK        [000.000.000.000]
(79) GATEWAY ADDRESS    [255.255.255.000]
(80) SOCKET PORT        [OFF] [08000]
(81) DHCP                [OFF]
(82) DHCP CLIENT ID     [FFFFFFFFFFFFFFFF]
                        [FFFFFFFFFFFFFFFF]
                        [FFFFFFFFFFFFFFFF]
                        [FFFFFFFFFFFFFFFF]
                        [FFFFFFFFFFFFFFFF]
                        [FFFFFFFF]

(83) DHCP HOST NAME     [ABCDEFGHJKLMNQRST]
                        [UVWXYZ123456]

(84) LPR                 [OFF]
(85) BAND SELECT        [DUAL BAND]
(86) CONNECTION MODE    [INFRASTRUCTURE]
(87) ESS ID              [ ]
                        [ ]

(88) ENCRYPTION         [OFF]
(89) WPA MODE            [OFF]
(90) AUTHENTICATION     [OPEN SYSTEM]
(91) 802.1X SUPPLICANT [OFF]
(92) DEFAULT KEY        KEY[1]
(93) COUNTRY CODE       [ ]
(94) AP MODE CHANNEL    [ ]

<< BLUETOOTH >>
(95) BLUETOOTH          [ON]
(96) DEVICE NICKNAME    [TOSHIBA TEC BT]
                        [ ]

(97) BD ADDRESS         [00:16:A4:08:CF:8D]
(98) FACTORY TEST       [OFF]
(99) INQUIRY            [EVERY]
(100) SECURITY           [SPP]
(101) SCAN INTERVAL     [2048]
(102) SCAN WINDOW       [36]
(103) AUTO CONNECT     [OFF]
(104) SSP AUTH          [NUMERIC CMP][DISP Y/N]
    
```

※印字内容は説明のための例であり、実際の印字内容と異なることがあります。

●メンテナンスカウンター・各種パラメータ印字・表示項目

<<COUNTER>>

(1)	TOTAL FEED	総ラベル走行距離(クリアできません)
(2)	FEED	ラベル走行距離
(3)～(6)	FEED1～FEED4	ラベル走行距離の履歴
(7)	PRINT	印字距離
(8)～(11)	PRINT1～PRINT4	印字距離の履歴
(12)	CUT	カット回数
(13)	232C ERR	RS-232Cハードエラー発生回数
(14)	SYSTEM ERR	システムエラー発生回数
(15)	POWER FAIL	瞬時停電発生回数

<<ADJUST>>

	[PC](コンピュータでの設定値)と[KEY]キー操作での設定値)	
(16)	FEED	フィード量微調
(17)	CUT	カット位置(または剥離位置)微調
(18)	BACK	バックフィード量微調
(19)	TONE(T)	印字濃度微調(転写)
(20)	TONE(D)	印字濃度微調(直接発色)
(21)	X ADJ.	X方向座標微調
		X方向微調方法
(22)	THRESHOLD(R)	反射センサー手動スレッシュールド微調1～5
(23)	THRESHOLD(T)	透過センサー手動スレッシュールド微調1～5

<<PARAMETER SETTINGS>>

(24)	MEDIA LOAD	頭出し
(25)	MOVE TO TEAROFF	発行後の正転待機切替、停止位置微調値、および動作モード
(26)	PRE PEEL OFF	ブレ剥離動作設定
(27)	BACK FEED SPEED	バックフィード速度設定
(28)	CALIBRATION	自動用紙測定(オートキャリブレーション)設定
(29)	CODE PAGE	文字コードの切替および"0"のスラッシュ有無
(30)	CTRL CODE	コマンド制御コード種別
(31)	PEEL OFF STATUS	剥離待ちステータス
(32)	USB I/F STATUS	USB経由ステータス
(33)	FEED KEY	[FEED]キー機能
(34)	KANJI CODE	漢字特殊コード設定
(35)	EURO CODE	EUROフォントコード設定
(36)	AUTO HEAD CHK	自動断線チェック設定
(37)	WEB PRINTER	WEBプリンタ機能設定
(38)	PAPER/RBN END	ラベルエンド処理設定
(39)	MAXICODE SPEC.	MaxiCode仕様設定
(40)	XML	XML仕様設定
(41)	ENERGY TYPE(T)	印加制御 熱転写方式
(42)	ENERGY TYPE(D)	印加制御 感熱方式
(43)	POWER SAVE TIME	省電力移行時間
(44)	BASIC	ベーシックインタプリタ設定
(45)	BASIC TRACE	ベーシックインタプリタトレース設定
(46)	CUT MODE	カットモード

(47)	MULTI LABEL	ラベル複数枚取り設定
(48)	FEED LENGTH	走行距離警告設定
(49)	TOTAL LENGTH	総走行距離警告設定
(50)	ISSUE CTRL	発行制御設定
	SENSOR	センサー
(51)	MODE	モード
(52)	SPEED	印字速度
(53)	RIBBON	リボン
(54)	ROTATION	印字方向
(55)	STATUS	自動ステータス応答

<<PANEL>>

(56)	LANGUAGE	LCDメッセージ言語
(57)	MODEL NAME	機種名表示
(58)	PRINTED COUNTER	印刷枚数表示
(59)	IP ADDRESS	IPアドレス表示
(60)	CONTRAST	LCDコントラスト
(61)	SYSTEM PASSWORD	システムモードパスワード

<<STORAGE AREA>>

(62)	TTF AREA	TrueTypeFont登録エリアサイズ
(63)	EXT CHR AREA	外字登録エリアサイズ
(64)	BASIC AREA	ベーシックプログラムファイル保存エリアサイズ
(65)	PC SAVE AREA	PCコマンド保存エリアサイズ
(66)	OTF SAVE AREA SPACE	OTF保存エリア空きサイズ

<<USB>>

(67)	SERIAL NUMBER	USBシリアルナ番号有効/無効およびUSBシリアル番号
------	---------------	-----------------------------

<<RS-232C>>

(68)	BAUD RATE	通信速度
(69)	DATA LENGTH	データ長
(70)	STOP BIT	ストップビット長
(71)	PARITY	パリティ
(72)	CONTROL	伝送制御方式

<<LAN/WLAN>>

(73)	LAN/WLAN	LAN切替
(74)	SNMP	SNMP
(75)	IP ADDRESS	プリンタIPアドレス
(76)	v6L	リンクローカルアドレス
(77)	v6G	グローバルアドレス
(78)	SUBNET MASK	サブネットマスク
(79)	GATEWAY ADDRESS	ゲートウェイIPアドレス
(80)	SOCKET PORT	ソケット通信有無およびソケットポート番号
(81)	DHCP	DHCP設定
(82)	DHCP CLIENT ID	DHCP ID (16進数表示)

(83)	DHCP HOST NAME	DHCPホスト名(アスキー表示)
(84)	LPR	LPR
(85)	BAND SELECT	無線LAN: 帯域設定
(86)	CONNECTION MODE	無線LAN: 接続設定
(87)	ESS ID	無線LAN: ESS ID
(88)	ENCRYPTION *	無線LAN: 暗号化
(89)	WPA MODE *	無線LAN: WPA設定
(90)	AUTHENTICATION *	無線LAN: 認証方式
(91)	802.1X SUPPLICANT *	無線LAN: 認証方式
(92)	DEFAULT KEY *	無線LAN: 送信時に使用する暗号化キー
(93)	COUNTRY CODE *	使用国設定
(94)	AP MODE CHANNEL *	AP MODE用のチャンネル設定

*: 設定ツールによる設定項目

<<BLUETOOTH>>

(95)	BLUETOOTH	Bluetooth動作設定
(96)	DEVICE NICKNAME	デバイスニックネーム
(97)	BD ADDRESS	BDアドレス
(98)	FACTORY TEST	デバイスニックネームを区別するための設定
(99)	INQUIRY	インクワイリースキャン時間
(100)	SECURITY	Bluetoothペアリング時のセキュリティレベル
(101)	SCAN INTERVAL	インクワイリースキャンの接続間隔
(102)	SCAN WINDOW	ページスキャンウィンドウ設定
(103)	AUTO CONNECT	Bluetooth自動再接続設定
(104)	SSP AUTH	SSP認証種別および認証コード確認設定

(2) 自動自己診断印字設定

(1) 印字方式	<p>自己診断結果の印字方式を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱転写（熱転写方式） ※本機では使用しません ・感熱（感熱方式） ・表示（印刷せずに画面表示します）
(2) カット有無	<p>上記「印字方式」で「感熱」を選択すると表示されます。 自己診断結果印字をカット発行で行うか否かを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しない ・する <p>[PAUSE]キーを押すと印字を開始します。</p> <p>印刷中は、「印刷中」と表示されます。 印刷が正常終了すると、「自動自己診断」画面に戻ります。 印刷中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して発行を停止します。この時、エラーランプが点灯し、オンラインランプは消灯します。 尚、エラー復帰後の自動的な再発行は行われません。</p>

自動自己診断印字例

```

(1) PROGRAM BV410D-T
    PRINTER S/N 2318D120024
(2) MAIN 15NOV2018 V1.0B:F100
(3) BOOT 20APR2018 V1.0 :8E00
(4) XML 22MAY2018 V1.0 :6700
(5) WLAN 05JUL2016 V1.0A :4300
(6) FONT ANKCG :AE00
(7) KANJI :9F00
(8) CHINESE :4D00
(9) FROM 128MB
(10) SDRAM 128MB
(11) SENSOR1 00000000,00000111
(12) SENSOR2 [H]23°C [A]22°C
(13) [R]4.2V [T]2.5V
(14) PE LV. [R]1.8V [T]2.5V
    M THRE.
(15) THRESHOLD(R) 1.0V
    0.9V 1.1V 1.2V 1.3V
(16) THRESHOLD(T) 1.4V
    1.2V 1.3V 1.5V 1.6V
(17) HEAD [RANK]1 300DPI
(18) LAN MAC 11-22-33-44-55-66
(19) SIO NG(0111) NG
(20) BLUETOOTH OK sppi_v2.12
(21) MFI OK
    
```

```

(22) iAP Serial 2318T120023
(23) WLAN OK Ver1.1.3
(24) MAC 00-11-22-33-44-55
(25) USB MEMORY NG
(26) BASIC M NONE
(27) BASIC S NONE
    
```

補足

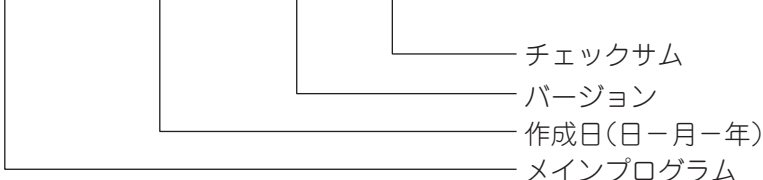
- ・文字コード切り換えの設定内容により、「°」の「°」（度）の文字が正しく印字されないことがあります。

[印字条件]

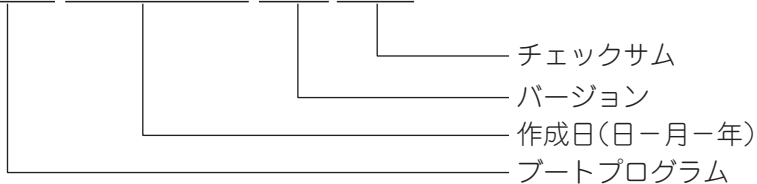
印字方式： ユーザー設定による
 センサー種類： 無し
 印字速度： 4インチ／秒
 発行枚数： 1枚
 発行モード： ユーザー設定による

●自動自己診断印字項目

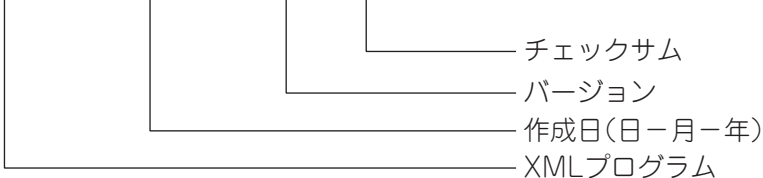
(1) PROGRAM BV400D-T ← モデル名
PRINTER S/N 2318D120024 ← プリンタシリアル番号

(2) MAIN 15NOV2018 V1.0B:F100


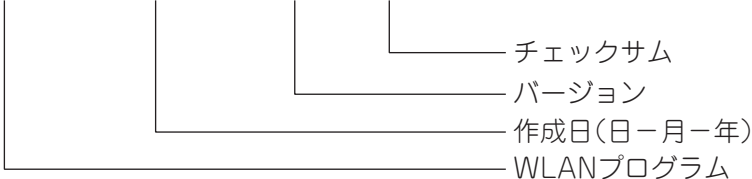
- チェックサム
- バージョン
- 作成日(日-月-年)
- メインプログラム

(3) BOOT 20APR2018 V1.0:8E00


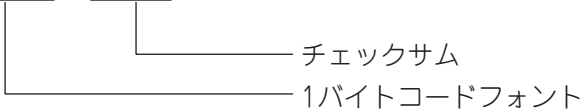
- チェックサム
- バージョン
- 作成日(日-月-年)
- ブートプログラム

(4) XML 22MAY2018 V1.0:6700


- チェックサム
- バージョン
- 作成日(日-月-年)
- XMLプログラム

(5) WLAN 05JUL2016 V1.0A:4300


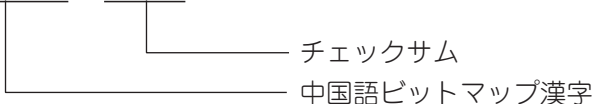
- チェックサム
- バージョン
- 作成日(日-月-年)
- WLANプログラム

(6) FONT ANKCG : AE00


- チェックサム
- 1バイトコードフォント

(7) KANJI : 9F00


- チェックサム
- ゴシック体・明朝体ビットマップ漢字

(8) CHINESE : 4D00


- チェックサム
- 中国語ビットマップ漢字

(9) FROM 128MB
FROM容量

(10) SDRAM 128MB
SDRAM容量

(11) SENSOR1 0 0 0 0 0 0 0 0 . 0 0 0 0 0 1 0 1

- 印字ヘッドオープンセンサー
1:ヘッドクローズ
(※ヘッドオープン状態では印字しない)
- 空き(0固定)
- カッターホームポジションセンサー
0:ホームポジション外
1:ホームポジション
- 空き(0固定)
- 空き(0固定)
- 空き(0固定)
- 空き(0固定)
- 剥離センサー
0:ラベルなし
1:ラベルあり
- 空き(0固定)

(12) SENSOR2 [H]20°C [A]22°C

- 外気温センサステータス(0 ~ 86°C,検出不能の場合--°C)
- 印字ヘッド温度センサステータス(0 ~ 86°C)

(13) [R]4.2V [T]2.5V

- 透過センサステータス(0.0 ~ 5.0V)
- 反射センサステータス(0.0 ~ 5.0V)

(14) PE LV. [R]1.8V [T]2.5V

- 透過センサー紙無しレベル設定値(0.0 ~ 5.0V)
- 反射センサー紙無しレベル設定値(0.0 ~ 5.0V)

(15) M THRE. [R] 1.8V
 1.9V 2.0V 2.1V 2.2V
 └────────────────── 反射センサー手動スレッシュホールドレベル1 ~ 5(0.0 ~ 5.0V)

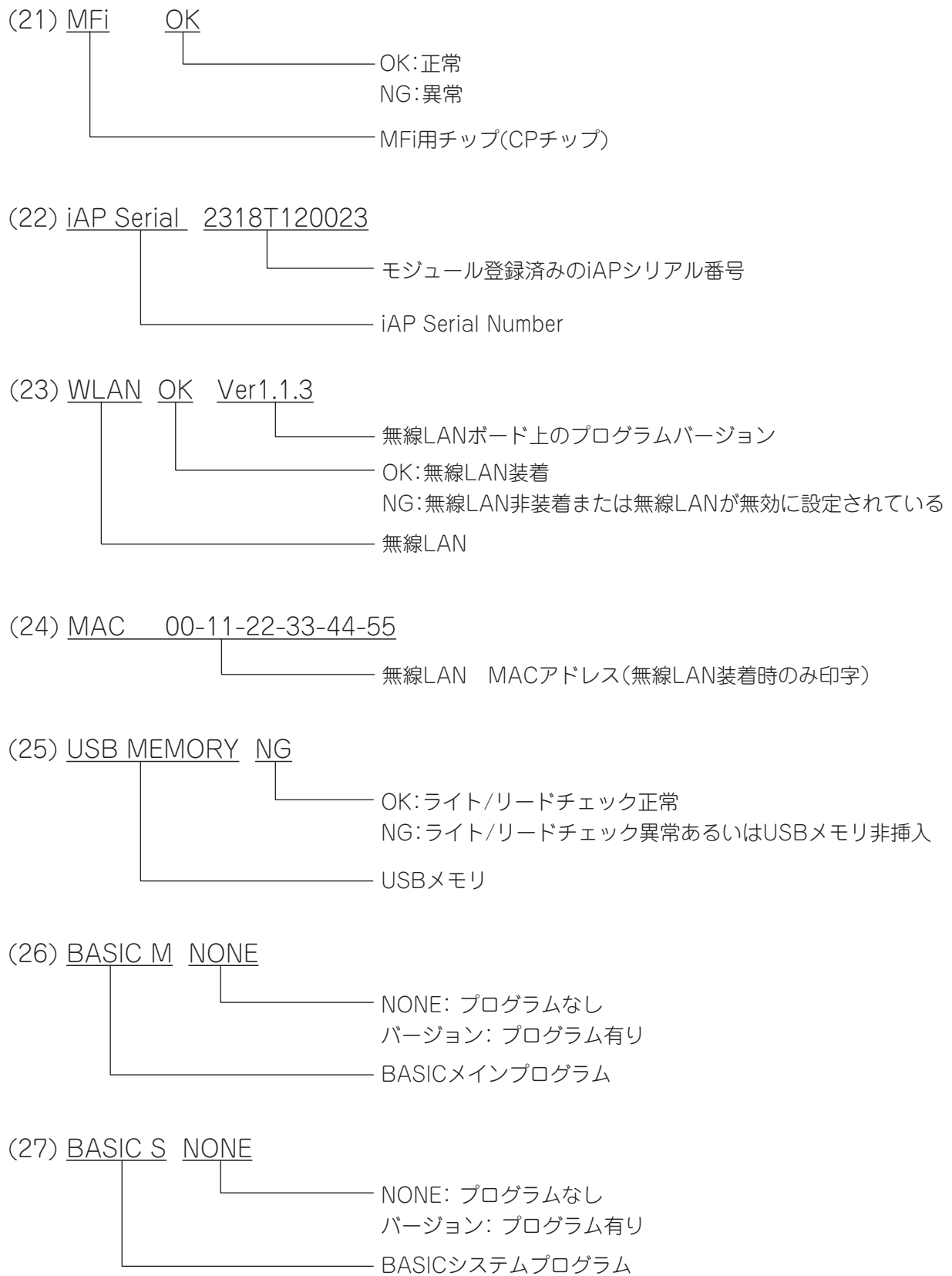
(16) [T] 2.5V
 2.4V 2.3V 2.2V 2.1V
 └────────────────── 透過センサー手動スレッシュホールドレベル1 ~ 5(0.0 ~ 5.0V)

(17) HEAD [RANK]1 300DPI
 └────────── 装着されている印字ヘッド解像度
 └────────── 印字ヘッド抵抗ランク(0/1)

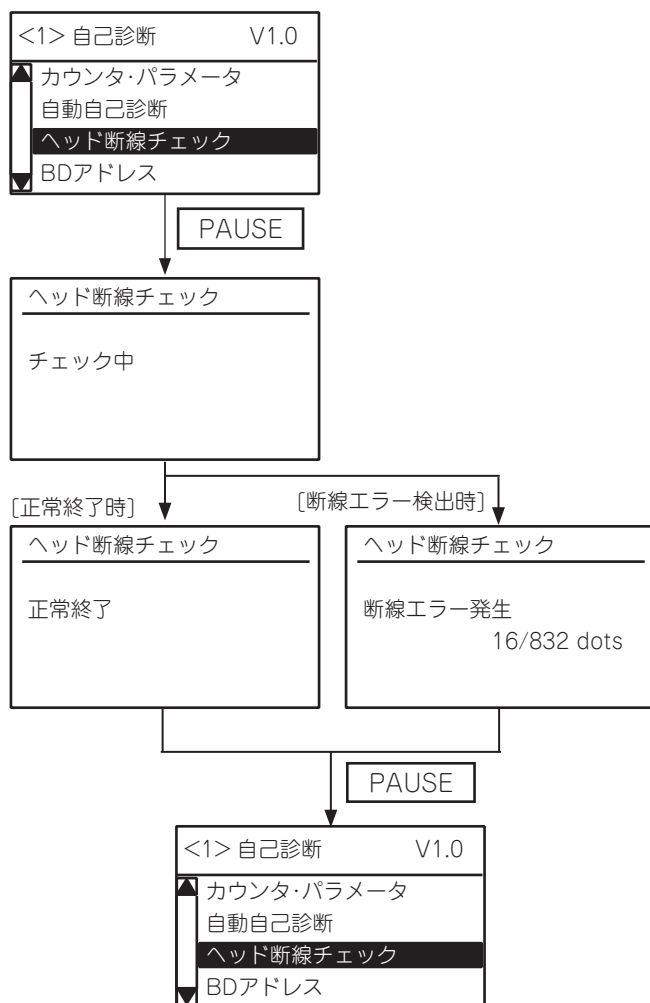
(18) LAN MAC 11-22-33-44-55-66
 └────────── 有線LAN MACアドレス

(19) SIO NG(0111) NG
 └────────── DIN OK:データ正常
 NG:データ異常、またはループバック治具未接続
 └────────── ビット構成(x3x2x1x0)
 x0: 1固定
 x1: 1固定
 x2: 1固定
 x3: オプションボード有無 0: RS-232Cボード未接続
 1: RS-232Cボード接続
 └────────── OK:データ正常
 NG:データ異常、またはループバック治具未接続
 └────────── 外部シリアルインターフェース

(20) BLUETOOTH OK sppi v2.12
 └────────── Bluetoothモジュールのファームウェアバージョン
 (※Bluetoothモジュールからバージョンを取得できない場合は
 "--"となる)
 └────────── OK:正常
 NG:異常
 -:未装着
 └────────── Bluetooth



(3) ヘッド断線チェック



(1) ヘッド断線チェックメニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) ヘッド断線チェックを開始します。

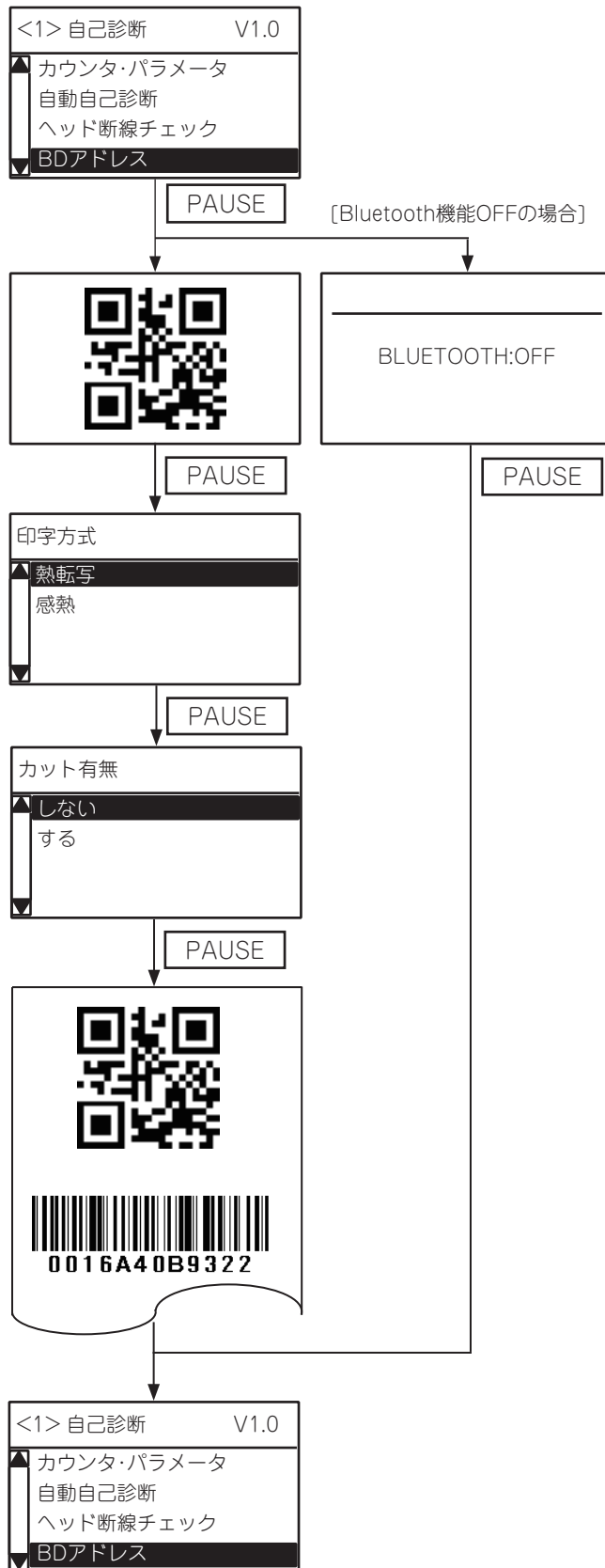
(4) 結果が表示されます。

※断線エラー時、断線ドット数を表示します。
断線ドット数／全ドット数

(5) [PAUSE]キーを押します。

(6) 自己診断メニューを表示します。

(4) BDアドレス



(1) BDアドレスメニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) BDアドレスをQRコードで表示します。
※BDアドレスの取得に失敗した場合は、QRコードは表示されません。

(4) [PAUSE]キーを押します。

(5) [FEED]/[RESTART]キーで印字方式を選択します。

(6) [PAUSE]キーを押します。

(7) [FEED]/[RESTART]キーでカット発行の有無を選択します。

(8) [PAUSE]キーを押します。

(9) BDアドレスのQRコードとCODE128を印刷します。

(10) 自己診断メニューを表示します。

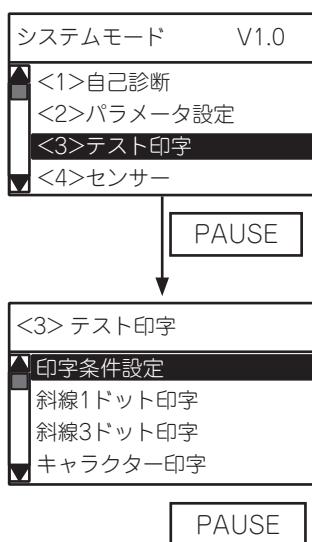
テスト印字

斜線、文字、バーコード等のテスト印字パターンを印字します。
また、テスト印字用の印字条件を設定することができます。

●テスト印字メニュー 一覧

メニュー	サブメニュー	パラメータ
テスト印字	印字条件設定	発行枚数
		印刷速度
		センサー
		印字方式
		発行タイプ
		ラベルピッチ
		紙送り
	斜線1ドット印字	
	斜線3ドット印字	
	キャラクター印字	
	バーコード印字	
	白紙印字 (何も印字せずフィードします)	
	工場出荷テスト (本メニューは選択しないでください)	
	自動印刷(透過) (本メニューは選択しないでください)	
	自動印刷(反射) (本メニューは選択しないでください)	

●テスト印字操作例



(1) システムモードのテスト印字メニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) サブメニューを選択します。

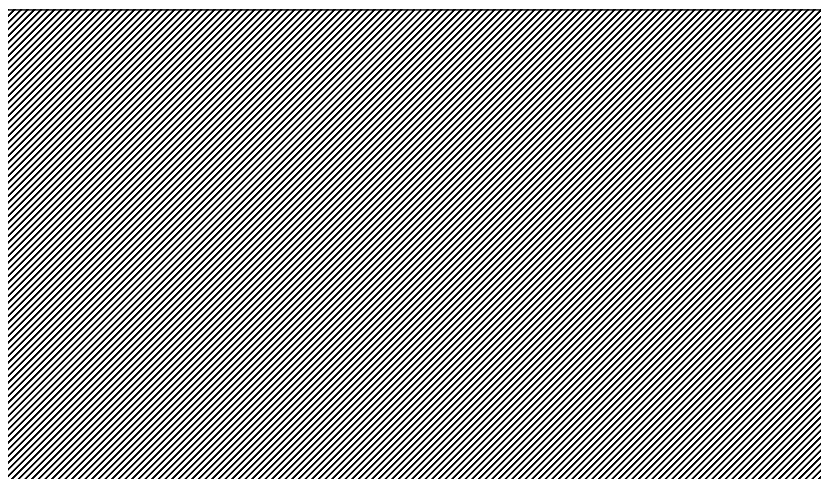
(4) [PAUSE]キーを押します。

(1)印字条件設定

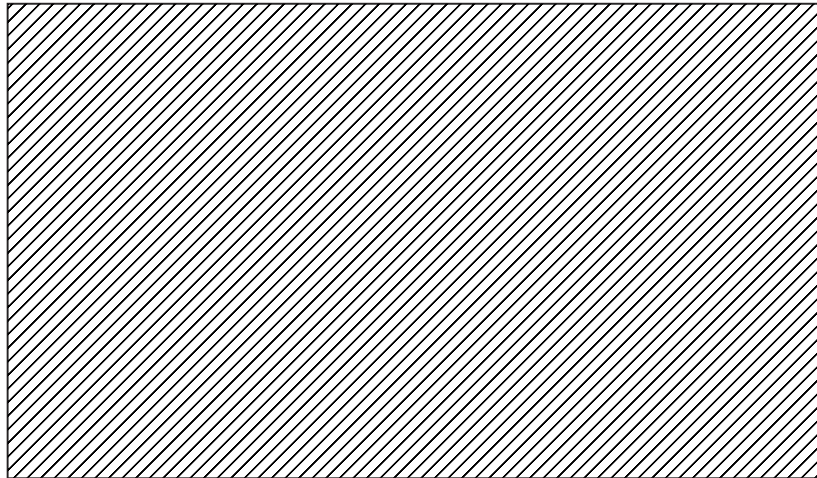
(1) 発行枚数	<ul style="list-style-type: none"> • <u>1枚</u> • 3枚 • 5枚 • 10枚 • 50枚 • 100枚 • 500枚 • 1000枚 • 5000枚
(2)印刷速度	<ul style="list-style-type: none"> • 2 ips • 3 ips • <u>4 ips</u> • 5 ips • 6 ips (203 dpiのみ) • 7 ips (203 dpiのみ)
(3)センサー	<ul style="list-style-type: none"> • 無し: 位置検出無し • <u>透過</u>: 透過センサー • 反射: 反射センサー • 透過(手動1～5): 透過センサー手動設定スレシヨルド • 反射(手動1～5): 反射センサー手動設定スレシヨルド
(4)印字方式	<ul style="list-style-type: none"> • 熱転写: 熱転写 ※本機では使用しません • <u>感熱</u>: 直接発色
(5)発行タイプ ※ご使用の機種又は取り付けたオプションにより選択できる発行タイプが異なります	<ul style="list-style-type: none"> • <u>連続</u> • カット • 剥離 • ライナレスカット • パーシャルカット
(6)ラベルピッチ	<ul style="list-style-type: none"> • 5mm ～ 999mm (1mm単位) (初期値: 76mm)
(7)紙送り	<ul style="list-style-type: none"> • しない • <u>する</u>

補足

- 電源投入時の各パラメータの初期値
 - 発行枚数： 1枚
 - 印刷速度： 4 ips
 - センサー指定： 透過センサー
 - 印字方式： 感熱方式
 - 発行タイプ： 連続発行
 - ラベルピッチ： 76mm
 - 紙送り： する
- X方向座標微調を除く各種微調パラメータは、テスト印字でも有効です。
- テスト印字中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して発行を停止します。
- エラーは[PAUSE]キー押下で解除され、テスト印字メニューの表示に戻りますが、エラー復帰後の自動的な再発行は行いません。
- イメージバッファ長より大きなラベルサイズは指定できません。イメージバッファ長より大きな値を指定した場合は、イメージバッファ長分を印字して停止するか、エラーが発生して停止します。
- 透過センサーを指定した場合、ラベル間ギャップは3mmとして印字します。

(2)斜線1ドット印字例

(3) 斜線3ドット印字例



(4) キャラクター印字例



(5) バーコード印字例



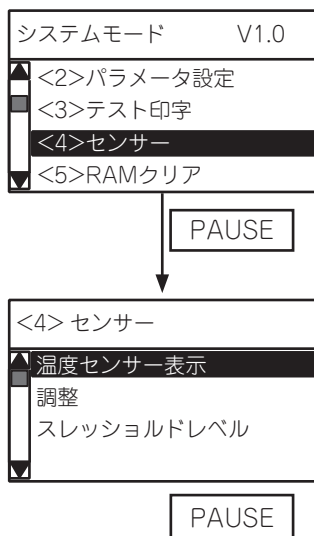
センサー

外気温度やヘッド温度の表示を行います。また、センサーで検知した用紙(または黒マーク)の電圧表示や設定を行ったり、スレッシュホールド設定モードで設定したスレッシュホールド(しきい値)を微調整します。

●センサーメニュー 一覧

メニュー	サブメニュー	パラメータ
センサー	温度センサー表示	外気温度
		ヘッド温度
	調整	反射センサー
		透過センサー
		紙無しレベル
	スレッシュホールドレベル	反射センサー
		透過センサー

●センサー設定操作例



(1) システムモードのセンサーメニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) サブメニューを選択します。

(4) [PAUSE]キーを押します。

(1)温度センサー表示

温度センサー表示	
ヘッド温度	20℃
外気温度	18℃

印字ヘッド温度と外気温度を表示します。

温度範囲

ヘッド温度: -20℃～ 100℃

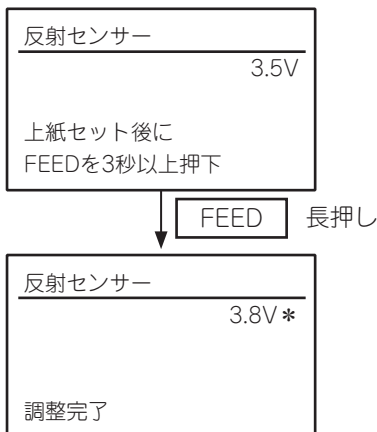
外気温度: -20℃～ 100℃

(2)調整

現在センサーが検知している電圧を表示します。

また、印字エリア検出時の電圧を反射センサーに、ギャップ部検出時の電圧を透過センサーに、用紙切れ検出時の電圧を両センサーに、それぞれ設定します。

■ 反射センサー



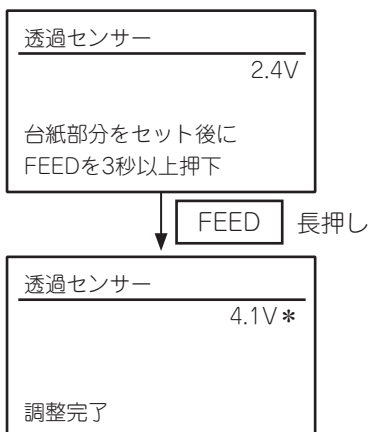
反射センサーで検知した用紙または黒マークの電圧を表示します。

反射センサーの調整:

- (1) タグ紙を反射センサーの上にセットします。この時黒マークがセンサーにかからないようにします。
- (2) [FEED]キーを3秒以上押しします。
- (3) 調整が完了すると”調整完了”と電圧値の右側にアスタリスクを表示します。

設定範囲: 0.0V ~ 5.0V

■ 透過センサー



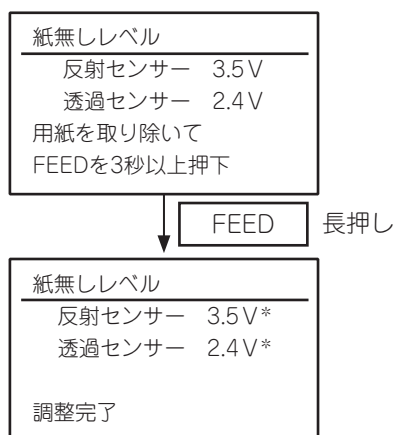
透過センサーで検知した用紙またはギャップの電圧を表示します。

透過センサーの調整:

- (1) ラベル紙からラベルをはがした台紙を透過センサーの上にセットします。
- (2) [FEED]キーを3秒以上押しします。
- (3) 調整が完了すると”調整完了”と電圧値の右側にアスタリスクを表示します。

設定範囲: 0.0V ~ 5.0V

■ 紙無しレベル



反射センサーと透過センサーで検知した紙無し(ペーパーエンド)状態の電圧を表示します。

紙無しレベルの調整:

- (1) センサー上から用紙を取り除き、ペーパーエンドの状態にします。
- (2) [FEED]キーを3秒以上押します。
- (3) 調整が完了すると”調整完了”と電圧値の右側にアスタリスクを表示します。

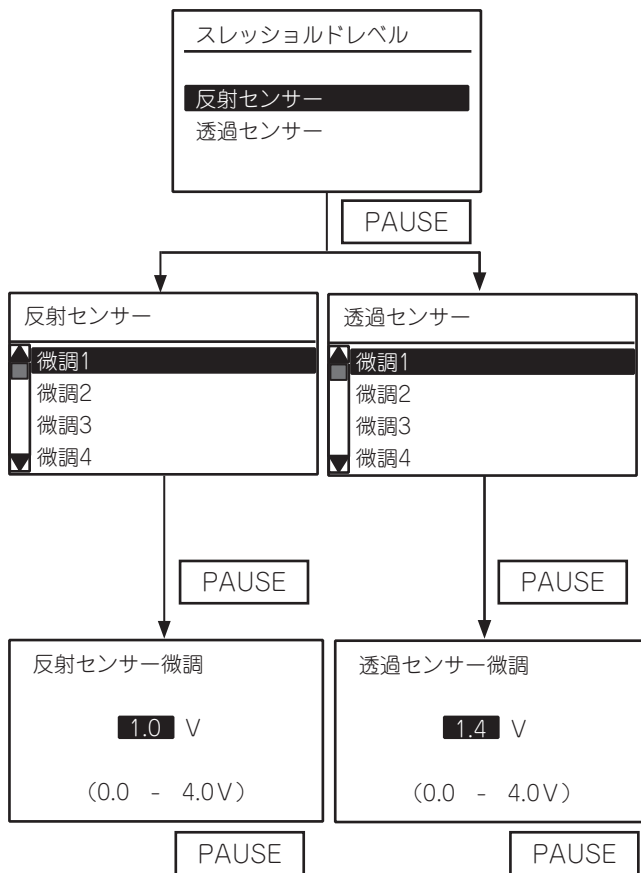
反射センサー設定範囲: 0.0V ~ 5.0V

透過センサー設定範囲: 0.0V ~ 5.0V

補足

- センサー調整中は、各センサーの状態を0.2秒毎に監視して表示します。したがって、センサーの状態が変化すると表示も変わります。
- 外気温が検出不能な場合、外気温センサー A/D値は”[A]—°C”と表示します。
- センサー故障等により調整が失敗した時は”センサーエラー”と表示し、ERRORランプを点灯します。上位画面に移るとERRORランプは消灯します。

(3)スレッシュヨルドレベル



(1) スレッシュヨルドを微調整するセンサーを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) [FEED]/[RESTART]キーでスレッシュヨルド登録番号を選択します。

- 微調1
- 微調2 (現行使用できません)
- 微調3 (現行使用できません)
- 微調4 (現行使用できません)
- 微調5 (現行使用できません)

(4) [PAUSE]キーを押します。

(5) [FEED]/[RESTART]キーでスレッシュヨルドの微調値を設定します。

反射センサー設定範囲: 0.0V ~ 4.0V

透過センサー設定範囲: 0.0V ~ 4.0V

(6) [PAUSE]キーを押します。

補足

- スレッシュヨルドの設定については『スレッシュヨルド設定モードの機能』を参照してください。(→ P.55)
- ピーク値 - 微調値 = しきい値 となります。
しきい値がピーク値とベース値の中間値となるように設定してください。
- スレッシュヨルドの微調値を0.0Vに設定した場合、初期値に補正されます。
反射センサー初期値: 1.0V
透過センサー初期値: 1.4V

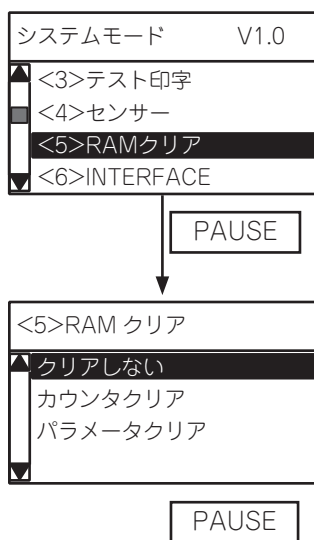
RAMクリア

メンテナンスカウンタやパラメータ設定を初期値に戻します。
メンテナンスカウンタはクリアする項目を選ぶことができます。

●RAMクリアメニュー 一覧

メニュー	サブメニュー	パラメータ
RAMクリア	クリアしない カウンタクリア	全カウンタ
		ラベル走行距離
		印字距離
		カット回数
		その他
	パラメータクリア	QMタイプ
		JAタイプ
		CNタイプ
		QQタイプ

●RAMクリア操作例



(1) システムモードのRAMクリアメニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

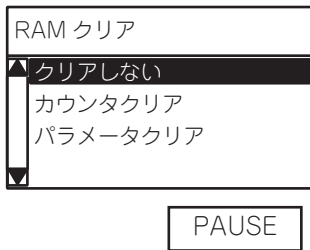
(3) サブメニューを選択します。

(4) [PAUSE]キーを押します。

補足

- RAMクリア操作では、総ラベル走行距離、センサー調整値、IPアドレス設定内容、およびフラッシュメモリーの内容は初期化しません。

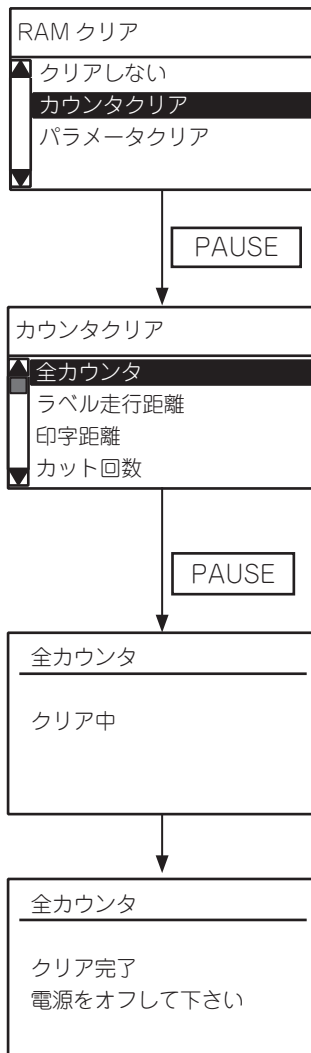
(1) クリアしない



誤ってRAMクリアモードに入ってしまった場合の、誤操作防止用選択肢です。

- (1) 「クリアしない」を選択します。
- (2) [PAUSE]キーを押します。

(2) カウンタクリア



メンテナンスカウンタの各情報をクリアします。また、クリアする対象を「全カウンタ」、「ラベル走行距離」、「印字距離」、「カット回数」、「その他」から選択することができます。

- (1) 「カウンタクリア」を選択します。
- (2) [PAUSE]キーを押します。
- (3) クリアする対象を選択します。

- 全カウンタ
- ラベル走行距離
- 印字距離
- カット回数
- その他

※それぞれのクリア項目は、次ページ参照。

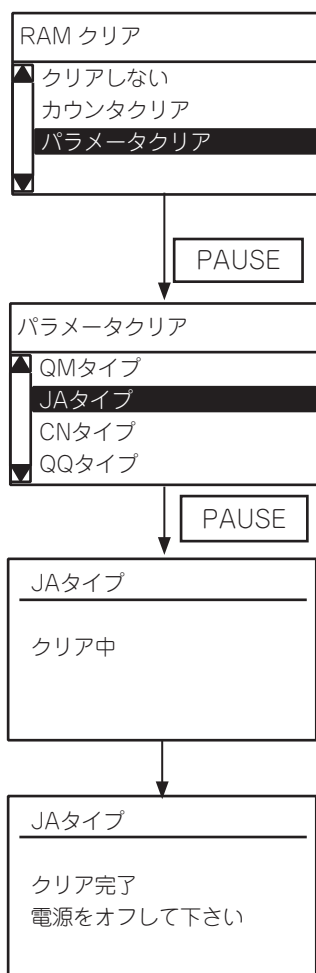
- (4) [PAUSE]キーを押します。
メンテナンスカウンタクリアを開始します。

- (5) "クリア完了 電源をオフして下さい"と表示されたら、プリンタの電源を切して下さい。

メンテナンスカウンタクリア項目およびクリア後の初期値

項目	初期値	全カウンタ	ラベル走行距離	印字距離	カット回数	その他
ラベル走行距離 (FEED)	0km	○	○			
印字距離 (PRINT)	0km	○		○		
カット回数 (CUT)	0回	○			○	
RS-232Cハードエラー発生回数 (232C ERR)	0回	○				○
システムエラー発生回数 (SYSTEM ERR)	0回	○				○
瞬時停電発生回数 (POWER FAIL)	0回	○				○

(3)パラメータクリア



プリンタに設定している各パラメータを、選択した仕向け地の初期値にします。

- (1) 「パラメータクリア」を選択します。
- (2) [PAUSE]キーを押します。
- (3) 「JAタイプ」を選択します。
- (4) [PAUSE]キーを押します。

お願い

- JAタイプ(日本向け)以外は選択しないでください。JA以外の仕向け地を選択してRAMクリアを実行すると、JAタイプとして使用できなくなります。

- (5) "クリア完了 電源をオフして下さい"と表示されたら、プリンタの電源を切って下さい。

※RAMクリア後、メンテナンスカウンタ印字を行うと右上に仕向け地が印字されます。JAタイプであることを確認してください。

パラメータクリア後の初期値

項 目	初 期 値
<<微調値設定>>	
フィード量微調	[PC] +0.0mm [KEY] +0.0mm
カット位置(または剥離位置)微調	[PC] +0.0mm [KEY] +0.0mm
バックフィード量微調	[PC] +0.0mm [KEY] +0.0mm
印字濃度微調(転写)	[PC] +0 step [KEY] +0 step
印字濃度微調(直接発色)	[PC] +0 step [KEY] +0 step
X方向座標微調	+0.0mm
X方向微調方法	TYPE1
反射センサー手動スレッシュホールド微調 1～5	1.0V
透過センサー手動スレッシュホールド微調 1～5	1.4V
<<パラメータ設定>>	
頭出し	無効
自動正転待機	カッター装着時: する カッター非装着時: しない
自動正転待機位置	+0.0mm
待機動作	モード1
プレ剥離処理	しない
バックフィード速度	標準
用紙測定	しない
文字コード	PC-850
0の字体	“0”スラッシュ無し
制御CODE	自動判別
剥離待ちSTATUS	無効
USB経由STATUS	無効
[FEED]キー	フィード
漢字特殊コード	TYPE1
ユーロコード	B0 (0xb0)
自動断線チェック	無効
WEBプリンタ	無効
用紙/リボン終了	即時停止
MaxiCode仕様	TYPE1
XML仕様設定	標準
印加制御(熱転写)	標準
印加制御(感熱)	標準
省電力移行時間	15分
ベーシックインタプリタ設定	無効
ベーシックインタプリタトレース設定	無効
カットモード	TYPE1

項 目	初 期 値
ラベル複数枚取り設定	無効
ラベル走行距離警告設定	3200km
総ラベル走行距離警告設定	3200km
発行制御設定	
センサー	コマンド優先
モード	コマンド優先
印字速度	コマンド優先
リボン	コマンド優先
印字方向	コマンド優先
自動ステータス応答	コマンド優先
<<表示>>	
LCD表示言語	日本語
LCD詳細設定 機種名	表示
LCD詳細設定 印刷枚数	表示
LCD詳細設定 IPアドレス	表示
コントラスト調整	40
システムモードパスワード	初期化しない
パスワード値	初期化しない
<<STORAGE AREA>>	
TrueType Font登録エリアサイズ	初期化しない
外字登録エリアサイズ	初期化しない
ベーシックファイル保存エリアサイズ	初期化しない
PCコマンド登録エリアサイズ	初期化しない
OTF登録エリア残りサイズ	初期化しない
<<USB>>	
USBシリアル番号	無効
<<RS-232C>>	
通信速度	9600bps
データ長	8 bits
ストップビット	1 bit
パリティ	偶数
フロー制御	XON+READY AUTO
<<LAN/WLAN>>	
LAN/WLAN切替	自動
SNMP	有効
IPアドレス	初期化しない
サブネットマスク	初期化しない
ゲートウェイIPアドレス	初期化しない
ソケットポート	初期化しない
ポート番号	初期化しない
DHCP	ON
DHCPクライアントID	初期化しない

項 目	初 期 値
DHCPホスト名	初期化しない
無線LAN:周波数設定	DUAL BAND
無線LAN:接続設定	INFRASTRUCTURE
無線LAN:ESS ID	TOSHIBATEC
無線LAN:暗号化	無効
無線LAN:WPA認証方式	無効
無線LAN:認証方式	OPEN
無線LAN:認証方式	無効
無線LAN:暗号化キー	1
無線LAN:接続チャンネル設定	APモード
LPR	有効
<<Bluetooth>>	
動作設定	有効
テストモード	しない
デバイスニックネーム	TOSHIBA TEC BT
デバイスアドレス	初期化しない
検索設定	検索可能
接続間隔	2048
接続ウィンドウ	36
セキュリティレベル	SSP
自動再接続設定	無効
SSP認証種別	初期化しない
認証キー確認	初期化しない

メンテナンスカウンタ印字以外の項目の初期値

項 目	初 期 値
<<発行条件確認>>	
センサー	透過センサー
モード	連続
印字速度	4ips
リボン	無し
印字方向	尻出し
用紙ピッチ	76.0mm
有効印字長	74.2mm
印字幅	105.7mm
用紙幅	初期化しない
<<プリンタ設定ツールでのみ設定可能な項目>>	
エラー後の再印刷	有効
簡易レシートモード	無効
ボトムマージン	2

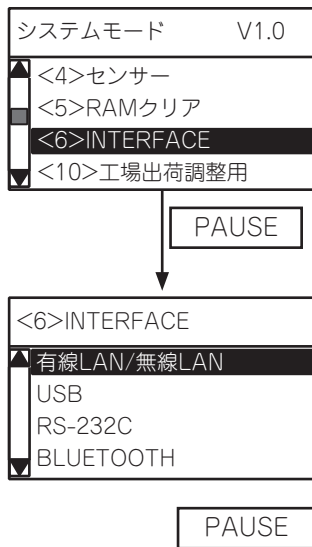
INTERFACE

インターフェース関連のパラメータ設定を行います。

●INTERFACEメニュー 一覧

メニュー	サブメニュー	パラメータ
INTERFACE	有線LAN/無線LAN	有線LAN/無線LAN
		基本情報
		IPアドレス
		サブネットマスク
		ゲートウェイ
		DHCP
		DHCPクライアントID
		DHCPホスト名
		ソケットポート
		ポート番号
		LPR
		無線LAN
		SNMP
		WEBプリンタ
		USB
		USB経由STATUS
	RS-232C	通信速度
		データ長
		ストップビット
		パリティ
		フロー制御
	BLUETOOTH	BLUETOOTH
		テストモード
		検索設定
		セキュリティレベル
		接続間隔
		接続ウィンドウ
		自動再接続
		SSP認証種別

●INTERFACE設定操作例



(1) システムモードのINTERFACE設定メニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) サブメニューを選択します。

(4) [PAUSE]キーを押します。

(1) 有線LAN/無線LAN設定

(1) 有線LAN/無線LAN	<ul style="list-style-type: none"> ・無効 ・有効(自動) ※無線LANが装着されている場合、有線LANは動作しません。 ・有効(有線LAN) ・有効(無線LAN)
(2) 基本情報	ネットワーク設定に関する以下の情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・IPアドレス ・サブネットマスク ・ゲートウェイアドレス ・ソケットポート有効/無効 ・ソケットポート番号
(3) IPアドレス	IPアドレスを表示/設定します。 (初期値: 192.168.010.020)
(4) サブネットマスク	サブネットマスクを表示/設定します。 (初期値: 255.255.255.000)
(5) ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを表示/設定します。 (初期値: 000.000.000.000)
(6) DHCP	<ul style="list-style-type: none"> ・無効 ・有効
(7) DHCPクライアントID	DHCPクライアントIDを16進数で入力します。 00 ~ 63 (64バイト)

(8) DHCPホスト名	DHCPホスト名を16進数で入力します。 00 ~ 31 (32バイト)	
(9) ソケットポート	<ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 	
(10) ポート番号	ソケットポート番号を表示/設定します。 00000 ~ 65535 (初期値: 09100)	
(11) LPR	<ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 	
(12) 無線LAN	無線LANに関する以下の情報を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • バンド選択 • 接続モード • ESSID 	
(13) バンド選択	<ul style="list-style-type: none"> • <u>DUAL BAND</u> • 2.4GHz • 5GHz 	
(14) 接続モード	<ul style="list-style-type: none"> • AP MODE • <u>INFRASTRUCTURE</u> 	
(15) ESSID	ESSIDを16進数で入力します。 00 ~ 31 (32バイト)	
(16) SNMP	<ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 	
(17) WEBプリンタ	<ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 	WEBプリンタ機能なし WEBプリンタ機能あり

(2) USB設定

(1) USBシリアル番号	<ul style="list-style-type: none"> • <u>無効</u> • 有効 	
(2) USB経由STATUS	<ul style="list-style-type: none"> • <u>無効</u> 応答なし • 有効 応答あり <p>※本パラメータの設定に関わらず、発行終了の自動応答は返します。</p>	

(3) RS-232C設定

(1) 通信速度	<ul style="list-style-type: none"> • 2400 bps • 4800 bps • <u>9600 bps</u> • 19200 bps • 38400 bps • 115200 bps
(2) データ長	<ul style="list-style-type: none"> • <u>8 bits</u> • 7 bits
(3) ストップビット	<ul style="list-style-type: none"> • <u>1 bit</u> • 2 bits
(4) パリティ	<ul style="list-style-type: none"> • 無し • <u>偶数</u> • 奇数
(5) フロー制御	<ul style="list-style-type: none"> • <u>XON+READY AUTO</u> (電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力あり) • XON+XOFF AUTO (電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力あり) • READY/BUSY RTS (電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力なし) • XON+XOFF (電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力なし) • READY/BUSY (電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力なし)

(4) BLUETOOTH設定

(1) BLUETOOTH	<ul style="list-style-type: none"> • 無効 • <u>有効</u>
(2) テストモード	<ul style="list-style-type: none"> • <u>しない</u> • する
(3) 検索設定	<ul style="list-style-type: none"> • <u>検索可能</u> • 検索不可 • 60秒
(4) セキュリティレベル	<ul style="list-style-type: none"> • <u>SSP</u> • LINK • OFF
(4) 接続間隔	18 ~ 4096秒 (初期値:2048)
(5) 接続ウィンドウ	18 ~ 4096秒 (初期値:36)

(6)自動再接続	<ul style="list-style-type: none">• 無効• 有効
(7) SSP認証種別	<ul style="list-style-type: none">• 確認無し• 認証キー確認 <p>「SSP認証種別」パラメータで「認証キー確認」を選択すると表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 表示なし• 表示のみ• <u>確認あり</u>

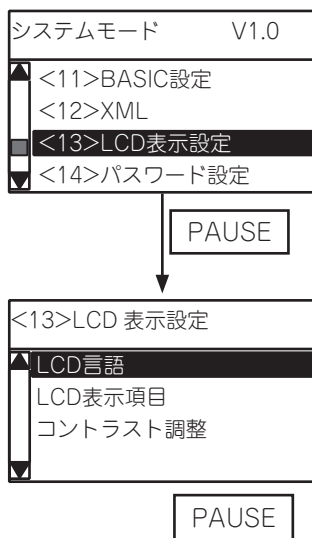
LCD表示設定

本機のLCD表示設定をします。

●LCD表示設定メニュー 一覧

メニュー	サブメニュー
LCD表示設定	LCD言語
	LCD表示項目
	コントラスト調整

●LCD表示設定操作例



(1) システムモードのLCD表示設定メニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) サブメニューを選択します。

(4) [PAUSE]キーを押します。

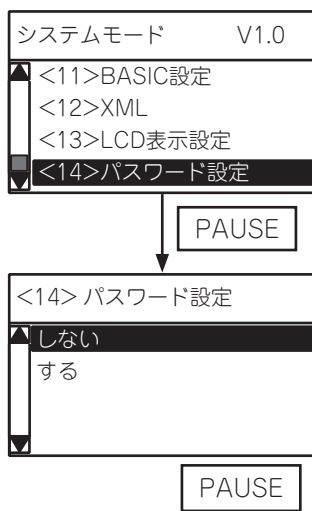
(1)LCD言語	<ul style="list-style-type: none"> • 英語 • ドイツ語 • フランス語 • オランダ語 • スペイン語 • <u>日本語</u> • イタリア語 • ポルトガル語 • 中国語 • 韓国語 • トルコ語 • ポーランド語 <p style="text-align: center;">※オンラインモード以外では、「日本語」を選択した時は日本語で表示します。それ以外の言語を選択した時は、英語で表示します。</p>
(2)LCD表示項目	<p>次の各項目のLCD表示・非表示を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 機種名 • 印刷枚数 • IPアドレス
(3)機種名	<ul style="list-style-type: none"> • 非表示 • <u>表示</u>
(4)印刷枚数	<ul style="list-style-type: none"> • 非表示 • <u>表示</u>
(5)IPアドレス	<ul style="list-style-type: none"> • 非表示 • <u>表示</u>
(6)コントラスト調整	<p>•24 ~ 50 (2刻み) (初期値: 40)</p> <p style="text-align: center;">※数値が小さいとコントラストが低くなり、大きいと高くなります。</p>

パスワード設定

システムモードとユーザーモードにアクセスするためのシステムパスワードを設定することができます。

システムパスワードを有効にすると、次回システムモードとユーザーモード起動時にパスワード入力画面を表示します。

●パスワード設定操作例



(1) システムモードのパスワード設定メニューを選択します。

(2) [PAUSE]キーを押します。

(3) サブメニューを選択します。

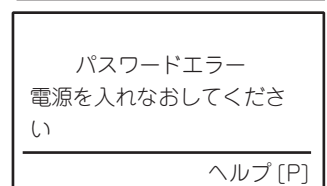
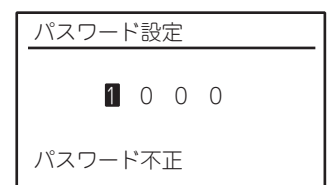
(4) [PAUSE]キーを押します。

(1)パスワード設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>しない</u> ・ する
(2)パスワードの設定	<p>「パスワード設定」パラメータで「する」を選択すると、設定画面が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0000 ~ FFFF (初期値:1234) <p>4桁のパスワードをひと桁ずつ16進数で入力します。 [FEED]/[RESTART]キーで値を設定し、[PAUSE]キーで桁を移動します。</p>



補足 次回システムモードとユーザーモード起動時

- ・ パスワードを間違った時
→ "パスワード不正"というエラーメッセージを表示します。
- ・ パスワードを3回連続して間違った時 (ユーザーモード)
→ プリンタがロックします。
電源を入れ直してください。
- ・ パスワードを3回連続して間違った時 (システムモード)
→ プリンタがロックします。
電源を入れ直してください。



日常のお手入れ

いつもきれいな印字が得られるように、定期的(用紙交換ごと)に本機の清掃を行ってください。特に印字ヘッドやプラテンには汚れがつきやすいので、次の手順で清掃してください。



警告

- ・ 水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないこと
内部に水が入ると、火災・感電の恐れがあります。



注意

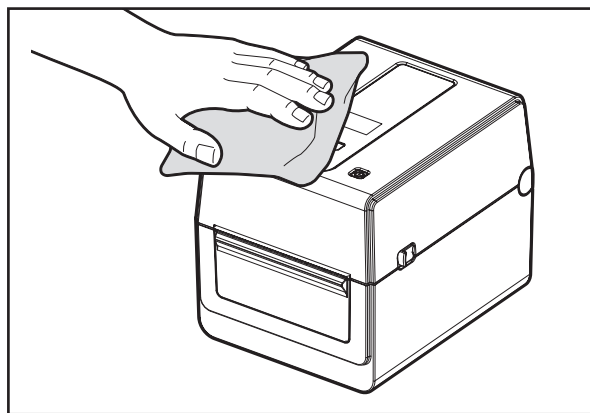
- ・ 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となることがあります。
- ・ シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで本機を清掃しないこと
火災の原因となることがあります。
- ・ トップカバーは後方へ倒すよう全開にすること
中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
火傷の原因となることがあります。

カバーを清掃する

1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 カバーの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。
特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。

ライナレスラベル使用時は、数回発行するたびにラベル排出口の糊や汚れを拭き取ります。

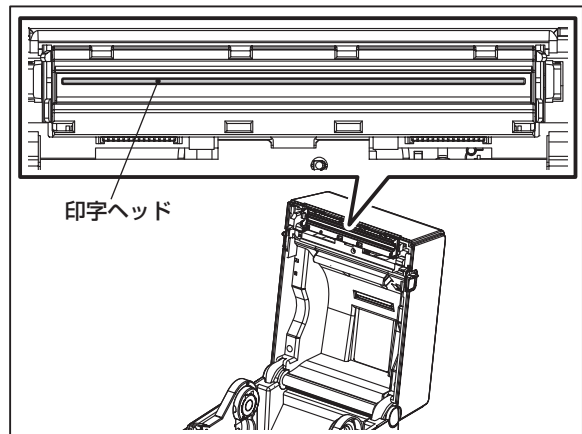


お願い

- ・ シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カバーの変色の原因となります。また、プラスチック部品の破損の原因となります。

印字ヘッドを清掃する

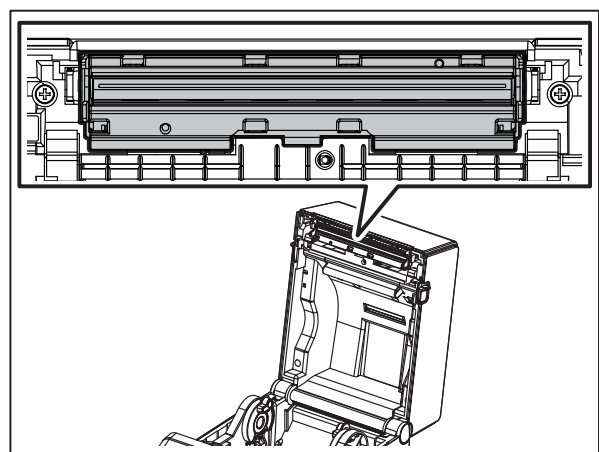
- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを開きます。
- 3 標準機の場合、印字ヘッドの発熱部(網掛け部分)の汚れは、市販の綿棒か別売りのヘッドクリーナーペン、または少量のアルコールを含ませた柔らかい布で拭き取ります。



補足

- 別売りのヘッドクリーナーペンはお買い上げの販売店へご注文ください。(→ P.140)

- 4 ライナレスラベルモデルの場合、印字ヘッドの網掛け部分の汚れは、付属のヘッドクリーナーペン、または少量のアルコールを含ませた柔らかい布で拭き取ります。清掃は、用紙1巻ごとに実施してください。

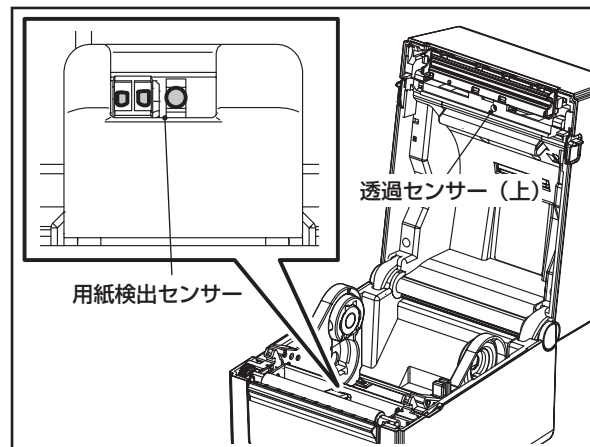


お願い

- 印字ヘッドを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- 印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、印字ヘッドが破損することがあります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印字不良や故障の原因となります。

用紙検出センサーを清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを開き、用紙を取り出します。
- 3 少量のアルコールを含ませた柔らかい布または綿棒で用紙検出センサーを拭きます。紙粉やホコリは乾いた柔らかい布で拭き取ります。
- 4 透過センサー（上）のホコリや紙粉は、市販の清掃ハケで取り除きます。

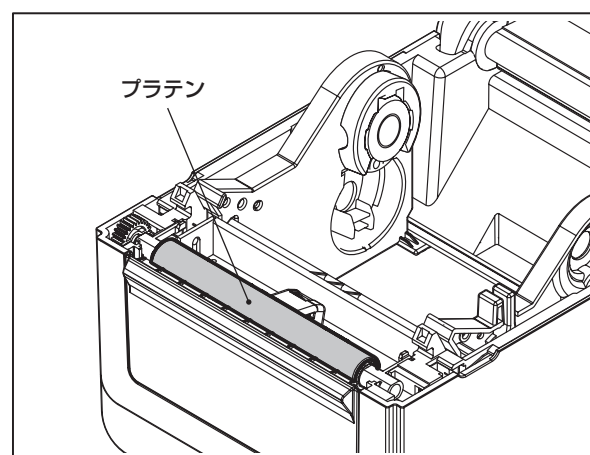


お願い

- センサーを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

プラテンを清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを全開にします。
- 3 プラテンの汚れは、少量の無水エタノールを含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
ライナレスラベルモデルの場合、以下に注意してください。
 - 用紙1巻発行するごとに清掃してください。
 - プラテンを強くふき取るとプラテン表面の凸凹の破損原因になります。



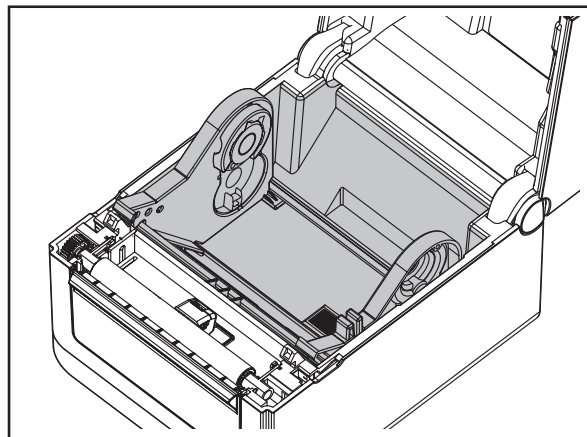
お願い

- プラテンを鋭利なもので傷つけないでください。
- シンナーやベンジンなどの無水エタノール以外の薬品類を使用しないでください。印字不良や変色・変質の原因となります。

用紙収納部を清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを開き、用紙を取り出します。
- 3 用紙収納部の紙粉やホコリは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。汚れが落ちない場合は、少量の中性洗剤を湿らせた柔らかい布で汚れを拭き取ります。

ライナレスラベル使用後は、用紙ホルダーや用紙ガイドの糊や汚れを少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。
清掃は、用紙1巻ごとに実施してください。



お願い

- ・ シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。用紙収納部の変色・変質の原因となります。

ライナレスラベルカッターを清掃する

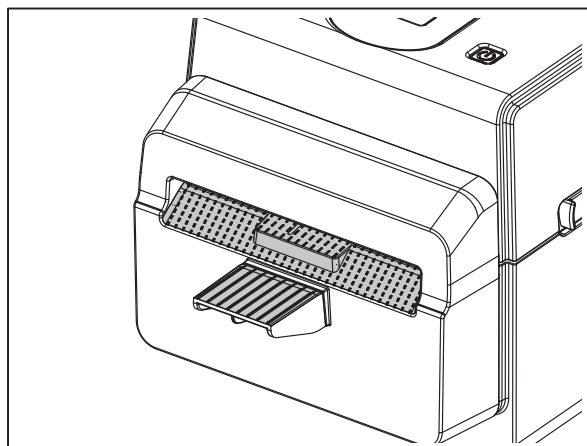


注意

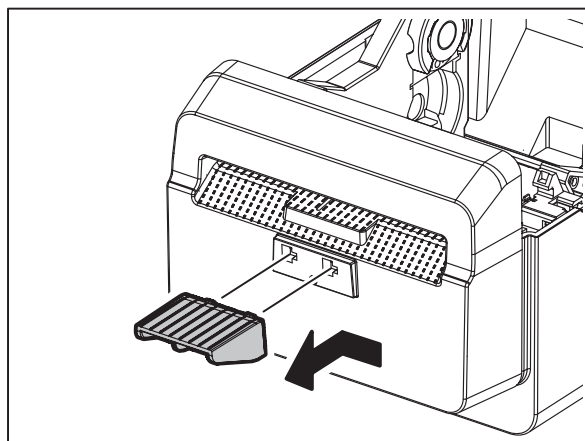
- ・ カッターの刃に直接触れないでください。けがの原因となることがあります。

以下の手順は、用紙1巻ごとに実施してください。

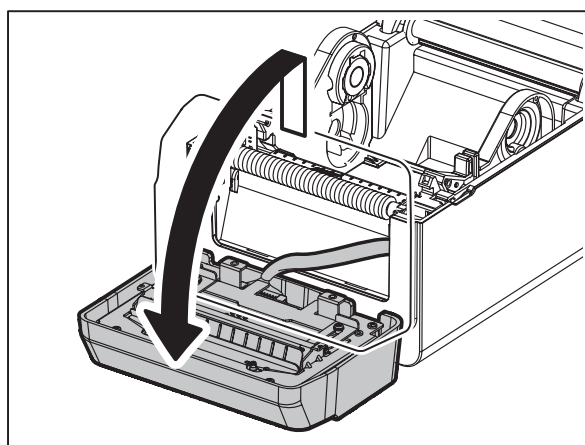
- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを開き、用紙を取り出します。
- 3 ラベル排出口とラベル受けに付いた糊や汚れを少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



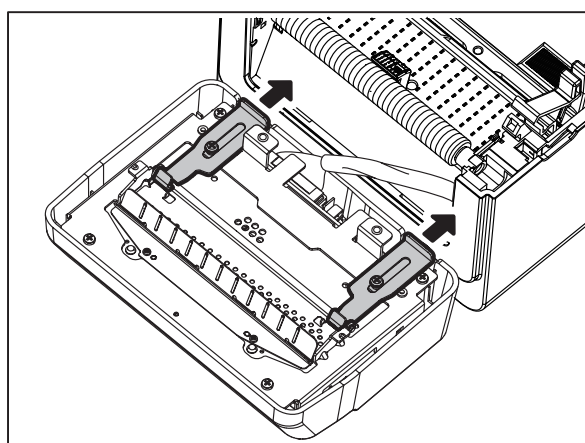
- 4 ラベル受けを横にスライドさせ、手前に引き抜きます。



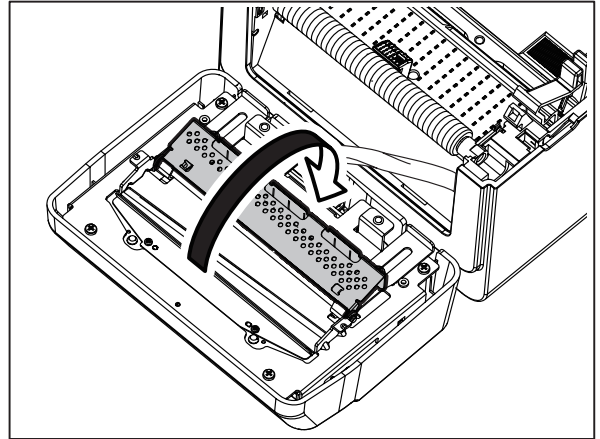
- 5 カッターユニットを持ち上げて取り外します。



- 6 カッターユニット内側の金具を矢印の方向にスライドさせます。

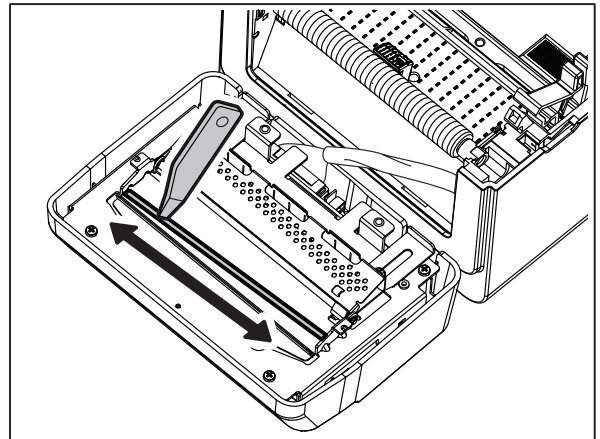


7 カッターガイドを開きます。

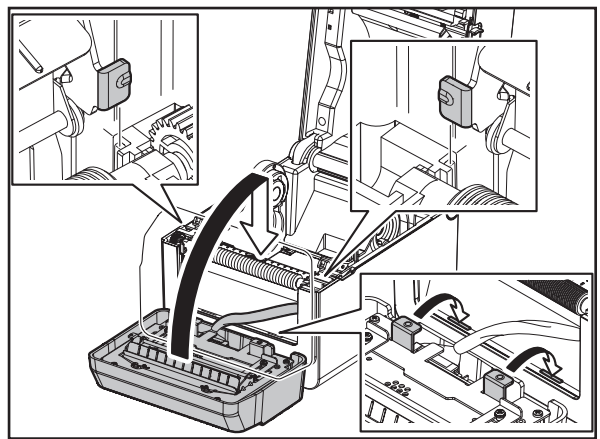


8 付属のスクレイパーでカッターの刃の周りについた糊をこそげ取ります。

9 カッターの刃を無水エタノールで湿らせた柔らかい布または綿棒で拭きます。



10 カッターユニットを4～7の逆の手順で取り付けます。



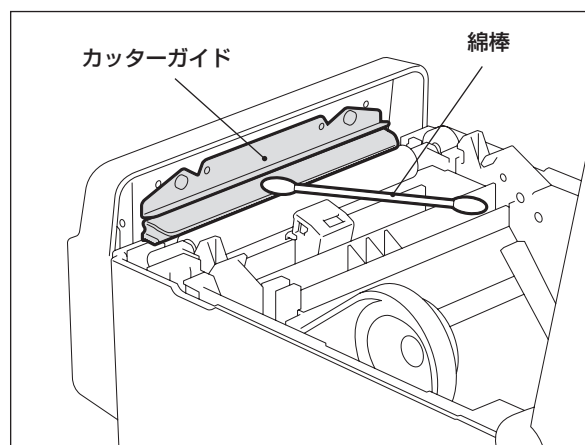
カッター (オプション) を清掃する



注意

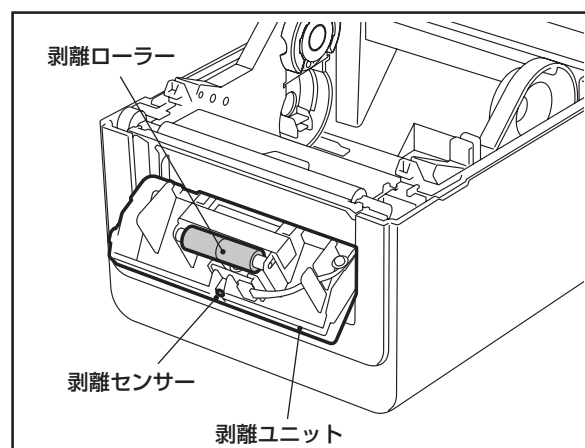
- ・ カッターの刃に直接触れないでください。けがの原因となることがあります。

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを開き、用紙を取り出します。
- 3 カッターガイドを、無水エタノールで湿らせた柔らかい布または綿棒で拭きます。



剥離モジュール(オプション) を清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを開き、剥離ユニットを開けます。
- 3 剥離センサーや用紙排出口周辺のホコリや汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。
- 4 剥離ローラーの汚れは、無水エタノールで湿らせた柔らかい布で拭き取ります。



お願い

- ・ 剥離ローラーや剥離センサーを鋭利なもので傷つけないでください。発行不良や故障の原因となります。
- ・ シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- ・ 清掃は用紙1巻毎に実施してください。(発行中にカバーが開いてしまう場合があります。)

困ったときは

ご使用中に不具合が生じたときは、次の点を調べてください。

万一、本機の機能が回復しない場合は、電源スイッチをOFFにしてコンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはサービス担当にご相談ください。

エラーメッセージについて

エラーメッセージが表示したときは、その内容に従って処置してください。

エラー原因に対する処置を行って[RESTART]を押すと、エラーは解除されます。

表示	原因	処置
紙送りエラー	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。 (→ P.32)
	発行中に紙詰まりが発生した。	詰まっている用紙を取り除き、用紙をセットし直して[RESTART]を押してください。(→ P.134)
	用紙が正しく紙送りされていない。	用紙をセットし直し、[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→ P.32)
	プログラムで指定している用紙と違うサイズの内紙をセットしている。	指定しているサイズの内紙をセットし、[RESTART]を押してください。
	反射センサーが黒マークを検出していない。	反射センサーの位置調整を行ってください。(→ P.46) 位置が正しいときは、センサーレベルの調整またはスレッシュホールドの設定を行ってください。(→ P.105) 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
	透過センサーがラベル間のすき間を検出していない。	センサーレベルの調整またはスレッシュホールドの設定を行ってください。(→ P.105) 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
	プログラムのセンサー指定と違う種類の内紙をセットしている。	指定しているセンサーに適した内紙をセットし、[RESTART]を押してください。
	サイズやセンサー指定の異なる内紙をセットして、[FEED]を操作した。	指定しているサイズやセンサーに適した内紙をセットし、[RESTART]キーを押してください。
黒マークとラベル間ギャップの両方がある内紙を使用し、自動用紙測定を、「用紙測定」の設定が「有効:両方」または「有効:両方+逆転」で行った。	黒マークとラベル間ギャップの両方がある内紙を使用して自動用紙測定を行う場合は、「用紙測定」の設定を、「有効:反射」または「有効:反射+逆転」のいずれかに指定してください。(→ P.67)	

表示	原因	処置
紙がありません	用紙が終了した。	新しい用紙をセットし、[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→ P.32)
	用紙がセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。(→ P.32)
	用紙センサーの検出レベルが用紙と合っていない。	使用する用紙を使ってセンサー調整を行ってください。(→ P.105)
ヘッドオープン	トップカバーが確実に閉まっていない。(ERRORランプは点灯しません)	トップカバーを確実に閉めてください。(→ P.36)
	トップカバーが閉まっていない状態で用紙を発行または紙送りしようとした。	トップカバーを確実に閉め、[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→ P.36)
サーマルヘッドエラー	印字ヘッドの発熱体の一部が断線している。	電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
ヘッド異常加熱	印字ヘッドの使用温度の上限に達した。	電源スイッチをOFFにし、温度が下がるまでしばらくお待ちください。再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
通信エラー	通信エラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONするか、[RESTART]を押してください。再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
メモリ書き込エラー	書き込みエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONし、再度書き込みを行ってください。再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
フォーマットエラー	フォーマットエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONし、再度フォーマットを行ってください。再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
メモリオーバー	空き容量が足りなくて登録できない。	電源スイッチをOFF/ONしてください。再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
パスワードエラー	パスワードの入力を3回連続で間違えた。	電源スイッチをOFF/ONしてください。
電源異常	瞬時停電が発生した。	電源スイッチをOFF/ONしてください。
カッターエラー (カッターモジュール装着時)	カッター内部で紙詰まりが発生した。	詰まっている用紙を取り除き、用紙をセットし直して[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→ P.134)
	カッターカバーが開いている	カッターモジュールカバーを確実に閉めてください。

表示	原因	処置
エラーコマンド 例 コマンドエラー PC001;0A00,0300,2,2,A,00.	最大42文字の英・数・記号が表示したときは、コマンドエラーが発生している。	電源スイッチをOFF/ONし、正しいコマンドを送り直してください。 (→次頁の※1、※2)
その他のエラーメッセージ	ハードウェアまたはソフトウェアに不具合が発生している。	電源スイッチをOFF/ONしてください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。

補足

※1: コンピュータから送られたコマンドにエラーがあった場合、エラーのあったコマンドの、コマンドコードから42バイト分を3~4行目に表示します。ただし、[LF]、[NUL]は表示しません。また、42バイトを超えた部分も表示しません。

表示例

```

                    (残枚数) 0
                    コマンドエラー
                    {D1544,1042,1524I}{C
                    I}{PC000;0025,B=AC
                    -----
                    ^L^P▶
    
```

(例1) [ESC]PC001;0A00,0300,2,2,A,00,B[LF][NUL]

└── コマンドエラー

表示

```

                    コマンドエラー
                    PC001;0A00,0300,2,2,A
                    ,00,B
    
```

(例2) [ESC]T20G30[LF][NUL]

└── コマンドエラー

表示

```

                    コマンドエラー
                    T20G30
    
```

(例3) [ESC]PC002;0100,0300,15,15,A,00,00,J0101,+000000000A,Z10,P1[LF][NUL]

└── コマンドエラー

表示

```

                    コマンドエラー
                    PC002;0100,0300,15,15,
                    A,00,00,J0101,+00000
    
```

※2: コマンドエラーを表示するとき、20H~7FH、A0H~DFH以外のコードは”?”(3FH)として表示します。

正しく動作しないとき

現象	原因	処置
電源をONにしても電源が入らない。	ACアダプタが本機から抜けている。	ACアダプタを電源ジャックに確実に差し込んでください。(→ P.21)
	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。(→ P.21)
	停電またはコンセントまで電気が来ていない。	他の電気器具で電気が来ているか確認してください。電気が来ていない場合は、最寄りの電力会社にご相談ください。
	建物のヒューズやブレーカーが切れている。	ヒューズやブレーカーを点検してください。
用紙が発行されない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットし直してください。(→ P.32)
	トップカバーが確実に閉まっていない。	トップカバーを確実に閉めてください。(→ P.36)
	通信ケーブルが抜けている。	本機側およびコンピュータ側の接続状態を確認し、通信ケーブルを確実に接続してください。(→ P.23)
	用紙検出センサーが汚れている。	本用紙検出センサーを清掃してください。(→ P.125)
用紙に印字されない。	感熱印字方式を選択しているのに、感熱用紙がセットされていない。	感熱用紙をセットしてください。(→ P.32)
	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。(→ P.32)
	コンピュータから印字データが送られていない。	印字データを送信してください。
印字がかすれる。	当社認定の用紙を使用していない。	当社認定の用紙に交換してください。(→ P.138)
	印字ヘッドが汚れている。	印字ヘッドを清掃してください。(→ P.124)
	印字ヘッドの濃度設定が低い。	濃度微調パラメータで濃度を高く設定してください。(→ P.64)
ドット抜けする。	印字ヘッドが汚れている。	印字ヘッドを清掃してください。(→ P.124)
	印字ヘッドの発熱体の一部が断線している。	電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いて、サービス担当にご連絡ください。
用紙発行直後に紙送りエラーが発生する。	トップカバーを閉じたまま本機を長期間使用しなかったため、印字ヘッドとプラテンに挟まれた箇所の用紙が変形した。	長期間使用しない場合はトップカバーを開放してください。
ラベルがはがれない。(剥離モジュール装着時)	当社認定の用紙を使用していない。	当社認定の用紙に交換してください。(→ P.138)
	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットし直してください。(→ P.32)

現象	原因	処置
きれいにカットされない。(カッターモジュール装着時)	カッターの刃が汚れている。	カッターの刃を清掃してください。(→ P.129)
	カッターの刃が寿命に達した。	電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いて、サービス担当にご連絡ください。
電源ON直後に無線LAN通信エラーが発生する。	電源ON直後には無線LANでの通信ができません。	電源ON後、ON LINEランプが点灯して10秒以上経過してから通信を開始してください。
印字が間欠になる。	長時間連続印字中に温度上昇した印字ヘッドを冷却するため間欠運転になっている。	プリンタの寿命や安全に関しては問題ありませんのでそのままお使いください。
連続印字中に1舜停止する。	本機をより安全にお使いいただくため、一瞬停止させるようになっている。	安全にお使いいただけるのでそのままご使用ください。
1枚の長さが40cm(15.7")を超えるような用紙に印字した場合、電源が遮断する。	印字速度が50.8 mm/sec. (2"/sec.)、76.2 mm/sec. (3"/sec.)、101.6 mm/sec. (4"/sec.)など、遅めの速度で黒率の大きい印字(目安として30%以上)を行うと本機は安全の為電源を遮断することがある。	一度ACアダプタをコンセントから抜き、再度挿します。その後に本機の電源ボタンを押してオンラインに復元させてください。これは、印字速度を127 mm/sec. (5"/sec.)、152.4 mm/sec. (6"/sec.)、177.8 mm/sec. (7"/sec.)などの速度が速い印字をすることにより解消されます。

用紙が詰まったとき

本機の内部で用紙が詰まったときは、次の手順に従って取り除いてください。

別売の剥離モジュール内やカッターモジュール内で用紙が詰まったときは、それぞれ『カッター(オプション)を清掃する』(→ P.129)、『剥離モジュール(オプション)を清掃する』(→ P.129)を参照し、詰まっている用紙を取り除いてください。



注意

- ・ 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

1. 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. トップカバーを全開にします。
3. 詰まっている用紙を取り除きます。
4. 用紙を正しくセットし直します。(→ 『用紙の取り付け方』(P.32))
5. トップカバーを閉め、電源をONにして印字を再開してください。

お願い

- ・ 印字ヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因になります。
- ・ 印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、印字ヘッドが破損することがあります。

仕 様

本機の仕様

■ BV410D-TS02/GS02/TC02/GC02-S

項 目		仕 様			
型式		BV410D-GC02-S	BV410D-TC02-S	BV410D-GS02-S	BV410D-TS02-S
定格電源	交流100V±10% 50/60Hz (ACアダプタ使用)				
消費電力	印字中:60W (印字率15%斜線時)、待機中:4.4W (オプション無し時)				
使用温度範囲	5 ~ 40℃				
使用湿度範囲	25 ~ 85% (ただし、結露しないこと)				
印字方式	感熱方式(直接発色)				
印字ヘッド密度	8ドット/mm (203dpi)	11.8ドット/mm (300dpi)	8ドット/mm (203dpi)	11.8ドット/mm (300dpi)	
印字速度 *1	<連続・カット発行時> 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒 127mm(5インチ)/秒 152.4mm(6インチ)/秒 177.8mm(7インチ)/秒	<連続・カット発行時> 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒 127mm(5インチ)/秒	<連続・カット発行時> 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒 127mm(5インチ)/秒 152.4mm(6インチ)/秒 177.8mm(7インチ)/秒 <剥離発行時>*2 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒	<連続・カット発行時> 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒 127mm(5インチ)/秒 <剥離発行時>*2 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒	
発行モード	連続発行/カット発行			連続発行/剥離発行(オプション)/ カット発行(オプション)	
表示方式	128 x 64 ドットグラフィックLCD 最大21桁 x 5行				
表示文字	英字、漢字、数字、カタカナ、記号				
有効印字幅	最大108mm	最大105.7mm	最大108mm	最大105.7mm	
印字可能文字種	英/数/カナ	タイムスローマン、ヘルベチカ、プレゼンテーション、レターゴシック、プレステージエリート、 クーリエ、OCR-A、OCR-B、ゴシック725ブラック			
	漢字	16x16、24x24、32x32、48x48 (角ゴシック) 24x24、32x32 (明朝)			
	外字	16x16、24x24、32x32、48x48ドット…各1種、フリーサイズ…40種			
	その他	アウトラインフォント(英数字)…5種、価格フォント…3種、NotoSansFont			
印字可能バーコード	JAN8/13、EAN8/13、EAN8/13 add on 2&5、UPC-A/E、UPC-A/E add on 2&5、 Interleaved 2 of 5、NW-7、CODE39/93/128、EAN128、MSI、インダストリアル 2of5、RM4SCC、KIX code、GS1 Databar、カスタマーバーコード、POSTNET、 MATRIX 2 of 5 for NEC				
印字可能二次元コード	QRコード、Micro QRコード、セキュリティ QRコード、PDF417、MaxiCode、 DataMatrix、MicroPDF417、GS1 Data Matrix、Aztecコード				

項 目	仕 様	
インターフェース	USBポート×1(2.0準拠/ハイスピード*対応) LANポート×1(10BASE-T/100BASE-TX準拠) USBホスト×1(USB V2.0準拠/ハイスピード対応) Bluetooth(オプション)×1(V2.1+EDR) 無線LAN(オプション)×1(IEEE802.11a/b/g/n準拠) RS-232Cインターフェース(オプション)×1	
外形寸法(W)x(D)x(H)	169mm x 241mm x 173mm	169mm x 213mm x 173mm
質量	約2.5kg	約2.0kg
オプション(別売)	パーシャルカッターモジュール (BV214-P-QM-S) ラベルカッターモジュール (BV214-LC-QM-S) 外置き用紙ホルダー (BV904-PH-QM-S) シリアルインターフェースボード* (BV700-RS-QM-S) 無線LANボード (BV700-WLAN-QM-S) Bluetoothインターフェースボード* (BV700-BLTH-QM-S) ACアダプタカバー (BV914-ACD-QM-S)	フルカッターモジュール (BV214-F-QM-S) パーシャルカッターモジュール (BV214-P-QM-S) ラベルカッターモジュール (BV214-LC-QM-S) 剥離モジュール (BV914-H-QM-S) 外置き用紙ホルダー (BV904-PH-QM-S) シリアルインターフェースボード* (BV700-RS-QM-S) 無線LANボード (BV700-WLAN-QM-S) Bluetoothインターフェースボード* (BV700-BLTH-QM-S) ACアダプタカバー (BV914-ACD-QM-S)

*1: ご使用のサプライの組み合わせにより印刷できる速度に制限がある場合があります。

*2: 剥離発行時の印字速度は101.6mm(4インチ)/秒までとなります。

補足

- 本機の仕様は改良のため、将来予告無しに変更することがあります。

■ BV410D-GL02-S

項 目		仕 様
型式		BV410D-GL02-S
定格電源		交流100V±10% 50/60Hz (ACアダプタ使用)
消費電力		印字中:60W (印字率15%斜線時)、待機中:4.4W (オプション無し時)
使用温度範囲		5 ~ 35℃
使用湿度範囲		25 ~ 85% (ただし、結露しないこと)
印字方式		感熱方式(直接発色)
印字ヘッド密度		8ドット/mm (203dpi)
印字速度 *1		50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒 127mm(5インチ)/秒 152.4mm(6インチ)/秒 177.8mm(7インチ)/秒
発行モード		カット発行
表示方式		128 x 64 ドットグラフィックLCD 最大21桁 x 5行
表示文字		英字、漢字、数字、カタカナ、記号
有効印字幅		最大108mm
印字可能文字種	英/数/カナ	タイムスローマン、ヘルベチカ、プレゼンテーション、レターゴシック、プレステージエリート、クーリエ、OCR-A、OCR-B、ゴシック725ブラック
	漢字	16x16、24x24、32x32、48x48 (角ゴシック) 24x24、32x32 (明朝)
	外字	16x16、24x24、32x32、48x48ドット…各1種、フリーサイズ…40種
	その他	アウトラインフォント(英数字)…5種、価格フォント…3種、NotoSansFont
印字可能バーコード		JAN8/13、EAN8/13、EAN8/13 add on 2&5、UPC-A/E、UPC-A/E add on 2&5、Interleaved 2 of 5、NW-7、CODE39/93/128、EAN128、MSI、インダストリアル 2of5、RM4SCC、KIX code、GS1 Databar、カスタマーバーコード、POSTNET、MATRIX 2 of 5 for NEC
印字可能二次元コード		QRコード、Micro QRコード、セキュリティ QRコード、PDF417、MaxiCode、DataMatrix、MicroPDF417、GS1 Data Matrix、Aztecコード*
インターフェース		USBポート×1 (2.0準拠/ハイスピード対応) LANポート×1 (10BASE-T/100BASE-TX準拠) USBホスト×1 (USB V2.0準拠/ハイスピード対応) Bluetooth (オプション)×1 (V2.1+EDR) 無線LAN(オプション)×1 (IEEE802.11a/b/g/n準拠) RS-232Cインターフェース(オプション)×1
外形寸法(W)x(D)x(H)		169mm x 250mm x 173mm
質量		約2.6kg

*: 用紙の仕様により、30℃以上の環境下で連続発行を行うと、用紙詰まりなどの搬送不具合が起こる場合があります。

用紙の仕様

用紙には熱直接発色タイプのラベル、タグおよびレシートがあります。

用紙は当社認定の純正品をご使用ください。

用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

(単位:mm)

項 目	発行モード	連続発行	剥離発行	カット発行
	用紙ピッチ	外巻き用紙	10.0 ~ 999.0	25.4 ~ 152.4
内巻き用紙		10.0 ~ 999.0	25.4 ~ 86.2	25.4 ~ 82.2
用紙長	外巻き用紙	8.0 ~ 997.0	23.4 ~ 150.4	19.4 ~ 993.0
	内巻き用紙	8.0 ~ 997.0	23.4 ~ 76.2	19.4 ~ 76.2
タグ幅・レシート幅		25.4 ~ 118.0		
ラベル台紙幅		25.4 ~ 118.0 (102) ^{*2}		
ラベル幅		22.4 ~ 115.0 (99) ^{*2}		
ギャップ/黒マーク長		2.0 ~ 10.0	2.0 ~ 10.0	6.0 ~ 10.0
黒マーク幅		8.0以上		
最大有効印字幅		105.7±0.2		
用紙厚さ		0.06 ~ 0.19		
最大ロール径		φ127.0、107.0 ^{*2} 、214.0 ^{*1}		
紙管の内径		φ25.4、38.1、42.0 ^{*3} 、76.2 ^{*1}		
巻き方向		外巻き(標準) / 内巻き		

*1: 外置き用紙ホルダー使用時

*2: 内巻きラベル用アタッチメント装着時

*3: 内巻きラベル使用時は、内巻きラベル用アタッチメントを装着してください。

また、紙管内径がφ42mmのラベルのみ使用可能です。

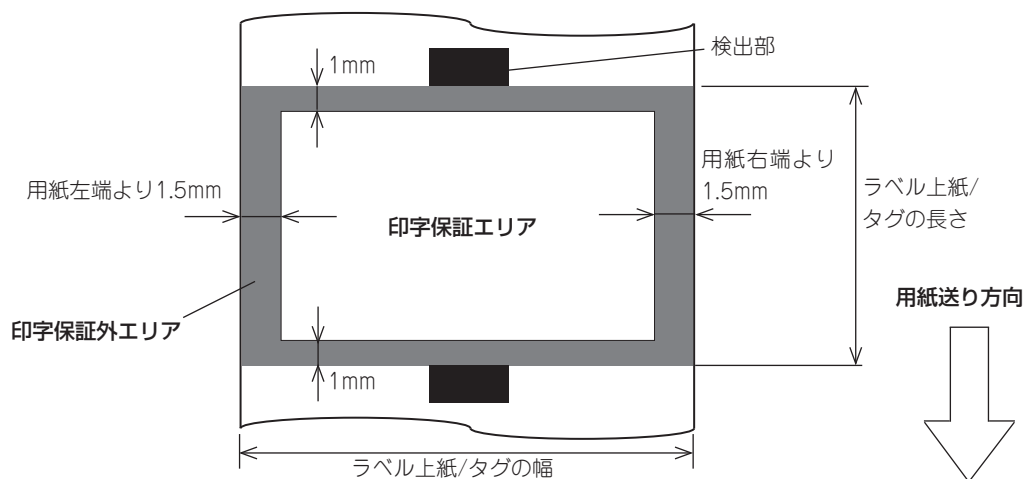
補足

• 用紙終端部の紙管への留め方

用紙の終端部を糊またはテープで紙管に留めている場合、用紙が紙管から剥がれる瞬間に用紙搬送が影響を受けることがあります。特にこの時に印字したバーコードや二次元コードが読取り不可となる可能性がありますので、ご使用前に必ずお客様でのご確認をお願いします。

補足

- 下図グレーのエリアでの印字は品質保証外となります。



- 用紙先端付近は、印字条件により印字品質に影響が出る場合がありますので、印字フォーマット作成時にご確認ください。バーコード等の印字位置は用紙先端より3mm以上離すことを推奨します。

オプション使用時の注意事項

- 各オプションを組み込む前にプリンタの電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源がONの状態を組み込むと、火災・感電・けがの恐れがあります。また、プリンタ内部の電気回路保護のため、プリンタの電源OFF後1分以上経過してからケーブルの着脱を行ってください。
- カバーで指や手を挟まないように注意してください。
- 印字直後は、印字ヘッド、ステッピングモーターおよびその周辺部に手を触れないでください。
やけどの原因となることがあります。
- カッターを装着してラベル用紙をカット発行する場合、ギャップ部(台紙部)をカットしてください。ラベル自体をカットして発行することは避けてください。紙詰まりや故障の原因となります。また、カッターの寿命を短くする原因となります。ギャップ長は6mm以上必要です。
- カット位置が適切でない場合、「カット位置微調」により調整して下さい。(→ P.73)
- ミシン目を入れたラベル用紙を使用する場合は、お買い上げの販売店に詳細をお問い合わせください。
- カット発行時、用紙がプラテンに巻き込まれる場合は、パラメータ設定の「自動正転待機」を「する」に変更してください。(→ P.66)
- カッターモジュールの取り付け・清掃時、カッターの刃に直接触れないでください。
- 剥離モジュールを装着してラベル用紙を剥離発行する場合、ラベルや台紙の材質によっては正しくラベルを剥離できないことがあります。ラベルや台紙の材質の詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

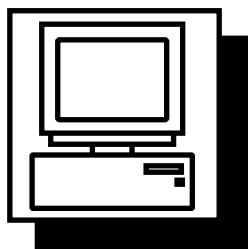


保証(保証書)について

保証書はお買い上げの販売店でお渡しいたします。必ず「お買い上げ日・保証期間・販売店名」などの記入をご確認の上、大切に保管してください。

保証書に「お買い上げ日・保証期間・販売店名」など所定事項の記入がないときは、ただちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

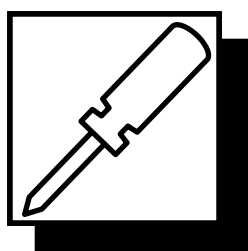
保証期間中は保証書の規定に従って無料修理いたします。保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



ユーザー登録について

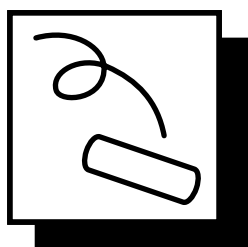
このたびお買い上げいただきました製品に関するアフターサービスの提供は、サービスを担当するサービスステーションに登録されて実施されます。したがって、製品を受領されましたら、ただちにお買い上げの販売店に「ユーザー登録」の手続きを要請し、ご確認をお願いいたします。

なお、安心してご利用いただけますように「保守サービス契約システム」をお勧めいたします。詳細は最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。



修理サービスについて

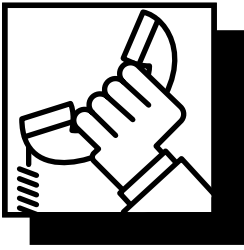
ご使用中に異常が生じたときは、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、ご相談される場合は製品の型式名、およびお買い上げ時期を忘れずにお知らせください。



消耗品について

消耗品は製品に合った当社純正品を、お買い上げの販売店にご注文ください。

- 用紙
- ヘッドクリーナーペン(図番:7KF01584100)
- ラッピングシート(図番:FMBC0080801)



お問い合わせ先について

修理訪問についての詳細は、お買い上げの販売店またはコールセンターにご相談ください。

修理のご相談など

電話番号はお間違えのないよう、十分ご確認のうえおかけください。



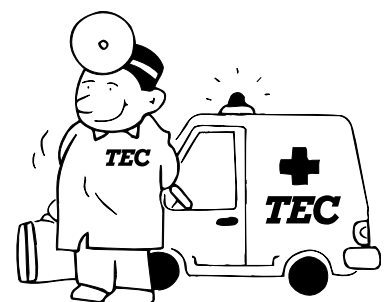
0570-033-477 (コールセンター)

受付時間および修理対応時間: 祝日を除く月～金曜日 9:00～17:00

- ・ナビダイヤルを利用しています。なお、通話料はお客さまのご負担となります。
(ナビダイヤルは、NTTコミュニケーションズ株式会社のサービスです。)
- ・お問い合わせ内容の正確な把握と対応品質向上のため、通話内容を記録、録音させていただきます。

※ 記載の内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
最新の情報は当社ホームページをご確認ください。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日
	販売店名			
	電話番号	()	—	
	サービス担当名			
	電話番号	()	—	



お買い上げ日、販売店名、サービス担当名、電話番号などを記入しておくとう便利です。

サービスステーション所在地一覧

都道府県名	サービスステーション名	郵便番号	所在地
北海道	札幌SS	060-0908	北海道札幌市東区北8条東6丁目12-79
	旭川SS	070-0032	北海道旭川市2条通13丁目左3号 富士原ビル2F
	(北見駐在)	090-0051	北海道北見市高栄東町1-11-37 アクティブウエルズ21 2番街3号室
	帯広SS	080-0013	北海道帯広市西三條南28丁目17-9 雅ハイム1F
	(釧路駐在)	085-0057	北海道釧路市愛国西一丁目1番10号 小林ビル1F
	苫小牧SS	053-0005	北海道苫小牧市元中野町4-15-15
青森県	(函館駐在)	041-0812	北海道函館市昭和2-25-13
	青森SS	030-0113	青森県青森市第二問屋町1-8-2
岩手県	(八戸駐在)	031-0031	青森県八戸市番町3 NCビル
	一関SS	021-0882	岩手県一関市上大槻街1-45 耕栄第一ビル
宮城県	盛岡SS	020-0866	岩手県盛岡市本宮3-32-1
	仙台SS	981-3121	宮城県仙台市泉区上谷判6-10-22
秋田県	秋田SS	010-0951	秋田県秋田市山王6-9-25 山王SEビル1F
	(大館駐在)	017-0045	秋田県大館市中道2-1-35 あかね不動産ビル2F4号室
山形県	山形SS	990-0023	山形県山形市松波1-4-16
	(酒田駐在)	998-0842	山形県酒田市亀ヶ崎3-7-5
福島県	郡山SS	963-8047	福島県郡山市富田東5-423
	(いわき駐在)	973-8411	福島県いわき市小島町3-3-5 山一ビルNo2
茨城県	水戸SS	310-0852	茨城県水戸市笠原町600-27 SL笠原ビル
	土浦SS	300-0037	茨城県土浦市桜町4-3-18 土浦ブリックビル
	古河SS	306-0023	茨城県古河市本町1-10-12 エースビル
栃木県	宇都宮SS	321-0968	栃木県宇都宮市中今泉3-12-14
群馬県	高崎SS	370-0069	群馬県高崎市飯塚町458-2
	さいたまSS	338-0001	埼玉県さいたま市中央区上落合5-20-30 3F
埼玉県	川口SS	333-0816	埼玉県川口市差間3-17-15
	川越SS	350-1123	埼玉県川越市脇田本町30-2 醍醐ビル
	熊谷SS	360-0034	埼玉県熊谷市万平町1-33 三晴ビル
千葉県	千葉SS	263-0024	千葉県千葉市稲毛区穴川3-11-8 NTビル
	成田SS	286-0025	千葉県成田市東町157-12 クローバービル3F
	木更津SS	299-1154	千葉県君津市南久保2-14-4 富士ファーストビル1F
	船橋SS	273-0011	千葉県船橋市湊町1-1-1 朝日生命船橋湊町ビル1F
	柏SS	270-0135	千葉県流山市野々下3-755-5
東京都	城東SS	136-0071	東京都江東区亀戸1-4-2 SCビル
	城南SS	108-0075	東京都港区港南3-8-1 住友不動産品川港南ビル11F
	城西SS	169-0072	東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル4F
	多摩SS	190-0011	東京都立川市高松町3-1-5 新立川ビル2F
神奈川県	横浜SS	240-0005	神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパーククエストタワー4F
	川崎SS	212-0027	神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎5F
	相模原SS	252-0001	神奈川県座間市相模が丘1-34-20 Zstyle
	横浜北SS	225-0024	神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾1152-13 セジュール市ヶ尾
新潟県	湘南SS	254-0035	神奈川県平塚市宮の前1-2 エパース第7平塚ビル3F
	新潟SS	950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島1-9-1
	長岡SS	940-2128	新潟県長岡市新産東町58
富山県	(上越駐在)	943-0832	新潟県上越市本町4-2-25
	富山SS	939-8204	富山県富山市根塚町1-3-10
石川県	金沢SS	920-0024	石川県金沢市西念1-17-9
福井県	福井SS	918-8239	福井県福井市成和2-708
山梨県	甲府SS	400-0828	山梨県甲府市青葉町20-7
長野県	松本SS	390-0827	長野県松本市出川3-9-8
	長野SS	381-0034	長野県長野市大字高田943-1

都道府県名	サービスステーション名	郵便番号	所在地
岐阜県	岐阜SS	500-8369	岐阜県岐阜市敷島町9-28-1
	静岡SS	422-8033	静岡県静岡市駿河区登呂6-5-47
静岡県	沼津SS	410-0059	静岡県沼津市若葉町10-22
	(伊豆駐在)	410-2392	静岡県伊豆の国市大仁570 東芝テック(株)内
	浜松SS	435-0043	静岡県浜松市中央区宮竹町171-1
愛知県	名古屋SS	460-0024	愛知県名古屋市中区正木3-5-17
	春日井SS	486-0826	愛知県春日井市貴船町148
	安城SS	446-0074	愛知県安城市井坑山町一本木6-4
三重県	豊橋SS	441-8031	愛知県豊橋市中郷町118-1 豊橋サウスビル5F
	津SS	514-0803	三重県津市柳津津興617
滋賀県	四日市SS	510-0064	三重県四日市市新正4-15-15
	滋賀SS	520-0047	滋賀県大津市浜大津1-1-3 朝日生命大津ビル3F
京都府	(彦根駐在)	520-0082	滋賀県彦根市安清町11-12
	京都SS	601-8443	京都府京都市南区西九条東御幸町13-1
大阪府	福知山SS	620-0054	京都府福知山市末広町5-10-1 双和産業ビル
	大阪北SS	564-0063	大阪府吹田市江坂町1-16-17 江坂コンゲビル5F
	大阪中央SS	550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀2-6-33 江戸堀7が生命ビル9F
	枚方SS	573-0023	大阪府枚方市東田宮1-13-11
兵庫県	堺SS	591-8023	大阪府堺市北区中百舌鳥町5-754
	神戸SS	651-0086	兵庫県神戸市中央区磯上通4-1-6 KDX神戸ビル4F
	明石SS	673-0891	兵庫県明石市大明石町1-2-37 YS明石ビル3F
奈良県	(姫路駐在)	670-0955	兵庫県姫路市安田1-68-1 JK姫路南ビル3F
	奈良SS	630-8115	奈良県奈良市大宮町4-465-10
和歌山県	和歌山SS	640-8341	和歌山県和歌山市黒田278-1
	(田辺駐在)	646-0021	和歌山県田辺市あけぼの45-17
鳥取県	鳥取SS	680-0034	鳥取県鳥取市元魚町2-105 アイシンビル
島根県	松江SS	690-0011	島根県松江市東津田町459-3
	(益田駐在)	698-0003	島根県益田市乙吉町イ342-1 益田第一ビル
岡山県	岡山SS	700-0936	岡山県岡山市北区雷田503-6
広島県	広島第一SS	730-0047	広島県広島市中区平野町2-21 広電平野町ビル
	広島第二SS	730-0047	広島県広島市中区平野町2-21 広電平野町ビル
	福山SS	721-0973	広島県福山市南蔵王町6-15-45
山口県	山口SS	754-0001	山口県山口市小郡上郷3582-1
	(徳山駐在)	745-0806	山口県周南市桜木3-5-69
徳島県	徳島SS	770-8053	徳島県徳島市沖浜東3-67-2
香川県	高松SS	761-8054	香川県高松市東八世町6-9
	新居浜SS	792-0812	愛媛県新居浜市坂井町2-2-10
愛媛県	松山SS	790-0065	愛媛県松山市宮西1-8-14 河塚ビル
	(宇和島駐在)	798-0031	愛媛県宇和島市栄町港3-4-1 栄町港丸和ビル2F
高知県	高知SS	781-0806	高知県高知市知寄町2-1-37
	(四万十駐在)	787-0033	高知県四万十市中村大橋通6-3-4
福岡県	福岡SS	812-0007	福岡県福岡市博多区東比恵2-9-23
	北九州SS	803-8686	福岡県北九州市小倉北区下道津一丁目10-1
佐賀県	佐賀SS	842-0031	佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田292-2
長崎県	長崎SS	851-2127	長崎県西彼杵郡長与町高田郷3055-4
熊本県	熊本SS	860-0834	熊本県熊本市南区江越1-16-28
大分県	大分SS	870-0030	大分県大分市大字三芳1292-1
宮崎県	宮崎SS	880-0844	宮崎県宮崎市柳町232-2
鹿児島県	鹿児島SS	890-0068	鹿児島県鹿児島市東都元町11-29
沖縄県	那覇SS	901-0152	沖縄県那覇市小緑3-12-13

諸事情により所在地、電話番号などが変更になることがあります。ご了承ください。 2025年2月1日現在
 最新の電話番号・住所等は東芝テックソリューションサービス(株)のホームページにてご確認願います。
<https://www.toshibatec-ttss.co.jp/ttss/>

用紙の交換方法

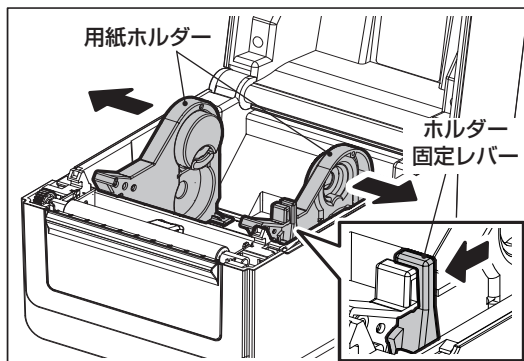
交換前の用紙と同じタイプで、同じ幅の用紙に交換するものとして説明します。
用紙は当社認定の純正品をお使いください。

① トップカバーを開きます。

⚠ 注意

- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないことやけどの原因となることがあります。
- ・ トップカバーは全開にすること
中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。

② ホルダー固定レバーをつまみながら用紙ホルダーを左右に広げます。

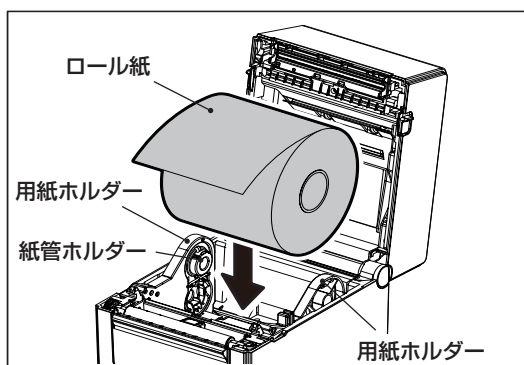


③ 紙管または残っている用紙を取り外します。

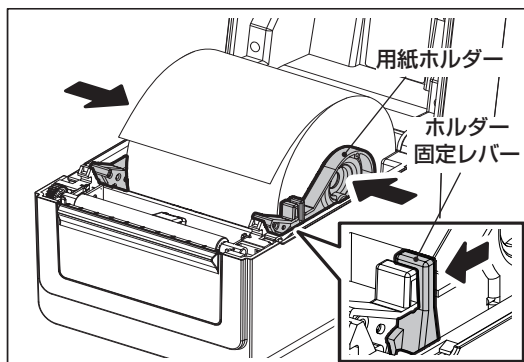
④ 印字面が上になるように新しいロール紙を用紙ホルダーの間に置きます。

お願い

- ・ 用紙の巻き方向に注意してセットしてください。逆にセットすると印字されません。
- ・ 用紙の先端は、ハサミでまっすぐに切りそろえてください。ラベルの場合は、ラベルの間の台紙部を切りそろえてください。



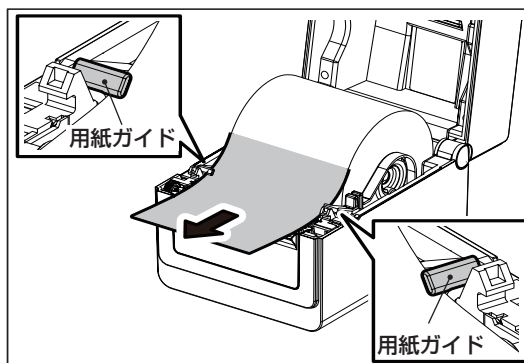
⑤ ホルダー固定レバーをつまみながら用紙ホルダーを内側にスライドさせてロール紙をしっかりと固定します。紙管ホルダーの凸部が、紙管に収まっていることを確認してください。



⑥ 左右の用紙ガイドに用紙を挟み、用紙の先端が用紙発行口より少し出る位置まで用紙を引き出します。

お願い

- ・ 用紙ガイドが用紙を締め付けすぎないように注意してください。用紙がたわみ、紙詰まりや紙送り不良の原因になります。
- ⑦ トップカバーを静かに下ろし、トップカバー前部を「カチッ」と音がするまで両手で押して確実に閉めます。
- ⑧ [FEED]を押して10～20cm程紙送りし、正しく紙送りすることを確認します。



※用紙の取り付け方の詳細は、取扱説明書の『用紙の取り付け方』(→ P.32)をご覧ください。

取扱説明書

テック ラベルプリンタ

BV410D-TS02/GS02-S

BV410D-TC02/GC02-S

BV410D-GL02-S

東芝テック株式会社